ELECOM

クイックセットアップガイド

型番：EHB-SG2C08-PL
EHB-SG2C16-PL
EHB-SG2C16F-PL
EHB-SG2C16F-HPL
EHB-SG2C24F-PL
EHB-SG2C24F-HPL

2026 年 6 月 23 日 第 3 版

製品ページのご案内

本紙は本製品のセットアップや主な仕様について説明しています。本製品の製品ページではオプション品や動作確認済みの PoE 製品等の情報をご確認いただけます。
※ EHB-SG2C08-PL のページが表示されますが、シリーズ共通でご利用いただけます。

https://www.elecom.co.jp/r/n564

パッケージ内容

☐ **製品本体**	1 台
☐ **専用 AC ケーブル**（3 ピン AC ケーブル長約 1.8m）	1 本
☐ **3 ピン -2 ピン変換アダプター**	1 個
☐ **AC ケーブル抜け防止バンド**	1 個
☐ **19 インチラック取付金具**	2 個
☐ **19 インチラック取付金具ネジ**	8 個
☐ **ゴム足**	4 個
☐ **シリアルナンバーラベル**	2 枚
☐ **安全にお使いいただくために**	1 枚
☑ **クイックセットアップガイド（本紙）**	1 枚

主な工場出荷時の設定値

IP アドレス	192.168.3.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
管理 VLAN ID	1
DHCP クライアントモード	無効

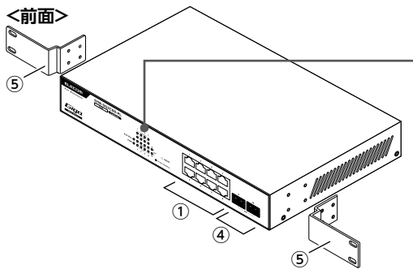
管理者ユーザー名	admin
管理者パスワード	admin

■ 管理者ユーザー名 / 管理者パスワードについてのご注意
セキュリティ確保のため管理者ユーザー名 / 管理者パスワードは初期値からの変更をおすすめいたします。また、本製品に設定したユーザー名やパスワードを忘れると、設定画面が表示できなくなります。その場合は、リセットスイッチを長押しすることで工場出荷時の設定値に戻すことができます。

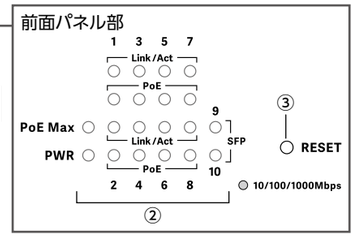
外観図・各部の名称とはたらき

EHB-SG2C08-PL

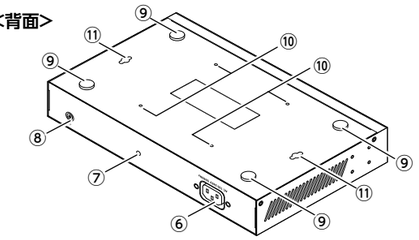
<前面>



前面パネル部



<背面>

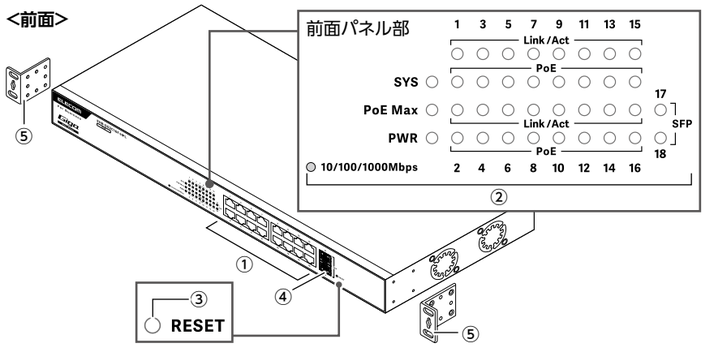


※ 前面・背面のイラストは EHB-SG2C16F-HPL です。

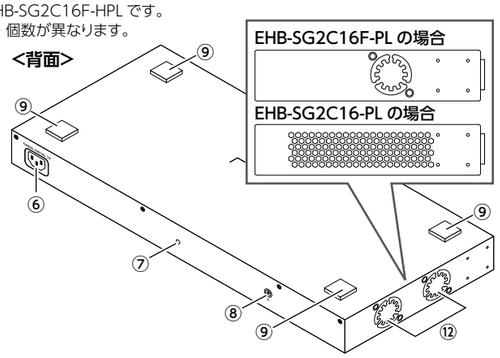
EHB-SG2C16-PL/EHB-SG2C16F-PL/EHB-SG2C16F-HPL

※ 前面・背面のイラストは EHB-SG2C16F-HPL です。
※ 機種によってファンの有無・個数が異なります。

<前面>



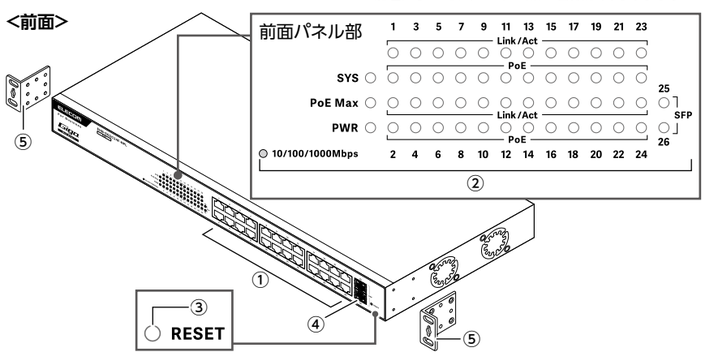
<背面>



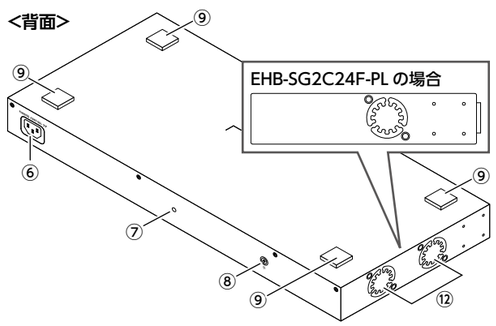
EHB-SG2C24F-PL/EHB-SG2C24F-HPL

※ 前面・背面のイラストは EHB-SG2C24F-HPL です。
※ 機種によってファンの有無・個数が異なります。

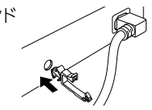
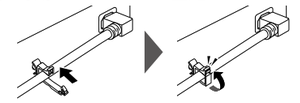
<前面>



<背面>



① **LAN ポート**	パソコンなど他のネットワーク機器と接続します。ストレート / クロスケーブルを自動判別する「Auto MDI/MDI-X」機能を搭載しています。			
② **前面パネル LED**	SYS	赤色	点灯	電源系統またはファンに異常が発生している状態です。 専用 AC ケーブルを抜き、しばらく経ってから電源を入れなおしてください。
			消灯	正常な状態です。
	PoE Max	緑色	点灯	供給電力の上限に達している状態です。
			消灯	PoE 給電に余裕がある状態です。
	PWR	緑色	点灯	電源が ON の状態です。
			消灯	電源が OFF の状態です。
	Link/Act	緑色	点灯	10/100/1000Mbps のいずれかで接続した状態です。
			点滅	・不定期な点滅 接続中の機器とデータの送受信をしています。 ・1 秒間隔での点滅 ループ防止機能が動作しているときに、遮断されているポートの LED が点滅します。
			消灯	接続機器がない状態です。
	SFP	緑色	点灯	光ファイバーケーブルで接続した状態です。
			消灯	接続機器がない状態です。
③ **RESET**	このボタンを先の細いもので長押しすると再起動、または工場出荷状態に戻ります。 3 秒以上～6 秒未満：再起動　6 秒以上：工場出荷状態に初期化			
④ **SFP ポート**	1000BASE-LX、1000BASE-SX モジュールを取り付けるためのポートです。Auto Negotiation とフローコントロールをサポートし、全二重の通信方式および 1Gbps の通信速度で動作します。 ※ SFP ポートは、エレコム製のモジュールのみサポートします。			

⑤ **19 インチラック取付金具**※1	本製品を 19 インチラックで使用する場合、付属の金具を本製品に取り付けて使用ください。本製品は EIA 規格準拠となります。
⑥ **電源コネクター**	付属の専用 AC ケーブルを差し込みます。
⑦ **AC ケーブル抜け防止バンド取付穴**	付属の AC ケーブル抜け防止バンドを使用して専用 AC ケーブルを製品本体に固定します。 **<取り付けイメージ>** ❶ AC ケーブル抜け防止バンドを取り付けます。  ❷ 専用 AC ケーブルを固定します。 
⑧ **FG 端子**	アース線を接続するための端子です。（ネジ径：M4 × 6mm） ※ アース線は別途ご用意ください。
⑨ **ゴム足取付部**	水平設置、壁面設置の場合はこの部分に付属のゴム足を取り付けてください。
⑩ **マグネット取付部**※2	オプションの専用マグネットを取り付けることができます。
⑪ **壁掛け穴**※2	本製品を壁に掛けて使用する場合、この部分に市販のネジを引っ掛けて固定してください。
⑫ **ファン**	冷却用ファンです。ふさがないでください。

※ 1 19 インチラックに固定するネジは付属していません。別途ご用意ください。
推奨ネジ：M5 または M6 ケージナット
※ 2 EHB-SG2C08-PL のみ。

設置について

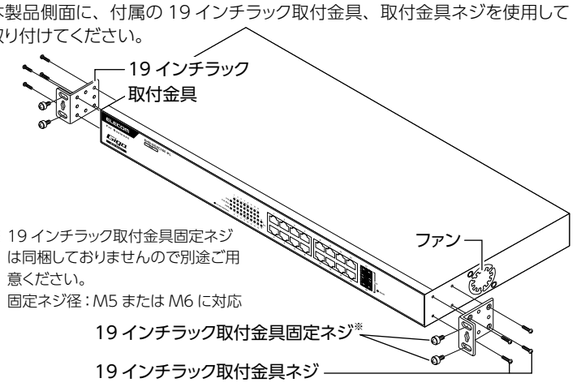
いずれの設置方法でも、アースへ正しく接続されていることを確認してください。通気スペースとして周囲を5cm 以上確保し、本体の通風孔をふさがないように設置してください。

	水平設置	壁掛け	19 インチラックマウント	マグネット設置
EHB-SG2C08-PL	○	○	○	○※
EHB-SG2C16-PL	○	–	○	–
EHB-SG2C16F-PL	○	–	○	–
EHB-SG2C24F-PL	○	–	○	–
EHB-SG2C16F-HPL	○	–	○	–
EHB-SG2C24F-HPL	○	–	○	–

※ オプション型番：EHB-EX-MG4（マグネット 4 個入り）
https://www.elecom.co.jp/products/EHB-EX-MG4.html

19 インチラック取付の場合

本製品側面に、付属の 19 インチラック取付金具、取付金具ネジを使用して取り付けてください。



※ 19 インチラック取付金具固定ネジは同梱しておりませんので別途ご用意ください。
固定ネジ径：M5 または M6 に対応

- ラック内の温度は多くの機器が動作することで室温より高くなることが想定されます。
  ラック環境の温度が動作温度範囲内であることを確認してください。
- 本製品は EIA 規格準拠となります。

水平設置

本製品底面のゴム足取付部（4 ヶ所）に、付属のゴム足を取り付けてください。

平らで安定した場所に設置してください。

マグネット設置　EHB-SG2C08-PL のみ

本製品底面のマグネット取付部に、オプションの専用マグネットを取り付けてご使用ください。

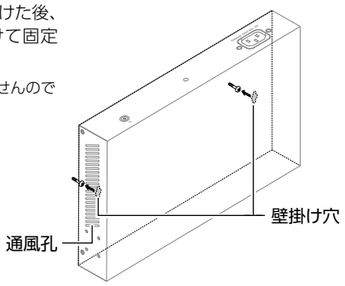
製品の LAN ポートが取付面に対して下向き、もしくは横向きになる方向で取り付けてください。

壁面設置　EHB-SG2C08-PL のみ

壁に市販のネジ（2 本）を取り付けた後、本製品の壁掛け穴をネジに掛けて固定してください。

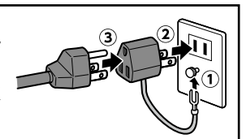
※ 壁面設置用ネジは同梱しておりませんので別途ご用意ください。

推奨ネジ
長さ：15.5mm
太さ：3.5mm
ネジ頭：7mm
ネジ頭厚み：2mm



- 壁面に取り付ける際は、適切なネジで確実に固定してください。
  固定強度が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生する恐れがあります。必ず落下防止対策を行ってください。
- 付属の 19 インチラック取付金具を使用して本製品を高所・天井面に設置しないでください。
- 直射日光が当たる壁面、水がかかる恐れのある壁面、ほこりが多い壁面は避けてください。

AC コンセントが 2 ピンの場合

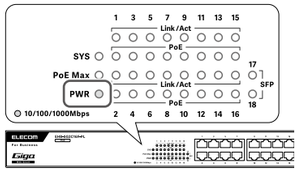


付属の 3 ピン -2 ピン変換アダプターでコンセントに接続してください。
感電防止及び安定動作のため、必ずアースを接地してください。
アース線は電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてからはずしてください。
順序を守らないと故障・感電・火災の原因となります。アース線がコンセントや他の電極に接触しないようにしてください。

セットアップ手順

1 専用 AC ケーブルを接続します。

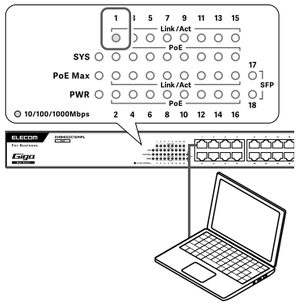
一定時間経過後システムが稼働し、PWR LED が緑点灯します。



2 LAN ケーブルで PC と本製品を接続します。

LINK/ACT LED が点灯、または点滅することを確認します。

※ イラストは EHB-SG2C16F-PL のポート 1 に接続した場合の例です。

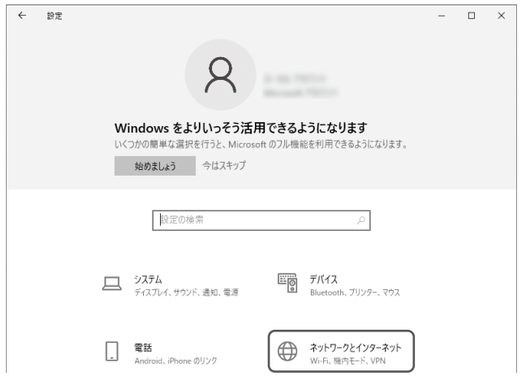


3 設定する端末の IP アドレスを「192.168.3.2」、サブネットマスクを「255.255.255.0」に固定します。

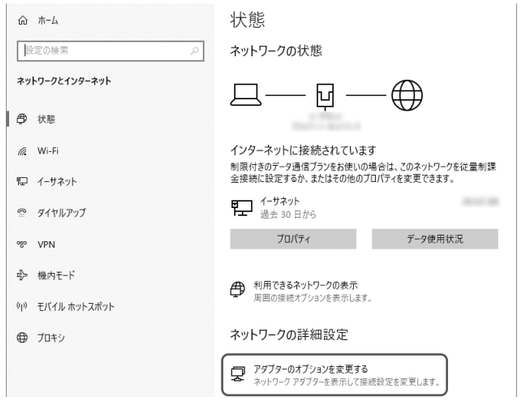
❶ [スタート] – [設定] をクリックします。



❷ [ネットワークとインターネット] をクリックします。



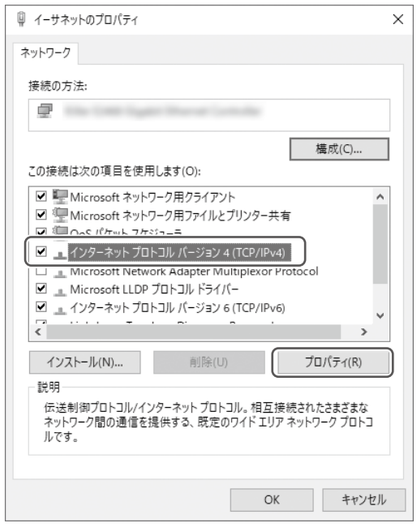
❸ [状態] 画面の [アダプターのオプションを変更する] をクリックします。



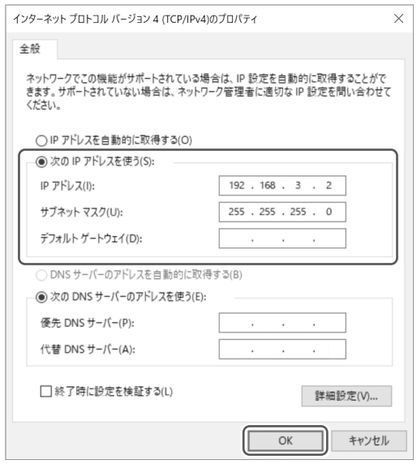
❹ [イーサネット] を選択し、右クリックして [プロパティ] をクリックします。



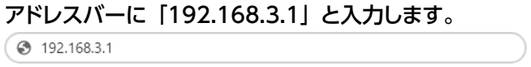
❺ [イーサネットのプロパティ] 画面で [インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)] を選択し [プロパティ] をクリックします。



❻ [インターネット プロトコル バージョン (TCP/IPv4)] 画面で [次の IP アドレスを使う] を選択し、IP アドレスに「192.168.3.2」、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力して [OK] をクリックします。



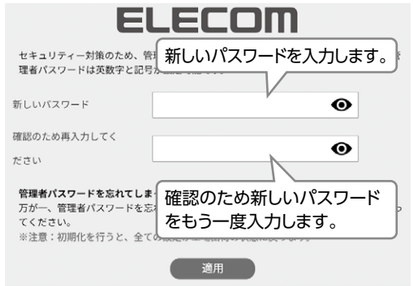
4 Web ブラウザー（Google Chrome など）を起動し、アドレスバーに「192.168.3.1」と入力します。



5 ユーザー名とパスワードに「admin」を入力し、[ログイン] をクリックします。

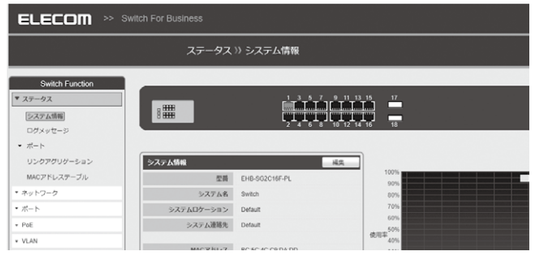


6 初回ログイン後、任意のパスワードを設定します。



文字数	8 文字以上 32 文字以内
使用可能文字	「？」(クエスチョンマーク) と「 " 」(ダブルクオーテーション) を除く半角英数記号のみ

7 設定画面が表示されます。



※ 当社ホームページで公開しているユーザーズマニュアルには、VLAN 設定など各種設定方法が記載されています。本製品の設定を行う前にお読みください。

以上でセットアップは完了です。

おもな仕様

下記以外の詳しい仕様は製品ページでご確認ください。

		EHB-SG2C08-PL	EHB-SG2C16-PL	EHB-SG2C16F-PL	EHB-SG2C16F-HPL	EHB-SG2C24F-PL	EHB-SG2C24F-HPL
伝送速度		1000Mbps(1000BASE-T)、100Mbps(100BASE-TX)、10Mbps(10BASE-T)					
準拠規格		IEEE 802.3ab、IEEE 802.3u、IEEE 802.3					
スイッチング方式		ストア & フォワード					
通信方式		フルデュプレックス、ハーフデュプレックス					
フローコントロール制御		IEEE 802.3x(フルデュプレックス時)、バックプレッシャー (ハーフデュプレックス時)					
適合ケーブル		1000BASE-T：UTP カテゴリー 5e 以上、100BASE-TX：UTP カテゴリー 5 以上、10BASE-T：UTP カテゴリー 3 以上					
バッファメモリー		512Kbytes(各ポートに動的割り当て)					
パケット転送速度		1,488,095 パケット / 秒 (1000Mbps)、148,809 パケット / 秒 (100Mbps)、14,880 パケット / 秒 (10Mbps)					
MAC アドレス登録数		8,192 件 (全ポート合計)					
ジャンボフレーム		対応 (9Kbytes)	対応 (10Kbytes)				
ループ検知・防止機能		ループ防止					
PoE 仕様		IEEE 802.3af/at(PoE+) 準拠					
PoE 電源供給能力	at 規格	30.0W/1 ポート (最大)					
	af 規格	15.4W/1 ポート (最大)					
	合計	120W まで		210W まで	385W まで	210W まで	385W まで
PoE 給電方式		Alternative A					
IP アドレス設定方法		固定 IP、DHCP クライアント					
QoS		対応					
ポートミラーリング		対応					
Syslog		対応					
トランキング		対応 (リンクアグリゲーション)					
電源仕様		内蔵電源					
入力電圧		AC100 ～ 240V ± 10% 50/60Hz					
消費電力		148.9W(最大)	153.3W(最大)	260.2W(最大)	478.1W(最大)	266.6W(最大)	486.6W(最大)
発熱量		約 536.2kJ/h(最大)	約 551.9kJ/h(最大)	約 936.8kJ/h(最大)	約 1721.2kJ/h(最大)	約 959.8kJ/h(最大)	約 1751.8kJ/h(最大)
省電力機能		らくらく節電 E 対応 (IEEE 802.3az)					
外形寸法 (幅×奥行×高さ)		約 265.1mm ×約 183.7mm ×約 44.0mm(本体のみ)	約 441.0mm ×約 196.2mm ×約 44.1mm(本体のみ)				
質量		約 1.8kg(本体のみ)	約 2.7kg(本体のみ)	約 2.9kg(本体のみ)	約 3.0kg(本体のみ)		約 3.1kg(本体のみ)
冷却ファン		なし		あり			
動作時環境条件		温度：0℃～ 50℃、湿度：10% ～ 90%(ただし結露なきこと)					
保管時環境条件		温度：-40℃～ 70℃、湿度：5% ～ 90%(ただし結露なきこと)					
法令対応		EU RoHS 準拠 (10 物質)					
適合規格		VCCI Class A					

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるように要求されることがあります。
VCCI-A

ご注意

- すべてのネットワーク機器の通信を保証するものではありません。
- 仕様及び外観等は製品改良の為、予告無く変更する場合があります。
- 本書に記載されている会社名・製品名は一般に各社の商標または登録商標です。
- 日本国内での使用を想定して設計されております。
- 製品保証は、日本国内においてのみ有効です。
- This warranty is valid only in Japan
- This product is for domestic use only.
- We provide support only for the Japanese OS.
- No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

©2023 ELECOM CO., LTD. All rights reserved.

壁掛けの際に間隔確認用テンプレートとしてお使いください。
EHB-SG2C08-PL：216mm

ELECOM

User's Manual

ユーザーズマニュアル

第５版 2026/6/23

■ レイヤー2 Giga対応 Webスマートスイッチ

EHB-SG2C08
EHB-SG2C16
EHB-SG2C24

■ レイヤー2 Giga対応 PoE Webスマートスイッチ

EHB-SG2C08-PL
EHB-SG2C16-PL
EHB-SG2C16F-PL
EHB-SG2C24F-PL
EHB-SG2C16F-HPL
EHB-SG2C24F-HPL

対象ファームウェア：Ver.2.1.3以降

この度は、エレコムのギガビットスイッチングハブをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
このマニュアルには本製品を使用するにあたっての詳細な設定方法が説明されています。
また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。詳細な設定を行う場合は、必ずこのマニュアルをお読みになってください。

●本製品の基本的な導入手順については、付属の「クイックセットアップガイド」などをお読みください。

もくじ

導入編 11

用語 12
- このマニュアルで使われている用語 12
- このマニュアルで使われている記号 12

このマニュアルをお読みになる前に 13
- 「クイックセットアップガイド」の主な内容 13

各部の名称とはたらき 14
- EHB-SG2C08-PL 21
- EHB-SG2C16-PL/EHB-SG2C16F-PL/EHB-SG2C16F-HPL 22
- EHB-SG2C24F-PL/EHB-SG2C24F-HPL 23

セットアップ編 26

STEP1 設定用のパソコンを接続する 27
STEP2 管理画面にログインする 29

設置編 34

本製品を設置する 35
- 可能な設置方法 35
- 水平に設置する 36
- マグネットで設置する 36
- 19インチラックに取り付ける 37
- 壁面に設置する 38

ACコンセントが2ピンの場合 39

設定リファレンス編 40

管理画面(設定画面)を表示する 48
- 各メニューについて 49

ステータス 49
ネットワーク 49
ポート 50
PoE 50
VLAN 51
MACアドレステーブル 52
スパニングツリー 52
検出 53
マルチキャスト 54
セキュリティ 56
アクセス制御設定 58
QoS 59
診断 60
管理 61
ループ防止 62
設定の保存と再起動 63
ステータス 64
システム情報 64
管理者権限での表示画面 64
ユーザー権限での表示画面 64
ログメッセージ 66
【ポート】統計 67
【ポート】ポート自動シャットダウン 69
【ポート】帯域幅使用率 70
リンクアグリゲーション 71
MACアドレステーブル 72
ネットワーク 73
IPアドレス 73
IPv4アドレス 73
IPv6アドレス 73
動作ステータス 74
システム時刻 75

SNTP 76
手動設定 76
サマータイム 76
動的ステータス 76
ポート 77
ポート設定 77
ポート自動シャットダウン設定 79
【リンクアグリゲーション】グループ 81
【リンクアグリゲーション】ポート設定 83
【リンクアグリゲーション】LACP 85
EEE 87
ジャンボフレーム 89
PoE 90
グローバル設定 90
電力表示 92
VLAN 93
【VLAN】VLAN作成 93
【VLAN】VLAN設定 95
【VLAN】メンバーシップ 96
【VLAN】ポート設定 99
【Voice VLAN】プロパティ 101
【Voice VLAN】Voice OUI 103
【プロトコル VLAN】プロトコルグループ 104
【プロトコル VLAN】グループバインディング 105
【MAC VLAN】MACグループ 106
【MAC VLAN】グルーピング 107
【サーベイランスVLAN】プロパティ 108
【サーベイランスVLAN】サーベイランス OUI 110
【GVRP】プロパティ 111

【GVPR】メンバーシップ 113
【GVPR】統計 114
MACアドレステーブル 115
動的アドレス 115
静的アドレス 116
フィルタリングアドレス 117
エージングタイム 118
スパニングツリー 119
プロパティ 119
ポート設定 121
MSTインスタンス 124
MSTポート設定 126
統計 128
検出 130
【LLDP】プロパティ 130
LLDP 130
LLDP-MED 131
【LLDP】ポート設定 132
【LLDP】MEDネットワークポリシー 134
【LLDP】MEDポート設定 136
Location 137
【LLDP】パケットビュー 138
【LLDP】ローカル情報 141
【LLDP】ネイバー 144
基本詳細 145
【LLDP】統計 146
マルチキャスト 147
【一般】プロパティ 147
マルチキャスト転送方式 147

【一般】グループアドレス 148
【一般】ルーターポート 150
【一般】転送設定 152
【一般】スロットル 154
【一般】フィルタリングプロファイル 156
【一般】フィルタリング 157
【IGMP Snooping】プロパティ 159
【IGMP Snooping】クエリア 161
【IGMP Snooping】統計 163
【MLD Snooping】プロパティ 164
【MLD Snooping】統計 166
【MVR】MVRプロパティ 167
【MVR】MVRポート設定 168
【MVR】MVRグループアドレス 170
セキュリティ 172
RADIUS 172
デフォルトパラメータを使用 172
TACACS+ 174
デフォルトパラメータを使用 174
【AAA】認証方式リスト 175
【AAA】ログイン認証 177
【管理アクセス】管理VLAN 178
【管理アクセス】管理サービス 179
管理サービス 179
セッションタイムアウト 179
パスワードリトライカウント 180
サイレントタイム 180
【管理アクセス】管理画面アクセス制御設定 181
【管理アクセス】管理画面アクセスリスト作成 182
【認証管理】プロパティ 185

【認証管理】ポート設定 187
共通タイマー 189
802.1x パラメータ 189
Web ベースパラメータ 189
【認証管理】MAC ベースローカルアカウント 190
割り当てタイマー 191
【認証管理】WEB ベースローカルアカウント 192
割り当てタイマー 193
【認証管理】セッション 194
ポートセキュリティー 195
保護ポート 197
ストームコントロール 198
【DoS】プロパティ 200
【DoS】ポート設定 202
【ダイナミック ARP インスペクション】プロパティ 203
【ダイナミック ARP インスペクション】統計 205
【DHCP Snooping】プロパティ 206
【DHCP Snooping】統計 208
【DHCP Snooping】Option82 プロパティ 209
【DHCP Snooping】Option82 サーキット ID 211
【IP ソースガード】ポート設定 212
【IP ソースガード】IMPV バインディング 214
【IP ソースガード】データ保存 216
アクセス制御設定 217
MAC アドレスアクセス制御設定 217
MAC アドレスアクセス制御リスト作成 218
IPv4 アドレスアクセス制御設定 221
IPv4 アクセス制御リスト作成 222
IPv6 アドレスアクセス制御設定 226

IPv6アクセス制御リスト作成 227
アクセス制御設定バインディング 231
QoS 233
【一般】プロパティ 233
リマーキング 234
【一般】キュースケジューリング 235
【一般】CoSマッピング 236
【一般】DSCPマッピング 237
【一般】IP優先順位マッピング 238
【レート制限】入出力ポート 239
【レート制限】出力キュー 241
診断 243
【ログ】プロパティ 243
RAMログ／Flashログ 243
【ログ】Syslogサーバー 244
ミラーリング 246
Ping 248
Traceroute 249
ケーブルテスト 250
ファイバーモジュール 251
【単一方向リンク検出】プロパティ 252
【単一方向リンク検出】ネイバー 253
管理 254
ユーザーアカウント 254
アドミリンク 256
基本設定 256
詳細設定 257
【ファームウェア】アップグレード 259
「更新方法」に「TFTP」を選択した場合 259

「更新方法」に「HTTP」を選択した場合 260
【設定】復元/バックアップ 261
復元で「更新方法」に「TFTP」を選択した場合 261
復元で「更新方法」に「HTTP」を選択した場合 262
バックアップで「更新方法」に「TFTP」を選択した場合 263
バックアップで「更新方法」に「HTTP」を選択した場合 265
【設定】保存 266
【SNMP】ビュー 267
【SNMP】グループ 268
【SNMP】コミュニティー 270
【SNMP】ユーザー 272
認証あり 273
暗号化 273
【SNMP】エンジンID 274
【SNMP】トラップ 275
【SNMP】通知 276
【RMON】統計 279
【RMON】履歴 282
【RMON】イベント 284
【RMON】アラーム 286
上昇／降下 287
タイムスケジュール 288
ループ防止 290
プロパティ 290
ステータス 291
付録編 292
安全上のご注意 293
使用上のご注意 296

このマニュアルについて **297**
製品の保証について **298**
製品の保証とサービス 298
サポートサービスについて **299**

導入編

用語 **12**
このマニュアルで使われている用語 12
このマニュアルで使われている記号 12
このマニュアルをお読みになる前に **13**
「クイックセットアップガイド」の主な内容 13
各部の名称とはたらき **14**
EHB-SG2C08-PL 21
EHB-SG2C16-PL/EHB-SG2C16F-PL/EHB-SG2C16F-HPL 22
EHB-SG2C24F-PL/EHB-SG2C24F-HPL 23

用語

このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
本製品	Webスマートスイッチ「EHB-SG2C08」「EHB-SG2C16」「EHB-SG2C24」「EHB-SG2C08-PL」「EHB-SG2C16-PL」「EHB-SG2C16F-PL」「EHB-SG2C24F-PL」「EHB-SG2C16F-HPL」「EHB-SG2C24F-HPL」を称して「本製品」と表記しています。

このマニュアルで使われている記号

記号	意味
重要	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、故障の原因になることがあります。注意してください。
MEMO	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

このマニュアルをお読みになる前に

本製品には、印刷物で「クイックセットアップガイド」が付属しています。
クイックセットアップガイドには、以下の内容が記載されています。
該当する内容がありましたら、そちらをお読みください。
※マニュアルの改訂により、内容の一部が変更される場合があります。

「クイックセットアップガイド」の主な内容

- 主な工場出荷時の設定値
- 外観図・各部の名称とはたらき
- 設置について
- セットアップ手順
- おもな仕様

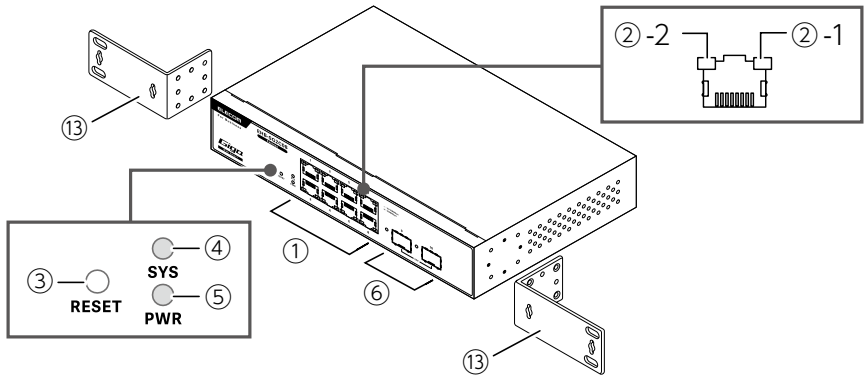
MEMO

印刷物のマニュアルが見当たらない場合には
エレコム・ホームページより、最新のPDF版をダウンロードすることができます。

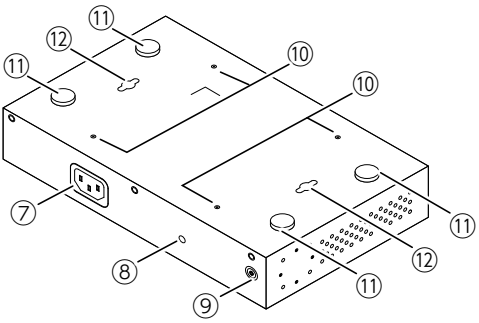
各部の名称とはたらき

EHB-SG2C08

■ 前面

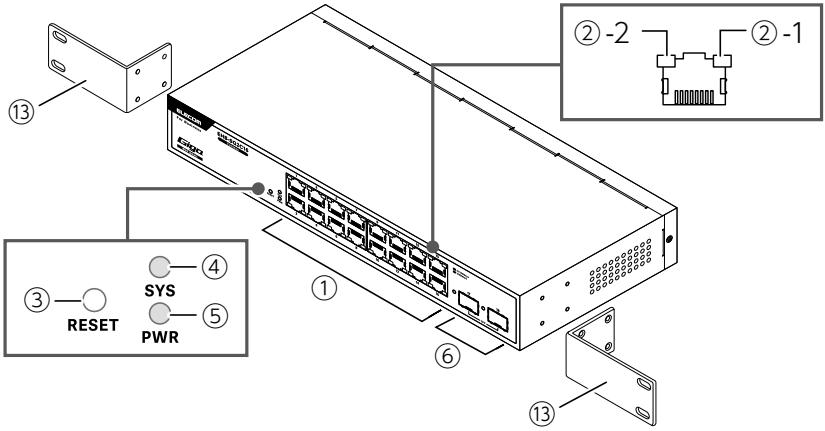


■ 背面

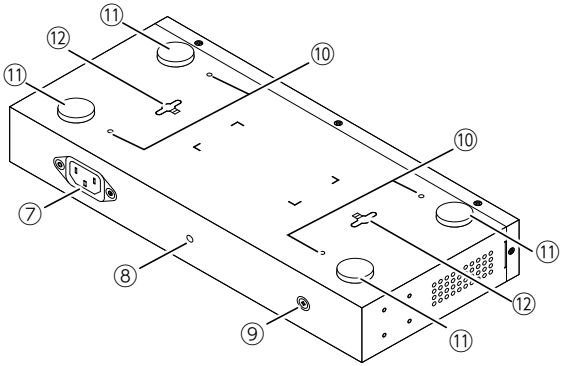


EHB-SG2C16

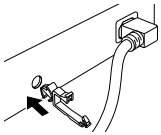
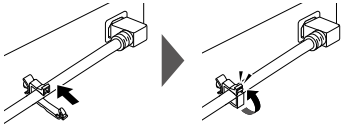
■ 前面



■ 背面



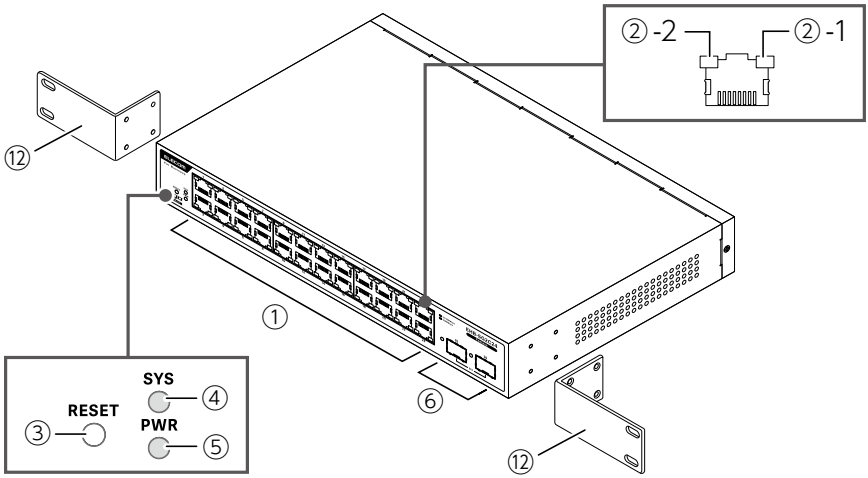
<table>
<tr><td>① LAN ポート</td><td>パソコンなど他のネットワーク機器と接続します。ストレート / クロスケーブルを自動判別する「Auto MDI/MDI-X」機能を搭載しています。</td></tr>
<tr><td>② -1 LINK/ACT LED
(1000Mbps)</td><td>
<table>
<tr><td rowspan="3">緑色
(右側)</td><td>点灯</td><td>1000Mbps で接続した状態です。</td></tr>
<tr><td>点滅</td><td>・不定期な点滅
接続中の機器とデータの送受信をしています。
・1 秒間隔での点滅
ループ防止機能が動作しているときに、遮断されているポートの LED が点滅します。</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>1000Mbps で接続した機器がない状態です。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>② -2 LINK/ACT LED
(10/100Mbps)</td><td>
<table>
<tr><td rowspan="3">橙色
(左側)</td><td>点灯</td><td>10/100Mbps で接続した状態です。</td></tr>
<tr><td>点滅</td><td>・不定期な点滅
接続中の機器とデータの送受信をしています。
・1 秒間隔での点滅
ループ防止機能が動作しているときに、遮断されているポートの LED が点滅します。</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>10/100Mbps で接続した機器がない状態です。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>③ RESET</td><td>このボタンを先の細いもので長押しすると再起動、または工場出荷状態に戻ります。
3 秒以上～ 6 秒未満：再起動
6 秒以上：工場出荷状態に初期化</td></tr>
<tr><td>④ SYS LED</td><td>
<table>
<tr><td rowspan="3">緑色</td><td>点灯</td><td>正常な状態です。</td></tr>
<tr><td>点滅</td><td>起動中の場合、またはループが発生している場合に点滅します。</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>電源が OFF の状態です。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>⑤ PWR LED</td><td>
<table>
<tr><td>緑色</td><td>点灯</td><td>電源が ON の状態です。</td></tr>
<tr><td></td><td>消灯</td><td>電源が OFF の状態です。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>⑥ SFP ポート</td><td>1000BASE-LX、1000BASE-SX モジュールを取り付けるためのポートです。
Auto Negotiation とフローコントロールをサポートし、全二重の通信方式および 1Gbps の通信速度で動作します。
※ SFP ポートは、エレコム製のモジュールのみサポートします。</td></tr>
<tr><td>⑦ 電源コネクター</td><td>付属の専用 AC ケーブルを差し込みます。</td></tr>
</table>

⑧ **AC ケーブル抜け防止バンド取付穴**	付属の AC ケーブル抜け防止バンドを使用して専用 AC ケーブルを製品本体に固定します。 **<取り付けイメージ>** ❶ 電源ケーブル抜け防止バンドを取り付けます。  ❷ 電源ケーブルを固定します。 
⑨ **FG 端子**	アース線を接続するための端子です。（ネジ径：M4 × 6mm） ※ アース線は別途ご用意ください。
⑩ **マグネット取付部**※ 1	オプションの専用マグネット（EHB-EX-MG4）を取り付けることができます。
⑪ **ゴム足取付部**	水平設置、マグネット設置、壁面設置の場合はこの部分に付属のゴム足を取り付けてください。
⑫ **壁掛け穴**	本製品を壁に掛けて使用する場合、この部分に市販のネジを引っ掛けて固定してください。
⑬ **19 インチラック取付金具**※ 2	本製品を 19 インチラックで使用する場合、付属の金具を本製品に取り付けて使用ください。本製品は EIA 規格準拠となります。

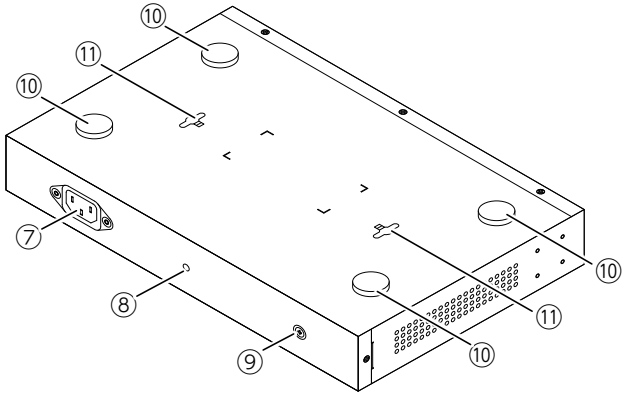
※ 1 オプション型番：EHB-EX-MG4（4 個入り） https://www.elecom.co.jp/products/EHB-EX-MG4.html
※ 2 19 インチラックに固定するネジは付属していません。別途ご用意ください。 推奨ネジ:M5 または M6 ケージナット

EHB-SG2C24

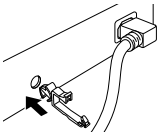
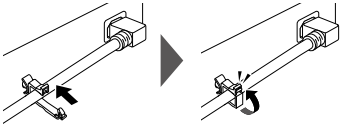
■ 前面



■ 背面

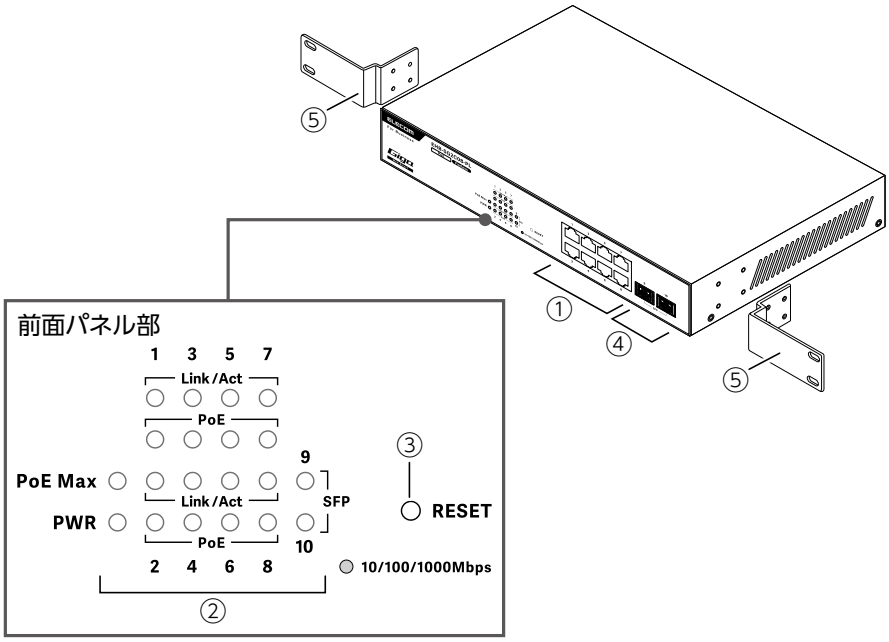


<table>
<tr><td>① LAN ポート</td><td>パソコンなど他のネットワーク機器と接続します。ストレート / クロスケーブルを自動判別する「Auto MDI/MDI-X」機能を搭載しています。</td></tr>
<tr><td>② -1 LINK/ACT LED
(1000Mbps)</td><td>
<table>
<tr><td rowspan="3">緑色
(右側)</td><td>点灯</td><td>1000Mbps で接続した状態です。</td></tr>
<tr><td>点滅</td><td>・不定期な点滅
接続中の機器とデータの送受信をしています。
・1 秒間隔での点滅
ループ防止機能が動作しているときに、遮断されているポートの LED が点滅します。</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>1000Mbps で接続した機器がない状態です。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>② -2 LINK/ACT LED
(10/100Mbps)</td><td>
<table>
<tr><td rowspan="3">橙色
(左側)</td><td>点灯</td><td>10/100Mbps で接続した状態です。</td></tr>
<tr><td>点滅</td><td>・不定期な点滅
接続中の機器とデータの送受信をしています。
・1 秒間隔での点滅
ループ防止機能が動作しているときに、遮断されているポートの LED が点滅します。</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>10/100Mbps で接続した機器がない状態です。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>③ RESET</td><td>このボタンを先の細いもので長押しすると再起動、または工場出荷状態に戻ります。
3 秒以上～ 6 秒未満：再起動
6 秒以上：工場出荷状態に初期化</td></tr>
<tr><td>④ SYS LED</td><td>
<table>
<tr><td rowspan="2">緑色</td><td>点灯</td><td>正常な状態です。</td></tr>
<tr><td>点滅</td><td>起動中の場合、またはループが発生している場合に点滅します。</td></tr>
<tr><td></td><td>消灯</td><td>電源が OFF の状態です。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>⑤ PWR LED</td><td>
<table>
<tr><td>緑色</td><td>点灯</td><td>電源が ON の状態です。</td></tr>
<tr><td></td><td>消灯</td><td>電源が OFF の状態です。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>⑥ SFP ポート</td><td>1000BASE-LX、1000BASE-SX モジュールを取り付けるためのポートです。
Auto Negotiation とフローコントロールをサポートし、全二重の通信方式および 1Gbps の通信速度で動作します。
※ SFP ポートは、エレコム製のモジュールのみサポートします。</td></tr>
<tr><td>⑦ 電源コネクター</td><td>付属の専用 AC ケーブルを差し込みます。</td></tr>
</table>

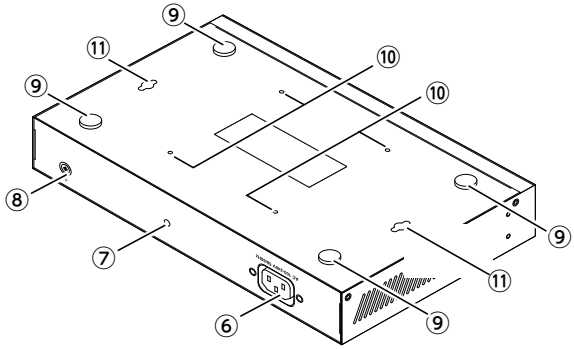
⑧ **AC ケーブル抜け防止バンド取付穴**	付属の AC ケーブル抜け防止バンドを使用して専用 AC ケーブルを製品本体に固定します。 **<取り付けイメージ>** ❶ AC ケーブル抜け防止バンドを取り付けます。  ❷ 専用 AC ケーブルを固定します。 
⑨ **FG 端子**	アース線を接続するための端子です。（ネジ径：M4 × 6mm） ※ アース線は別途ご用意ください。
⑩ **ゴム足取付部**	水平設置、壁面設置の場合はこの部分に付属のゴム足を取り付けてください。
⑪ **壁掛け穴**	本製品を壁に掛けて使用する場合、この部分に市販のネジを引っ掛けて固定してください。
⑫ **19 インチラック取付金具**※	本製品を 19 インチラックで使用する場合、付属の金具を本製品に取り付けて使用ください。本製品は EIA 規格準拠となります。

EHB-SG2C08-PL

■ 前面



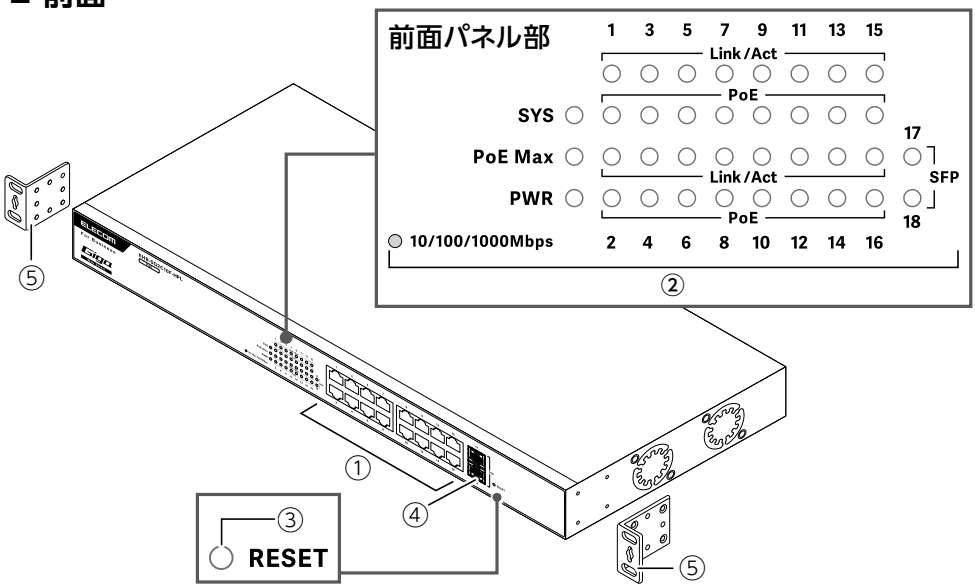
■ 背面



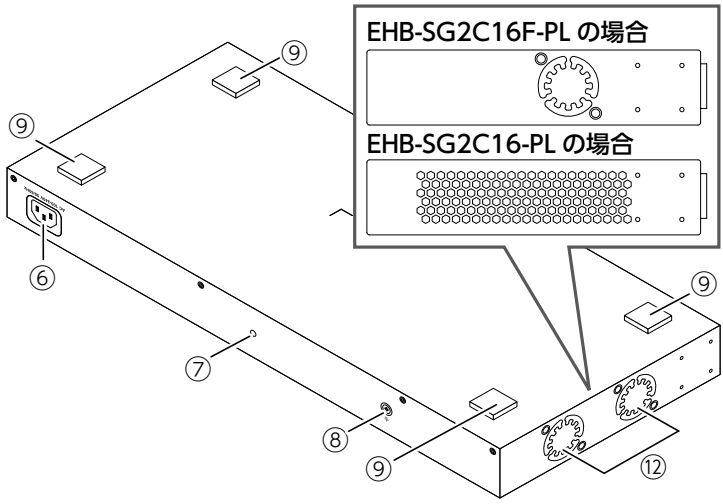
EHB-SG2C16-PL/EHB-SG2C16F-PL/EHB-SG2C16F-HPL

※ 前面・背面のイラストは EHB-SG2C16F-HPL です。
※ 機種によってファンの有無・個数が異なります。

■ 前面



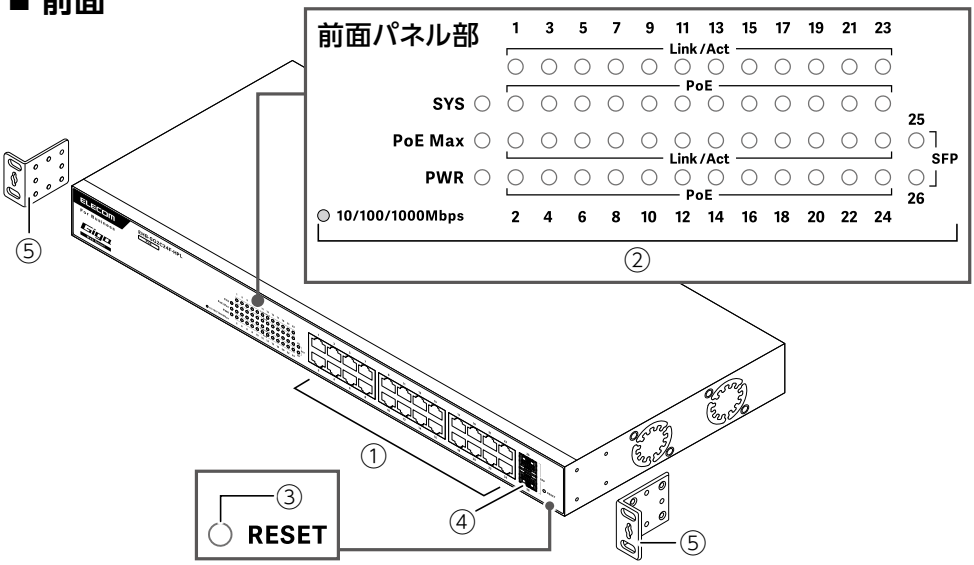
■ 背面



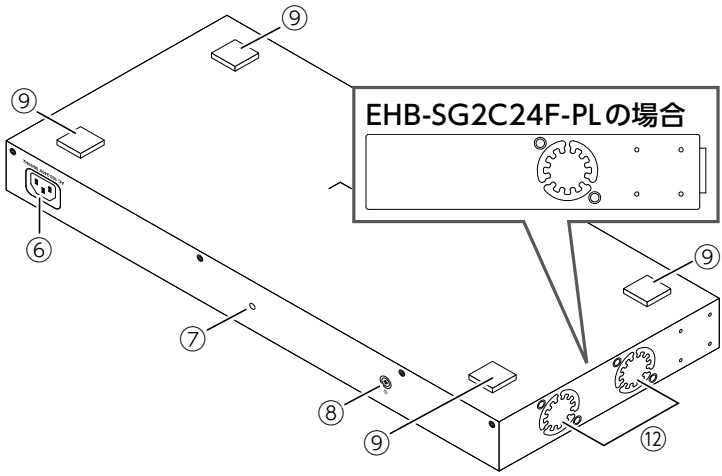
EHB-SG2C24F-PL/EHB-SG2C24F-HPL

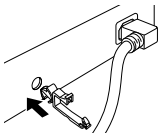
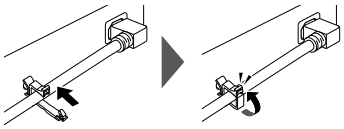
※ 前面・背面のイラストは EHB-SG2C24F-HPL です。
※ 機種によってファンの有無・個数が異なります。

■ 前面



■ 背面



<table>
<tr><td>① LAN ポート</td><td>パソコンなど他のネットワーク機器と接続します。ストレート / クロスケーブルを自動判別する「Auto MDI/MDI-X」機能を搭載しています。</td></tr>
<tr><td>② 前面パネル LED</td><td>
<table>
<tr><td rowspan="2">SYS</td><td>赤色</td><td>点灯</td><td>電源系統またはファンに異常が発生している状態です。
専用 AC ケーブルを抜き、しばらく経ってから電源を入れなおしてください。</td></tr>
<tr><td></td><td>消灯</td><td>正常な状態です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">PoE Max</td><td>緑色</td><td>点灯</td><td>供給電力の上限に達している状態です。</td></tr>
<tr><td></td><td>消灯</td><td>PoE 給電に余裕がある状態です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">PWR</td><td>緑色</td><td>点灯</td><td>電源が ON の状態です。</td></tr>
<tr><td></td><td>消灯</td><td>電源が OFF の状態です。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">Link/ Act</td><td rowspan="3">緑色</td><td>点灯</td><td>10/100/1000Mbps のいずれかで接続した状態です。</td></tr>
<tr><td>点滅</td><td>・不定期な点滅
接続中の機器とデータの送受信をしています。
・1 秒間隔での点滅
ループ防止機能が動作しているときに、遮断されているポートの LED が点滅します。</td></tr>
<tr><td></td><td>消灯</td><td>接続機器がない状態です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">SFP</td><td>緑色</td><td>点灯</td><td>光ファイバーケーブルで接続した状態です。</td></tr>
<tr><td></td><td>消灯</td><td>接続機器がない状態です。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>③ RESET</td><td>このボタンを先の細いもので約 10 秒長押しすると、工場出荷状態に戻ります。</td></tr>
<tr><td>④ SFP ポート</td><td>1000BASE-LX、1000BASE-SX モジュールを取り付けるためのポートです。Auto Negotiation とフローコントロールをサポートし、全二重の通信方式および 1Gbps の通信速度で動作します。
※ SFP ポートは、エレコム製のモジュールのみサポートします。</td></tr>
<tr><td>⑤ 19 インチラック取付金具※1</td><td>本製品を 19 インチラックで使用する場合、付属の金具を本製品に取り付けて使用ください。本製品は EIA 規格準拠となります。</td></tr>
<tr><td>⑥ 電源コネクター</td><td>付属の専用 AC ケーブルを差し込みます。</td></tr>
<tr><td>⑦ AC ケーブル抜け防止バンド取付穴</td><td>付属の AC ケーブル抜け防止バンドを使用して専用 AC ケーブルを製品本体に固定します。
<取り付けイメージ>
❶ AC ケーブル抜け防止バンドを取り付けます。
 
❷ 専用 AC ケーブルを固定します。
  </td></tr>
</table>

⑧ FG 端子	アース線を接続するための端子です。(ネジ径 : M4 × 6mm) ※ アース線は別途ご用意ください。
⑨ ゴム足取付部	水平設置、壁面設置の場合はこの部分に付属のゴム足を取り付けてください。
⑩ マグネット取付部※2	オプションの専用マグネットを取り付けることができます。
⑪ 壁掛け穴※2	本製品を壁に掛けて使用する場合、この部分に市販のネジを引っ掛けて固定してください。
⑫ ファン	冷却用ファンです。ふさがないでください。

※1 19 インチラックに固定するネジは付属していません。別途ご用意ください。
推奨ネジ : M5 または M6 ケージナット
※2 EHB-SG2C08-PL のみ。

セットアップ編

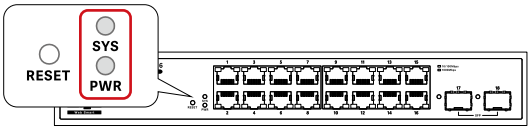
STEP1 設定用のパソコンを接続する……27
STEP2 管理画面にログインする……29

STEP1 設定用のパソコンを接続する

EHB-SG2C08 ／ EHB-SG2C16 ／ EHB-SG2C24 の場合

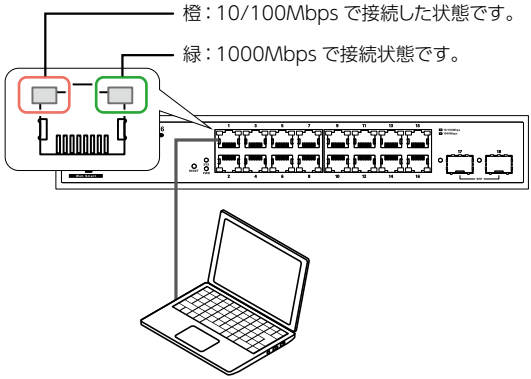
1 専用のACケーブルを接続します。

一定時間経過後システムが稼働し、PWR、SYS LED が緑点灯します。



2 LANケーブルでPC と本製品を接続します。

LINK/ACT LED が点灯、または点滅することを確認します。

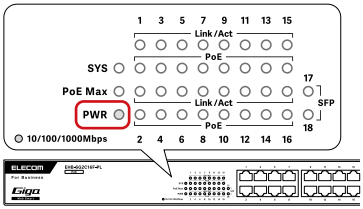


※ イラストは EHB-SG2C16 のポート 1 に接続した場合の例です。

EHB-SG2C08-PL ／ EHB-SG2C16-PL ／ EHB-SG2C16F-PL ／ EHB-SG2C24F-PL ／ EHB-SG2C16F-HPL ／ EHB-SG2C24F-HPLの場合

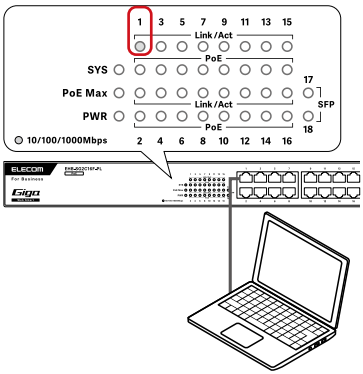
1 専用のACケーブルを接続します。

一定時間経過後システムが稼働し、PWR LED が緑点灯します。



2 LANケーブルでPC と本製品を接続します。

LINK/ACT LED が点灯、または点滅することを確認します。



※ イラストは EHB-SG2C16F-PL のポート 1 に接続した場合の例です。

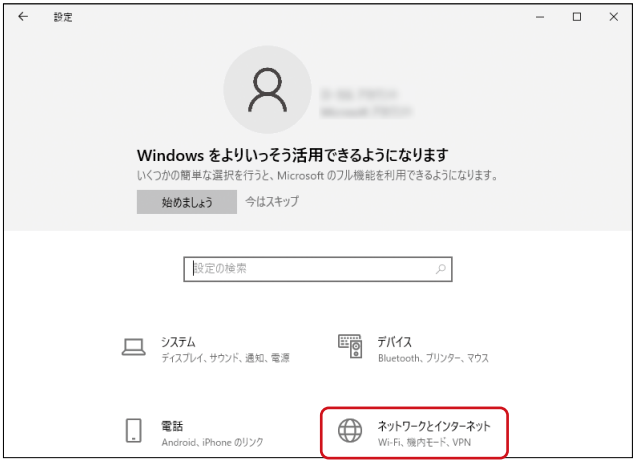
STEP2 管理画面にログインする

1 設定する端末のIP アドレスを「192.168.3.2」、サブネットマスクを「255.255.255.0」に固定します。

① [スタート]－[設定]をクリックします。



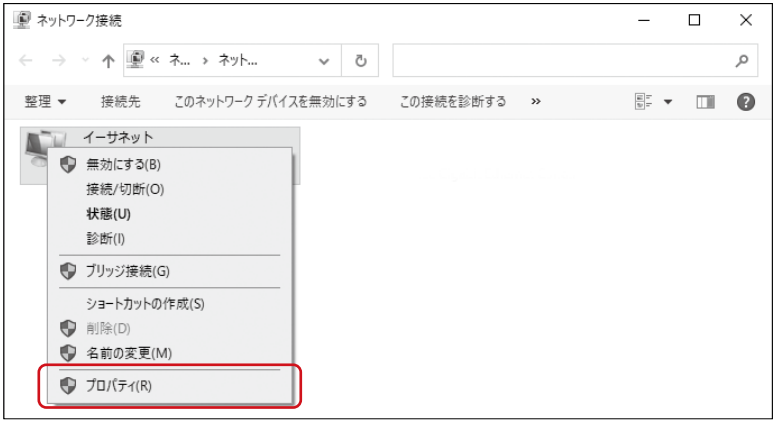
② [ネットワークとインターネット]をクリックします。



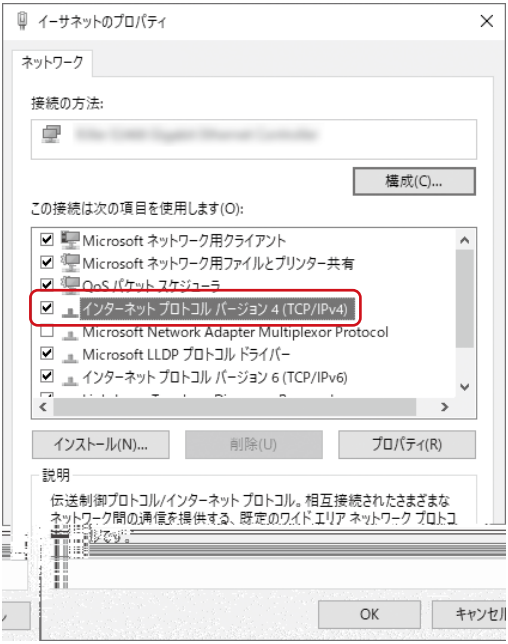
③「状態」画面の[アダプターのオプションを変更する]をクリックします。



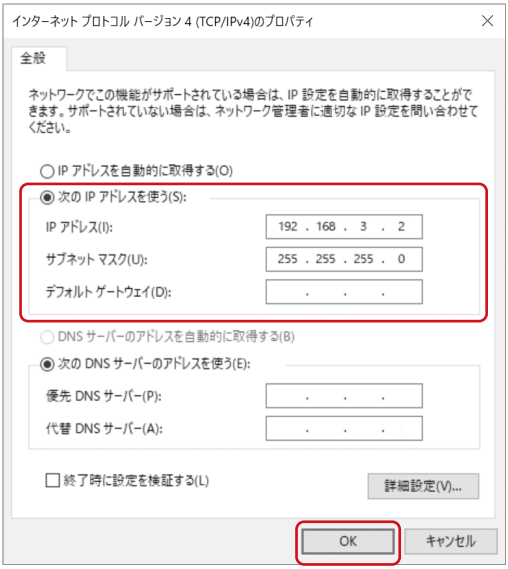
④ [イーサネット]を選択し、右クリックして[プロパティ]をクリックします。



⑤ [イーサネットのプロパティ]画面で [インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)]を選択し[プロパティ]をクリックします。



⑥［インターネット プロトコル バージョン（TCP/IPv4）］画面で［次のIP アドレスを使う］を選択し、IP アドレスに「192.168.3.2」、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力して［OK］をクリックします。



2 Webブラウザー（Google Chrome など）を起動し、アドレスバーに「192.168.3.1」と入力します。



3 ユーザー名とパスワードに「admin」を入力し、[ログイン]をクリックします。



4 初回ログイン時は、パスワード変更画面が表示されますので、パスワードを任意のものに設定し、「適用」をクリックします。



項目	内容
文字数	8 文字以上 32 文字以内
使用可能文字	「?」（クエスチョンマーク）と「"」（ダブルクオーテーション）を除く半角英数記号のみ

5 管理画面が表示されます。



以上でセットアップは完了です。

設置編

本製品を設置する **35**
可能な設置方法 35
水平に設置する 36
マグネットで設置する 36
19インチラックに取り付ける 37
壁面に設置する 38
ACコンセントが2ピンの場合 **39**

本製品を設置する

可能な設置方法

	水平設置	壁掛け	19インチラックマウント	マグネット設置
EHB-SG2C08	○	○	○	○※
EHB-SG2C16	○	○	○	○※
EHB-SG2C24	○	○	○	―
EHB-SG2C08-PL	○	○	○	○※
EHB-SG2C16-PL	○	―	○	―
EHB-SG2C16F-PL	○	―	○	―
EHB-SG2C24F-PL	○	―	○	―
EHB-SG2C16F-HPL	○	―	○	―
EHB-SG2C24F-HPL	○	―	○	―

※ オプション型番：EHB-EX-MG4（マグネット４個入り）
https://www.elecom.co.jp/products/EHB-EX-MG4.html

MEMO

- いずれの設置方法でも、アースへ正しく接続されていることを確認してください。通気スペースとして周囲を5cm 以上確保し、本体の通風孔をふさがないように設置してください。
- 本製品を2 台以上積み重ねて使用しないでください。

水平に設置する

本製品底面のゴム足取付部（4 ヶ所）に、付属のゴム足を取り付けます。

重要

- **水平設置は平らで安定した場所に設置してください。**

マグネットで設置する

1. **本製品底面のマグネット取付部に、オプションの専用マグネットを取り付けます。**
2. **本製品底面のゴム足取付部に、付属のゴム足を取り付けます。**

重要

- **マグネットを使用して本製品を高所・天井面に設置しないでください。**
- **マグネットで金属面へ設置する場合は衝撃などを与えると落下する恐れがあります。必ず落下防止対策を行ってください。**
- **マグネットはすべての金属面への取り付けを保証するものではありません。金属面の表面加工の状態によっては十分に固定できない場合があります。**

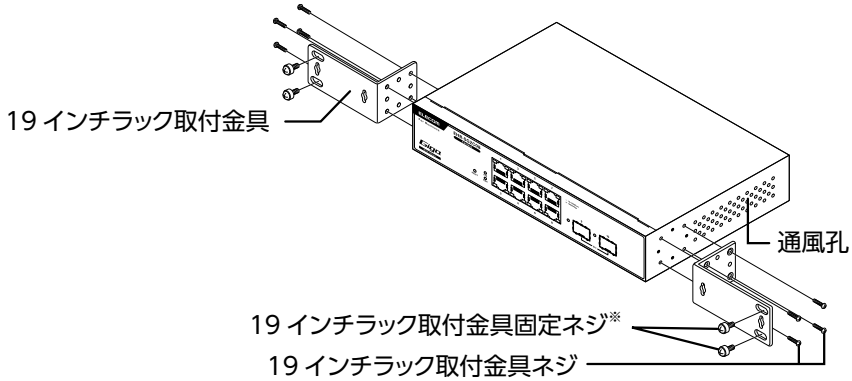
19インチラックに取り付ける

1 付属の19インチラック取付金具を、本製品に取り付けます。

19インチラック取付金具ネジを使用して、下図の向きで取り付けます。

2 本製品を、ラックに取り付けます。

19インチラック取付金具固定ネジを使用して、19インチラック取付金具をラックに取り付けます。

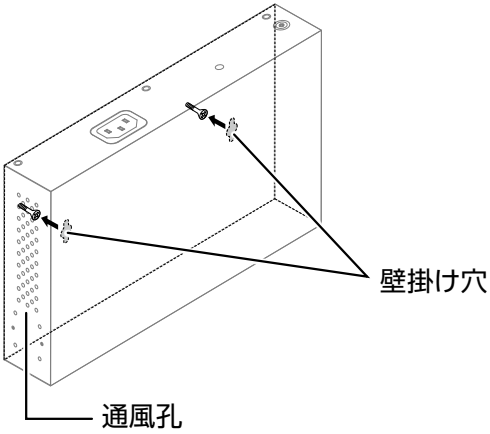


重要

- **ラック内の温度は多くの機器が動作することで室温より高くなることが想定されます。**
  ラック環境の温度が動作温度範囲内であることを確認してください。
- **本製品はEIA 規格準拠となります。**

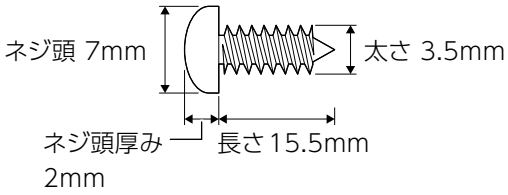
壁面に設置する

壁に市販のネジ（2 本）を取り付けた後、本製品の壁掛け穴をネジに掛けて固定してください。



※ 壁面設置用ネジは同梱しておりませんので別途ご用意ください。

推奨ネジ

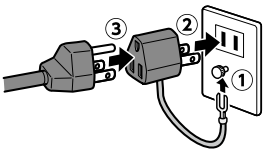


重要

- **壁面に取り付ける際は、適切なネジで確実に固定してください。**
  固定強度が不充分な場合、落下などにより重大な事故が発生する恐れがあります。必ず落下防止対策を行ってください。
- **付属の 19 インチラック取付金具を使用して本製品を高所・天井面に設置しないでください。**
- **直射日光が当たる壁面、水がかかる恐れのある壁面、ほこりが多い壁面は避けてください。**

ACコンセントが２ピンの場合

付属の３ピン-２ピン変換アダプターでコンセントに接続してください。



- 感電防止および安定動作のため、必ずアースを接地してください。
- アース線は電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてからはずしてください。
- 順序を守らないと故障・感電・火災の原因となります。アース線がコンセントや他の電極に接触しないようにしてください。

設定リファレンス編

管理画面（設定画面）を表示する **48**

各メニューについて **49**

ステータス 49

ネットワーク 49

ポート 50

PoE 50

VLAN 51

MACアドレステーブル 52

スパニングツリー 52

検出 53

マルチキャスト 54

セキュリティ 56

アクセス制御設定 58

QoS 59

診断 60

管理 61

ループ防止 62

設定の保存と再起動 **63**

ステータス **64**

システム情報 **64**

管理者権限での表示画面 64

ユーザー権限での表示画面 64

ログメッセージ **66**

【ポート】統計 **67**

【ポート】ポート自動シャットダウン **69**

【ポート】帯域幅使用率 **70**

リンクアグリゲーション 71
MACアドレステーブル 72
ネットワーク 73
IPアドレス 73
IPv4アドレス 73
IPv6アドレス 73
動作ステータス 74
システム時刻 75
SNTP 76
手動設定 76
サマータイム 76
動的ステータス 76
ポート 77
ポート設定 77
ポート自動シャットダウン設定 79
【リンクアグリゲーション】グループ 81
【リンクアグリゲーション】ポート設定 83
【リンクアグリゲーション】LACP 85
EEE 87
ジャンボフレーム 89
PoE 90
グローバル設定 90
電力表示 92
VLAN 93
【VLAN】VLAN作成 93

【VLAN】VLAN設定 95
【VLAN】メンバーシップ 96
【VLAN】ポート設定 99
【Voice VLAN】プロパティ 101
【Voice VLAN】Voice OUI 103
【プロトコル VLAN】プロトコルグループ 104
【プロトコル VLAN】グループバインディング 105
【MAC VLAN】MACグループ 106
【MAC VLAN】グルーピング 107
【サーベイランスVLAN】プロパティ 108
【サーベイランスVLAN】サーベイランス OUI 110
【GVRP】プロパティ 111
【GVPR】メンバーシップ 113
【GVPR】統計 114
MACアドレステーブル 115
動的アドレス 115
静的アドレス 116
フィルタリングアドレス 117
エージングタイム 118
スパニングツリー 119
プロパティ 119
ポート設定 121
MSTインスタンス 124
MSTポート設定 126
統計 128

検出 **130**
【LLDP】プロパティ 130
LLDP 130
LLDP-MED 131
【LLDP】ポート設定 132
【LLDP】MEDネットワークポリシー 134
【LLDP】MEDポート設定 136
Location 137
【LLDP】パケットビュー 138
【LLDP】ローカル情報 141
【LLDP】ネイバー 144
基本詳細 145
【LLDP】統計 146
マルチキャスト **147**
【一般】プロパティ 147
マルチキャスト転送方式 147
【一般】グループアドレス 148
【一般】ルーターポート 150
【一般】転送設定 152
【一般】スロットル 154
【一般】フィルタリングプロファイル 156
【一般】フィルタリング 157
【IGMP Snooping】プロパティ 159
【IGMP Snooping】クエリア 161
【IGMP Snooping】統計 163
【MLD Snooping】プロパティ 164

【MLD Snooping】統計 166
【MVR】MVRプロパティ 167
【MVR】MVRポート設定 168
【MVR】MVRグループアドレス 170
セキュリティ 172
RADIUS 172
デフォルトパラメータを使用 172
TACACS+ 174
デフォルトパラメータを使用 174
【AAA】認証方式リスト 175
【AAA】ログイン認証 177
【管理アクセス】管理VLAN 178
【管理アクセス】管理サービス 179
管理サービス 179
セッションタイムアウト 179
パスワードリトライカウント 180
サイレントタイム 180
【管理アクセス】管理画面アクセス制御設定 181
【管理アクセス】管理画面アクセスリスト作成 182
【認証管理】プロパティ 185
【認証管理】ポート設定 187
共通タイマー 189
802.1xパラメータ 189
Webベースパラメータ 189
【認証管理】MACベースローカルアカウント 190
割り当てタイマー 191
【認証管理】WEBベースローカルアカウント 192

割り当てタイマー 193
【認証管理】セッション 194
ポートセキュリティー 195
保護ポート 197
ストームコントロール 198
【DoS】プロパティ 200
【DoS】ポート設定 202
【ダイナミックARPインスペクション】プロパティ 203
【ダイナミックARPインスペクション】統計 205
【DHCP Snooping】プロパティ 206
【DHCP Snooping】統計 208
【DHCP Snooping】Option82プロパティ 209
【DHCP Snooping】Option82サーキットID 211
【IPソースガード】ポート設定 212
【IPソースガード】IMPVバインディング 214
【IPソースガード】データ保存 216
アクセス制御設定 217
MACアドレスアクセス制御設定 217
MACアドレスアクセス制御リスト作成 218
IPv4アドレスアクセス制御設定 221
IPv4アクセス制御リスト作成 222
IPv6アドレスアクセス制御設定 226
IPv6アクセス制御リスト作成 227
アクセス制御設定バインディング 231
QoS 233
【一般】プロパティ 233

リマーキング 234
【一般】キュースケジューリング 235
【一般】CoSマッピング 236
【一般】DSCPマッピング 237
【一般】IP優先順位マッピング 238
【レート制限】入出力ポート 239
【レート制限】出力キュー 241
診断 243
【ログ】プロパティ 243
RAMログ／Flashログ 243
【ログ】Syslogサーバー 244
ミラーリング 246
Ping 248
Traceroute 249
ケーブルテスト 250
ファイバーモジュール 251
【単一方向リンク検出】プロパティ 252
【単一方向リンク検出】ネイバー 253
管理 254
ユーザーアカウント 254
アドミリンク 256
基本設定 256
詳細設定 257
【ファームウェア】アップグレード 259
「更新方法」に「TFTP」を選択した場合 259
「更新方法」に「HTTP」を選択した場合 260

【設定】復元/バックアップ 261
復元で「更新方法」に「TFTP」を選択した場合 261
復元で「更新方法」に「HTTP」を選択した場合 262
バックアップで「更新方法」に「TFTP」を選択した場合 263
バックアップで「更新方法」に「HTTP」を選択した場合 265
【設定】保存 266
【SNMP】ビュー 267
【SNMP】グループ 268
【SNMP】コミュニティー 270
【SNMP】ユーザー 272
認証あり 273
暗号化 273
【SNMP】エンジンID 274
【SNMP】トラップ 275
【SNMP】通知 276
【RMON】統計 279
【RMON】履歴 282
【RMON】イベント 284
【RMON】アラーム 286
上昇/降下 287
タイムスケジュール 288
ループ防止 290
プロパティ 290
ステータス 291

管理画面(設定画面)を表示する

本製品の各種設定をするために、Webブラウザーから利用できる設定画面があります。
各ボタンの詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。

1 本製品の設定に使用するパソコンのネットワークを設定します。

IPアドレス：192.168.3.xxx
xxxは、2 ～ 254までの任意の数字にします。

2 本製品に接続しているパソコンのWebブラウザーを開き、以下のWebページを表示します。

認証画面が表示された場合は、ユーザー名とパスワードに「admin」を入力し、[ログイン]をクリックします。

http://192.168.3.1/

管理画面が表示されます。



●ご利用のWebブラウザー（Google Chromeなど）のバージョンによっては「保護されていない」などの警告が表示される場合がありますが、セキュリティ上問題ありません。そのまま操作を続けてください。

重要 **設定を変更した場合は、必ず各ページの「適用」をクリックして設定を保存してください。**
「適用」をクリックせずに他の画面に移動すると、設定が変更されません。
また、各種設定を終了する前に必ず設定画面右上の「保存」をクリックして、設定を保存してください。

各メニューについて

■ ステータス

メニュー項目	内容
システム情報	本製品のハードウェア情報や IP アドレスなどのシステム情報を表示します。 → P64「システム情報」
ログメッセージ	システムログを表示します。 → P66「ログメッセージ」
ポート	**●統計** ポートの統計情報を表示します。 → 67 ページ「【ポート】統計」 **●ポート自動シャットダウン** ポート自動シャットダウンの原因、残り時間を表示します。 → P69「【ポート】ポート自動シャットダウン」 **●帯域幅使用率** 帯域幅使用率を表示します。 → P70「【ポート】帯域幅使用率」
リンクアグリゲーション	リンクアグリゲーション情報を表示します。 → P71「リンクアグリゲーション」
MAC アドレステーブル	MAC アドレス情報を表示します。 → P72「MAC アドレステーブル」

■ ネットワーク

メニュー項目	内容
IP アドレス	IP アドレスを設定します。 → P73「IP アドレス」
システム時刻	システム時刻を設定します。 → P75「システム時刻」

■ ポート

メニュー項目	内容
ポート設定	ポートを設定します。 → P77「ポート設定」
ポート自動シャットダウン設定	ポートの自動シャットダウン設定をします。 → P79「ポート自動シャットダウン設定」
リンクアグリゲーション	**●グループ** リンクアグリゲーションのテーブル設定を行います。 → P81「【リンクアグリゲーション】グループ」 **●ポート設定** リンクアグリゲーションのポート設定を行います。 → P83「【リンクアグリゲーション】ポート設定」 **● LACP** リンクアグリゲーションの LACP ポート設定を行います。 → P85「【リンクアグリゲーション】LACP」
EEE	EEE 機能の有効／無効を設定します。 → P87「EEE」
ジャンボフレーム	ジャンボフレーム機能の有効／無効に設定します。 → P89「ジャンボフレーム」

■ PoE

メニュー項目	内容
PoE	**●グローバル設定** PoE の設定を行います。 → P90「グローバル設定」 **●電力表示** PoE の状態を表示します。 → P92「電力表示」

■ VLAN

メニュー項目	内容
VLAN	**● VLAN 作成** VLAN を作成します。 → P93「【VLAN】VLAN 作成」 **● VLAN 設定** VLAN を設定します。 → P95「【VLAN】VLAN 設定」 **●メンバーシップ** VLAN のメンバーシップを設定します。 → P96「【VLAN】メンバーシップ」 **●ポート設定** ポート VLAN を設定します。 → P99「【VLAN】ポート設定」
Voice VLAN	**●プロパティ** Voice VLAN を設定します。 → **P101「【Voice VLAN】プロパティ」** **● Voice OUI** Voice OUI を設定します。 → **P103「【Voice VLAN】Voice OUI」**
プロトコル VLAN	**●プロトコルグループ** プロトコルグループを設定します。 → P104「【プロトコル VLAN】プロトコルグループ」 **●グループバインディング** グループバインディングを設定します。 → P105「【プロトコル VLAN】グループバインディング」
MAC VLAN	**● MAC グループ** MAC グループを設定します。 → P106「【MAC VLAN】MAC グループ」 **●グルーピング** グルーピングテーブルを設定します。 → P107「【MAC VLAN】グルーピング」
サーベイランス VLAN	**●プロパティ** サーベイランス VLAN を設定します。 → P108「【サーベイランス VLAN】プロパティ」 **●サーベイランス OUI** サーベイランス OUI を設定します。 → P110「【サーベイランス VLAN】サーベイランス OUI」

GVRP	**●プロパティ** GVRP の設定をします。 → P111「【GVRP】プロパティ」 **●メンバーシップ** GVPR のメンバーシップを設定します。 → P113「【GVPR】メンバーシップ」 **●統計** GVPR の統計の設定をします。 → P114「【GVPR】統計」

■ MACアドレステーブル

メニュー項目	内容
動的アドレス	動的 MAC アドレスを設定します。 → P115「動的アドレス」
静的アドレス	スイッチが管理している静的アドレステーブルを表示します。 → P116「静的アドレス」
フィルタリングアドレス	フィルタリングを設定します。 → P117「フィルタリングアドレス」
エージングタイム	エージングタイムを設定します。 → P118「エージングタイム」

■ スパニングツリー

メニュー項目	内容
プロパティ	スパニングツリーのプロパティを設定します。 → P119「プロパティ」
ポート設定	スパニングツリーのポート設定をします。 → P121「ポート設定」
MST インスタンス	MST インスタンスの設定をします。 → P124「MST インスタンス」
MST ポート設定	MST ポートを設定します。 → P126「MST ポート設定」
統計	スパニングツリーの統計を表示します。 → P128「統計」

■ 検出

メニュー項目	内容
LLDP	**●プロパティ** LLDP (Link Layer Discovery Protocol) のプロパティを設定します。 → P130「【LLDP】プロパティ」 **●ポート設定** ポートごとに LLDP を設定します。 → P132「【LLDP】ポート設定」 **● MED ネットワークポリシー** MED ネットワークポリシーテーブルを設定します。 → P134「【LLDP】MED ネットワークポリシー」 **● MED ポート設定** MED ポートを設定します。 → P136「【LLDP】MED ポート設定」 **●パケットビュー** パケットビューの情報を表示します。 → P138「【LLDP】パケットビュー」 **●ローカル情報** 本製品の LLDP 情報を表示します。 → P141「【LLDP】ローカル情報」 **●ネイバー** ネイバーの情報を表示します。 → P144「【LLDP】ネイバー」 **●統計** LLDP の統計を表示します。 → P146「【LLDP】統計」

■ マルチキャスト

メニュー項目	内容
一般	**●プロパティ** マルチキャストのプロパティを設定します。 → P147「【一般】プロパティ」 **●グループアドレス** マルチキャストのグループアドレスを設定します。 → P148「【一般】グループアドレス」 **●ルーターポート** ルーターポートを設定します。 → P150「【一般】ルーターポート」 **●転送設定** 転送の設定をします。 → P152「【一般】転送設定」 **●スロットル** スロットルの設定をします。 → P154「【一般】スロットル」 **●フィルタリングプロファイル** フィルタリングのプロファイルを設定します。 → P156「【一般】フィルタリングプロファイル」 **●フィルタリング** フィルタリングの設定をします。 → P157「【一般】フィルタリング」
IGMP Snooping	**●プロパティ** IGMP Snooping のプロパティを設定します。 → P159「【IGMP Snooping】プロパティ」 **●クエリア** IGMP Snooping クエリアを設定します。 → P161「【IGMP Snooping】クエリア」 **●統計** IGMP Snooping の統計を表示します。 → P163「【IGMP Snooping】統計」
MLD Snooping	**●プロパティ** MLD Snooping のプロパティを設定します。 → P164「【MLD Snooping】プロパティ」 **●統計** MLD Snooping の統計を表示します。 → P166「【MLD Snooping】統計」

MVR	● **MVR プロパティ** MVR のプロパティを設定します。 → P167「【MVR】MVR プロパティ」 ● **MVR ポート設定** MVR ポートの設定をします。 → P168「【MVR】MVR ポート設定」 ● **MVR グループアドレス** MVR グループアドレスの設定をします。 → P170「【MVR】MVR グループアドレス」

■ セキュリティ

メニュー項目	内容
RADIUS	RADIUS サーバーの設定をします。 → P172「RADIUS」
TACACS+	TACACS+ の設定をします。 → P174「TACACS+」
AAA	**●認証方式リスト** 認証方式を設定します。 → P175「【AAA】認証方式リスト」 **●ログイン認証** ログイン認証の設定をします。 → P177「【AAA】ログイン認証」
管理アクセス	**●管理 VLAN** 管理 VLAN を選択します。 → P178「【管理アクセス】管理 VLAN」 **●管理サービス** 管理サービスの設定をします。 → P179「【管理アクセス】管理サービス」 **●管理画面アクセス制御設定** 管理アクセスの制御設定をします。 → P181「【管理アクセス】管理画面アクセス制御設定」 **●管理画面アクセス制御リスト作成テーブル** → P182「【管理アクセス】管理画面アクセスリスト作成」
認証管理	**●プロパティ** → P185「【認証管理】プロパティ」 **●ポート設定** → **P187「【認証管理】ポート設定」** **● MAC ベースローカルアカウントテーブル** → P190「【認証管理】MAC ベースローカルアカウント」 **● WEB ベースローカルアカウントテーブル** → P192「【認証管理】WEB ベースローカルアカウント」 **●セッション** → P194「【認証管理】セッション」
ポートセキュリティー	ポートのセキュリティを設定します。 → P195「ポートセキュリティー」

保護ポート	保護ポートの設定をします。 → P197「保護ポート」
ストームコントロール	トラフィックを制限して過負荷状態になるのを防ぎます。 → P198「ストームコントロール」
DoS	**●プロパティ** DoS 攻撃防止のための設定を行います。 → P200「【DoS】プロパティ」 **●ポート設定** → P202「【DoS】ポート設定」
ダイナミック ARP インスペクション	**●プロパティ** ダイナミック ARP インスペクションのプロパティを設定します。 → P203「【ダイナミック ARP インスペクション】プロパティ」 **●統計** ダイナミック ARP インスペクションの統計を表示します。 → P205「【ダイナミック ARP インスペクション】統計」
DHCP Snooping	**●プロパティ** DHCP Snooping のプロパティを設定します。 → P206「【DHCP Snooping】プロパティ」 **●統計** DHCP Snooping の統計を表示します。 → P208「【DHCP Snooping】統計」 **● Option82 プロパティ** Option82 のプロパティを設定します。 → P209「【DHCP Snooping】Option82 プロパティ」 **● Option82 サーキット ID** Option82 のサーキット ID を設定します。 → P211「【DHCP Snooping】Option82 サーキット ID」
IP ソースガード	**●ポート設定** IP ソースガードのポートを設定します。 → P212「【IP ソースガード】ポート設定」 **● IMPV バインディング** IP ソースガードの IMPV バインディングを設定します。 → P214「【IP ソースガード】IMPV バインディング」 **●データ保存** → P216「【IP ソースガード】データ保存」

■ アクセス制御設定

メニュー項目	内容
MAC アドレスアクセス制御設定	MAC アドレスでアクセスを制御します。 → P217「MAC アドレスアクセス制御設定」
MAC アドレスアクセス制御リスト作成	アクセス制御を追加したり、編集することができます。 → P218「MAC アドレスアクセス制御リスト作成」
IPv4 アクセス制御設定	IPv4 アドレスでアクセスを制御します。 → P221「IPv4 アドレスアクセス制御設定」
IPv4 アクセス制御リスト作成	アクセス制御を追加したり、編集することができます。 → P222「IPv4 アクセス制御リスト作成」
IPv6 アクセス制御設定	IPv6 アドレスでアクセスを制御します。 → P226「IPv6 アドレスアクセス制御設定」
IPv6 アクセス制御リスト作成	アクセス制御を追加したり、編集することができます。 → P227「IPv6 アクセス制御リスト作成」
アクセス制御設定バインディング	アクセス制御バインディングを設定します。 → P231「アクセス制御設定バインディング」

■ QoS

メニュー項目	内容
一般	**●プロパティ** CoS や Trust モードなどを設定します。 → P233「【一般】プロパティ」 **●キュースケジューリング** キューのスケジューリングを設定します。 → P235「【一般】キュースケジューリング」 **● CoS マッピング** CoS のマッピングテーブルを設定します。 → P236「【一般】CoS マッピング」 **● DSCP マッピング** DSCP のマッピングテーブルを設定します。 → P237「【一般】DSCP マッピング」 **● IP 優先順位マッピング** IP 優先順位のマッピングテーブルを設定します。 → P238「【一般】IP 優先順位マッピング」
レート制限	**●入出力ポート** 入力／出力ポートにレート制限を設定します。 → P239「【レート制限】入出力ポート」 **●出力キュー** 出力キューに対してレート制限を設定します。 → P241「【レート制限】出力キュー」

■ 診断

メニュー項目	内容
ログ	**●プロパティ** 有効にするログを設定します。 → P243「【ログ】プロパティ」 **● Syslog サーバー** ログを送信するリモートサーバーを設定します。 → P244「【ログ】Syslog サーバー」
ミラーリング	ポートミラーリングの設定を行います。 → P246「ミラーリング」
Ping	Ping を指定したアドレスへ送信します。 → P248「Ping」
Traceroute	指定したアドレスまでのルートをトレースして表示します。 → P249「Traceroute」
ケーブルテスト	ポートごとに導通テストを行います。 → P250「ケーブルテスト」
ファイバーモジュール	ファイバーモジュールの状態を表示します。 → P251「ファイバーモジュール」
単一方向リンク検出	**●プロパティ** → P252「【単一方向リンク検出】プロパティ」 **●ネイバー** ネイバーの情報を表示します。 → P253「【単一方向リンク検出】ネイバー」

■ 管理

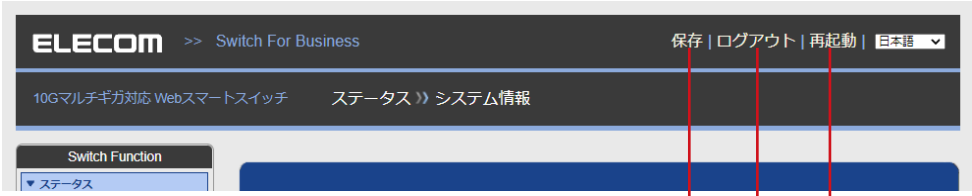
メニュー項目	内容
ユーザーアカウント	ユーザーの追加／編集を行います。 → P254「ユーザーアカウント」
アドミリンク	**●基本設定** → P256「基本設定」 **●詳細設定** → P257「詳細設定」
ファームウェア	**●アップグレード** ファームウェアをアップグレードします。 → P259「【ファームウェア】アップグレード」
設定	**●復元 / バックアップ** → P261「【設定】復元 / バックアップ」 **●保存** → P266「【設定】保存」
SNMP	●ビュー → P267「【SNMP】ビュー」 ●グループ → P268「【SNMP】グループ」 ●コミュニティー → P270「【SNMP】コミュニティー」 ●ユーザー → P272「【SNMP】ユーザー」 ●エンジン ID → P274「【SNMP】エンジン ID」 ●トラップ → P275「【SNMP】トラップ」 ●通知 → P276「【SNMP】通知」
RMON	●統計 → P279「【RMON】統計」 ●履歴 → P282「【RMON】履歴」 ●イベント → P284「【RMON】イベント」 ●アラーム → P286「【RMON】アラーム」

タイムスケジュール	タイムスケジュールの追加／編集を行います。 → P288「タイムスケジュール」

■ ループ防止

メニュー項目	内容
プロパティ	ループ防止機能の有効／無効を切り替えます。 → P290「プロパティ」
ステータス	ループ防止機能の状態を表示します。 → P291「ステータス」

設定の保存と再起動



保存
設定を変更した場合、「保存」ボタンを押して設定を保存します。

ログアウト
管理画面からログアウトします。

再起動
本製品を再起動します。設定を変更した場合は「保存」ボタンを押してから再起動してください。

重要 **設定を変更した場合は、必ず各ページの「適用」をクリックして設定を保存してください。**
「適用」をクリックせずに他の画面に移動すると、設定が変更されません。
また、各種設定を終了する前に必ず設定画面右上の「保存」をクリックして、設定を保存してください。
「保存」をクリックせずに本製品を再起動すると、設定した内容が最後に「保存」したときの状態に戻ります。

システム情報

本製品のハードウェア情報やIPアドレスなどのシステム情報などを表示します。

■ 管理者権限での表示画面



LANポートの使用状況を表示します。使用中のポートは緑で点灯します。

CPUとメモリの使用率をグラフで表示します。

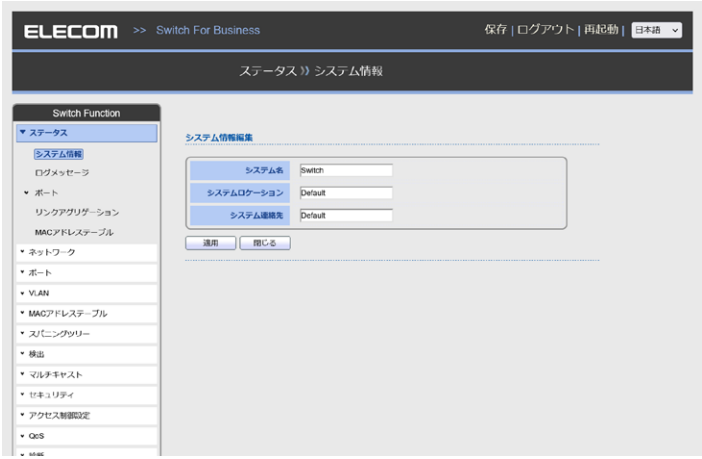
システム情報を表示します。

システム情報を設定します
→P65「システム情報編集」

■ ユーザー権限での表示画面



システム情報編集



項目	内容
システム名	本製品に設定する名前を入力します。 (半角英数字、記号で 255 文字まで。?（クエスチョンマーク）"（ダブルクォーテーション）は使用不可)
システムロケーション	本製品の設置場所を入力します。 (半角英数字、記号で 255 文字まで。?（クエスチョンマーク）"（ダブルクォーテーション）は使用不可)
システム連絡先	本製品の管理者名を入力します。 (半角英数字、記号で 255 文字まで。?（クエスチョンマーク）"（ダブルクォーテーション）は使用不可)

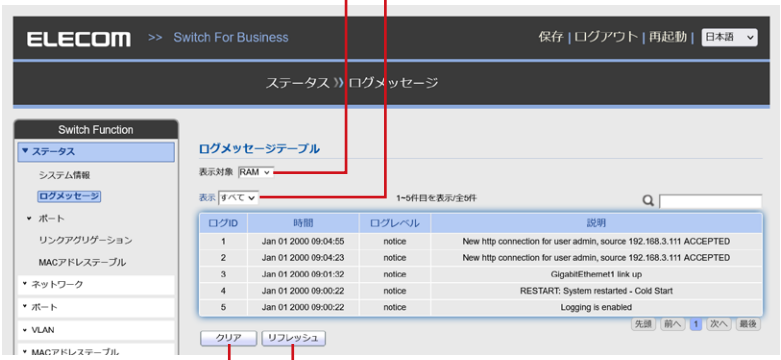
ログメッセージ

システムログを表示します。

> **MEMO**
> ログメッセージを表示する場合は、あらかじめ、[診断]→ [ログ]→ [プロパティ]の「状態」にチェックをいれて有効にしてください。
> →P243「【ログ】プロパティ」

表示対象
ログを表示する対象を選択します。(ROM ／ Flash)

ログの表示件数を変更します。
すべて(初期値) ／ 10件／ 30件／ 50件／ 100件



リフレッシュ
表示内容を最新のものに更新します。

クリア
表示をクリアします。

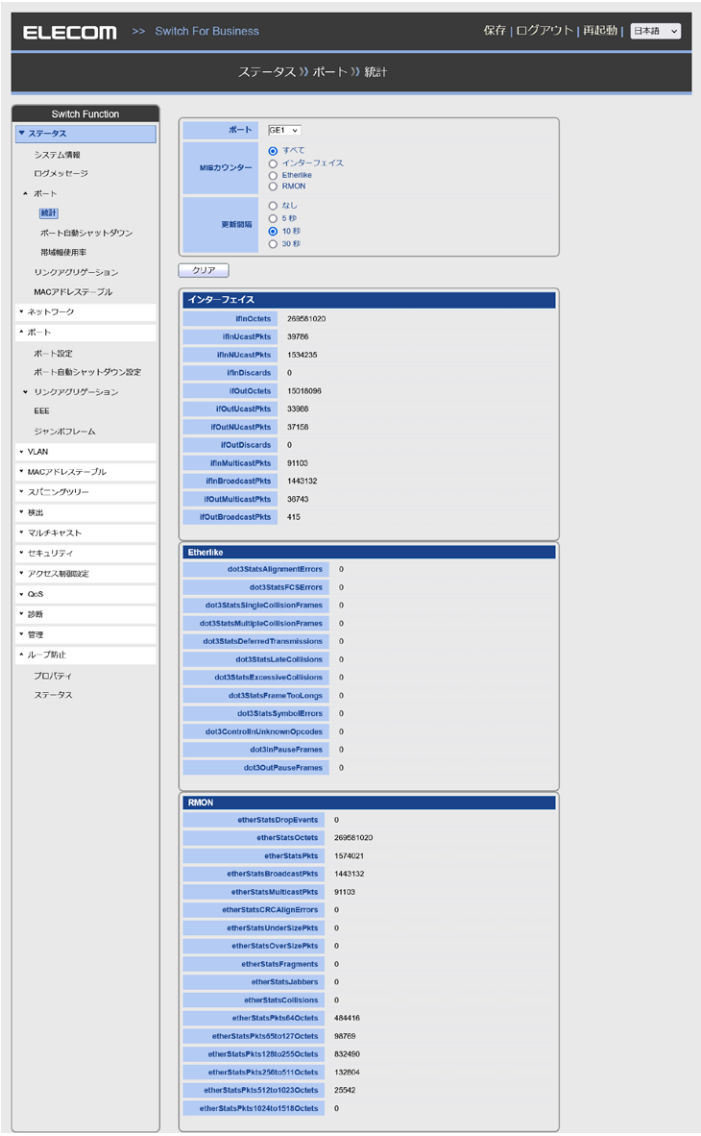
※ 画像のログメッセージの内容はサンプルです。

ログメッセージテーブル

項目	内容
ログ ID	ログ ID を表示します。
時間	ログを取得したシステム設定の日時を表示します。現在時刻でログを取得したい場合は SNTP サーバーから時刻を取得してください。(→ P75「システム時刻」)
重要度	ログの重要度を表示します。通知するログの種類はログのプロパティで設定を行ってください。(→ P243「【ログ】プロパティ」)
説明	ログの説明を表示します。

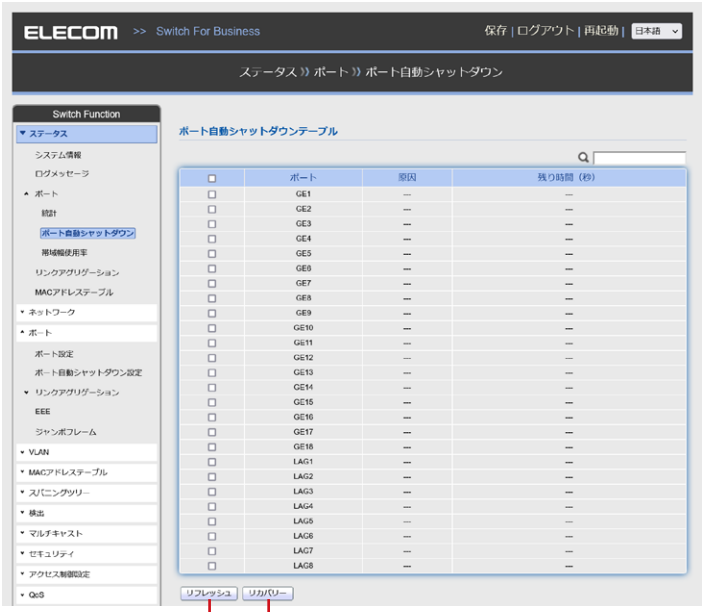
【ポート】統計

ポートの統計情報を表示します。



項目	内容
ポート	ポートを選択します。
MIB カウンター	MIB カウンターを選択します。
更新間隔	更新間隔を選択します。

【ポート】ポート自動シャットダウン

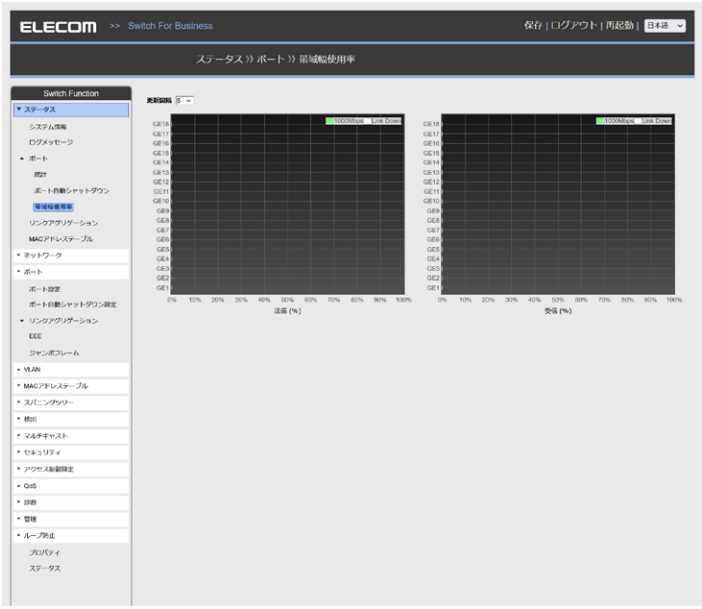


リカバリー

リフレッシュ
表示内容を最新のものに更新します。

【ポート】帯域幅使用率

帯域幅使用率をグラフで表示します。



リンクアグリゲーション

リンクアグリゲーション情報を表示します。



リンクアグリゲーションテーブル

項目	内容
LAG	リンクアグリゲーションのグループ名を表示します。
タイプ	リンクアグリゲーションのタイプを表示します。
リンクステータス	リンクアグリゲーションのリンクステータスを表示します。
アクティブメンバー	リンクアグリゲーションのアクティブに設定したポートを表示します。
非アクティブメンバー	リンクアグリゲーションの非アクティブに設定したポートを表示します。

MACアドレステーブル

スイッチが管理している MAC アドレステーブルを表示します。

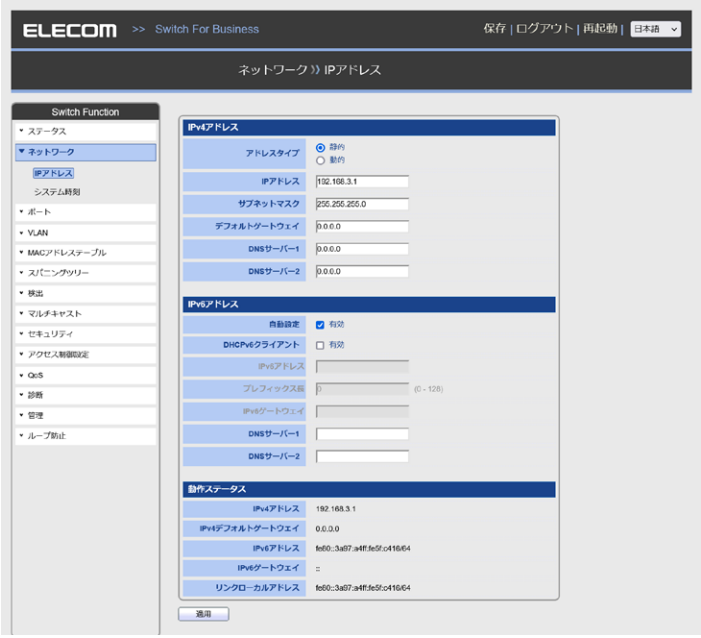


リンクアグリゲーションテーブル

項目	内容
VLAN	VLAN ごとに保持した MAC アドレスを表示します。 VLAN を選択し「クリア」をクリックすると、テーブルをクリアします。 「再表示」をクリックすると、保持した MAC アドレスを再表示します。
MAC アドレス	
タイプ	
ポート	

IPアドレス

IP アドレスの設定をします。



■ IPv4アドレス

項目	内容
アドレスタイプ	IP アドレスを静的に設定するか、動的に割り当てるか選択します。
IP アドレス	「アドレスタイプ」に「静的」を選択しているときに、アドレスを設定します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
DNS サーバー 1	
DNS サーバー 2	

■ IPv6アドレス

項目	内容
自動設定	RA(Router Advertisement) による、ステートレスアドレス自動設定の有効 / 無効を設定します。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>DHCPv6 クライアント</td><td>DHCPv6 による、ステートフルアドレス自動設定の有効 / 無効を設定します。
自動設定 /DHCPv6 の有効 / 無効の組み合わせにより、アドレスの取得は以下の通りとなります。
<table>
<tr><th>自動設定</th><th>DHCPv6 クライアント</th><th></th></tr>
<tr><td>有効</td><td>有効</td><td>リンクローカルアドレスおよびステートレスアドレス自動設定 (RA) と DHCPv6 両方から IP アドレスを取得します。
(IP アドレスの合計 : 3 つ)</td></tr>
<tr><td>有効</td><td>無効</td><td>ステートレスアドレス自動設定となります (RA)。</td></tr>
<tr><td>無効</td><td>有効</td><td>ステートフルアドレス自動設定となります。</td></tr>
<tr><td>無効</td><td>無効</td><td>固定 IPv6 アドレスとなります。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>IP アドレス</td><td rowspan="3">「アドレスタイプ」に「静的」を選択しているときに、アドレスを設定します。</td></tr>
<tr><td>プレフィックス長</td></tr>
<tr><td>IPv6 ゲートウェイ</td></tr>
<tr><td>DNS サーバー 1 ／
DNS サーバー 2</td><td>DNS サーバーを設定します。</td></tr>
</table>

■ 動作ステータス

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>IPv4 アドレス</td><td rowspan="5">現在の IP アドレス情報が表示されます。</td></tr>
<tr><td>デフォルトゲートウェイ</td></tr>
<tr><td>IPv6 アドレス</td></tr>
<tr><td>IPv6 ゲートウェイ</td></tr>
<tr><td>リンクローカルアドレス</td></tr>
</table>

システム時刻

システム時刻を設定します。



項目	内容
設定方法	**SNTP**：SNTP サーバーからシステム時刻を取得します。 **コンピューターから**：管理用パソコンの時刻をシステム時刻に設定します。 **手動設定**：手動でシステム時刻を設定します。 ***MEMO*** 「コンピューターから」「手動設定」で取得した時刻は本製品を再起動すると、システム情報の現在時刻は初期の時刻にリセットされます。常に現在時刻を取得する場合はSNTP サーバーから時刻取得を行ってください。
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。 (初期値：UTC + 9（日本))

■ SNTP

項目	内容
アドレスタイプ	「設定方法」に「SNTP」を選択しているときに、SNTP サーバーの情報を入力します。
サーバーアドレス	
サーバーポート	

■ 手動設定

項目	内容
日	「設定方法」に「手動設定」を選択しているときに、時刻を入力します。 「日」入力欄をクリックするとカレンダーが表示され日付を選択することが可能です。 （入力形式　日：YYYY-MM-DD ／時刻：HH:MM:SS）
時間	

■ サマータイム

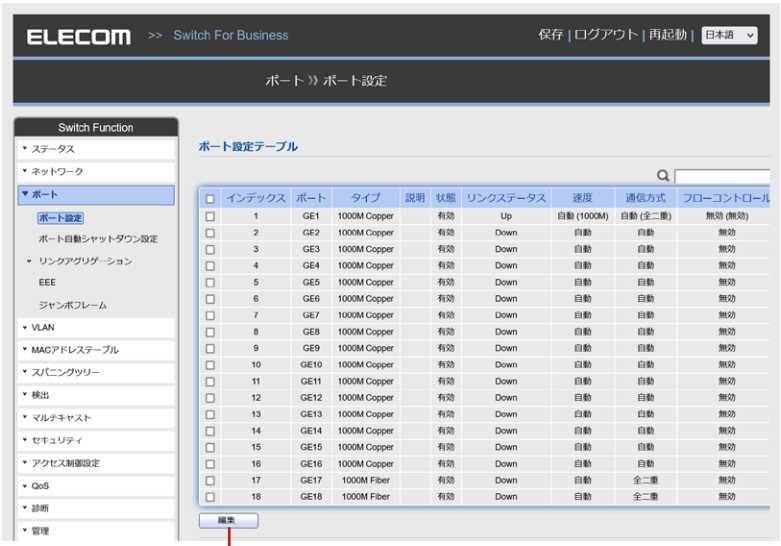
項目	内容
タイプ	**なし**：サマータイムを設定しません。 **繰り返し**：毎年決まった時期にサマータイムを設定します。 **不定期**：年と日時を指定してサマータイムを設定します。
オフセット	サマータイム時期にオフセットする時間を設定します。 （1-1440 分 初期値：60 分）
繰り返し	サマータイムの開始時期と終了時期を設定します。 曜日、週、月、時間をリストから選択できます。 **曜日**：日曜日／月曜日／火曜日／水曜日／木曜日／金曜日／土曜日 **週**：1 ／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5 **月**：1 月／ 2 月／ 3 月／ 4 月／ 5 月／ 6 月／ 7 月／ 8 月／ 9 月／ 10 月／ 11 月／ 12 月 **時間**：00:00 ～ 23：00 で正時単位
不定期	サマータイムの開始日時と終了日時を設定します。 開始、終了欄をクリックするとカレンダーから日付を入力できます。 時刻はリストから 00:00 ～ 23：00 の正時単位で選択できます。

■ 動的ステータス

項目	内容
現在時刻	本製品に設定された時刻、または本製品が取得した現在時刻を表示します。

ポート設定

物理ポートの設定をします。



選択中のポートを設定します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P78「ポート設定編集」

項目	内容
インデックス	ポート設定テーブルのエントリー番号を表示します。
ポート	ポート番号を表示します。
タイプ	各ポートのリンクタイプを表示します。
説明	ポートの説明を表示します。
状態	ポート設定の有効、無効を表示します。
リンクステータス	各ポートのリンクステータス、速度などの情報を表示します。
速度	
通信方式	
フローコントロール	

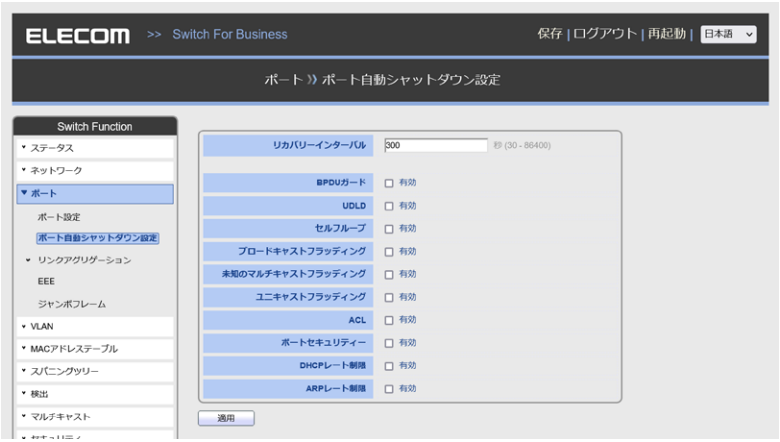
ポート設定編集



項目	内容
ポート	選択中のポート番号が表示されます。
説明	ポートの説明を入力します。
状態	無効にする場合は、チェックを外します。（初期値：有効）
速度	ポートの速度を設定します。 自動（初期値）／100M／1000M
通信方式	通信方式を設定します。 自動（初期値）／全二重／半二重
フローコントロール	フローコントロールの設定をします。 自動／有効／無効（初期値）

ポート自動シャットダウン設定

ポートの自動シャットダウン設定をします。



項目	内容
リカバリーインターバル	(範囲：30 ～ 86400、初期値：300)
BPDU ガード	BPDU ガードが発生した場合、ポートを自動シャットダウンします。(初期値：無効)
UDLD	UDLD が発生した場合、ポートを自動でシャットダウンします。(初期値：無効)
セルフループ	セルフループが発生した場合、ポートを自動でシャットダウンします。(初期値：無効)
ブロードキャストフラッディング	ブロードキャストフラッディングが発生した場合、ポートを自動でシャットダウンします。(初期値：無効)
未知のマルチキャストフラッディング	未知のマルチキャストフラッディングが発生した場合、ポートを自動でシャットダウンします。(初期値：無効)
ユニキャストフラッディング	ユニキャストフラッディングが発生した場合、ポートを自動でシャットダウンします。
ACL	ACL が発生した場合、ポートを自動でシャットダウンします。(初期値:無効)
ポートセキュリティー	ポートセキュリティーの侵害が発生した場合、ポートを自動でシャットダウンします。
DHCP レート制限	DHCP レート制限が発生した場合、ポートを自動でシャットダウンします。(初期値：無効)

項目	内容
ARP レート制限	ARP レート制限が発生した場合、ポートを自動でシャットダウンします。 （初期値：無効）

【リンクアグリゲーション】グループ

リンクアグリゲーションのテーブル設定を行います。

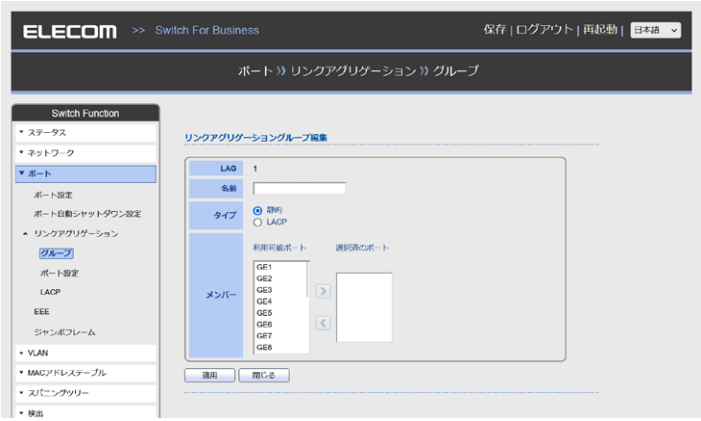


項目	内容
負荷分散方式	負荷分散方式を「MAC アドレス」または、「IP-MAC アドレス」のいづれかに設定します。

リンクアグリゲーションテーブル

項目	内容
LAG	リンクアグリゲーショングループを表示します。
タイプ	リンクアグリゲーショングループのタイプを表示します。
リンクステータス	ポートのリンクステータスを表示します。
アクティブメンバー	リンクアグリゲーショングループでアクティブなポートを表示します。
非アクティブメンバー	リンクアグリゲーショングループで非アクティブなポートを表示します。

リンクアグリゲーショングループ編集



項目	内容
LAG	リンクアグリゲーションテーブル画面で選択したグループを表示します。
名前	リンクアグリゲーショングループの名前を設定します。
タイプ	リンクアグリゲーショングループのタイプを表示します。 (静的 または LACP)
メンバー	リンクアグリゲーショングループに選択するポートを設定します。

MEMO

メンバーに指定する物理ポートの 速度／デュプレックス／フローコントロール設定は、すべて同一の設定内容にしてください。

【リンクアグリゲーション】ポート設定

リンクアグリゲーションのテーブル設定を行います。



選択中のポートを設定します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P84「ポート設定編集」

ポート設定テーブル

項目	内容
LAG	リンクアグリゲーショングループを表示します。
タイプ	リンクアグリゲーションポートのタイプを表示します。
説明	リンクアグリゲーショングループの説明を表示します。
状態	リンクアグリゲーショングループの状態を表示します。（有効または無効）
リンクステータス	ポートのリンクステータスを表示します。
速度	リンクアグリゲーションのポートのリンクアップ速度が表示されます。 （自動／自動 -10M ／自動 -100M ／自動 -10M/100M ／ 10M ／ 100M ／ 1000M）
通信方式	リンクアグリゲーションポートのデュプレックスを表示します。
フローコントロール	ポート設定編集画面で設定したフローコントロールの状態を表示します。 （自動／有効／無効）

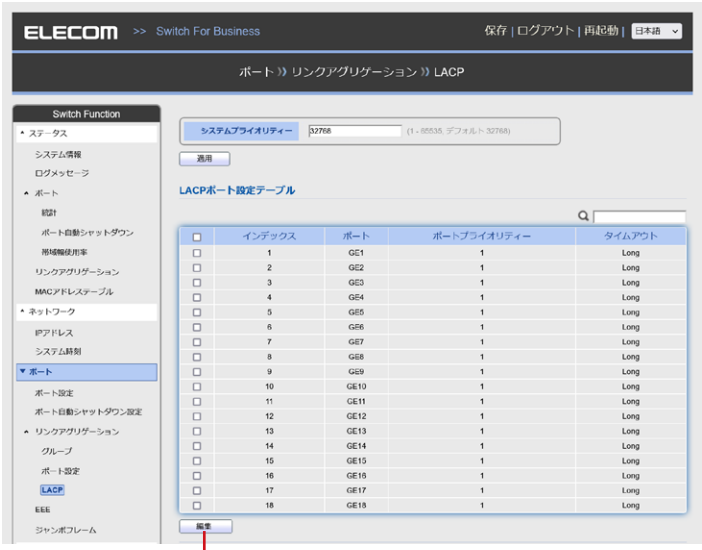
ポート設定編集



項目	内容
ポート	リンクアグリゲーショングループを表示します。
説明	リンクアグリゲーショングループの説明を入力します。
状態	リンクアグリゲーショングループの状態を設定します。（有効または無効）
速度	選択されたポートの速度を設定します。 （自動／自動 -10M ／自動 -100M ／自動 -10M/100M ／ 10M ／ 100M ／ 1000M）
フローコントロール	選択されたポートのフローコントロールを設定します。 （自動／有効／無効）

【リンクアグリゲーション】LACP

リンクアグリゲーションのテーブル設定を行います。



選択中のポートを設定します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P86「LACP ポート設定編集」

項目	内容
システムプライオリティ	LACP システムプライオリティの設定を行います。値が小さいほどシステムプライオリティは高くなります。プライオリティに指定できる範囲は 1 ～ 65535 です。（初期値：32768 ）

LACP ポート設定テーブル

項目	内容
インデックス	LACP のインデックス番号です。
ポート	LACP にエントリーするポート番号です。
ポートプライオリティ	LACP ポート設定編集画面で設定したプライオリティの値が表示されます。
タイムアウト	LACP ポート設定編集画面で設定したプライオリティのタイムアウトを表示します。

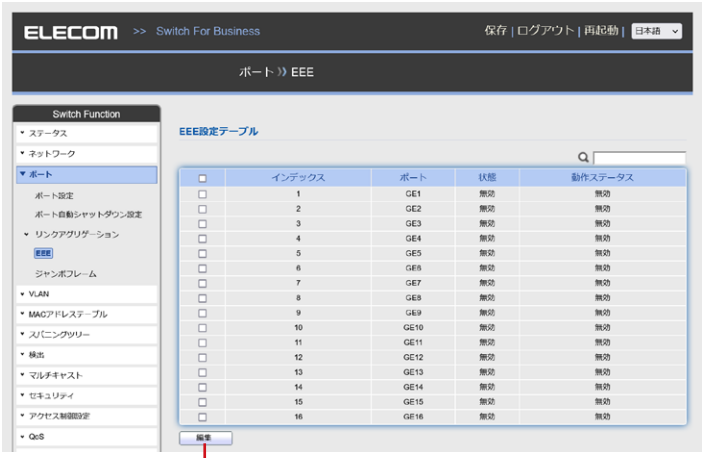
LACP ポート設定編集



項目	内容
ポート	選択したポート番号が表示されます。
ポートプライオリティ	プライオリティの設定を行います。プライオリティ値が低いほど、ポートが LACP 伝送に使用される可能性が高くなるります。プライオリティに指定できる範囲は 1 ～ 65535 です。(初期値 : 1)
タイムアウト	プライオリティのタイムアウトを設定します。long (30 秒) ／ short (1 秒) のどちらかを選択します。(初期値 : long ／ short)

EEE

省電力機能 Energy Efficient Ethernet(EEE) 機能の有効／無効を設定します。



選択したポートのEEE設定を編集します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P88「EEE設定編集」

EEE設定テーブル

項目	内容
インデックス	EEE 設定テーブルのインデックス番号を表示します。
ポート	ポート番号を表示します。
状態	各ポートの EEE 設定の有効、無効を表示します。
動作ステータス	各ポートの EEE 設定の動作ステータスを表示します。

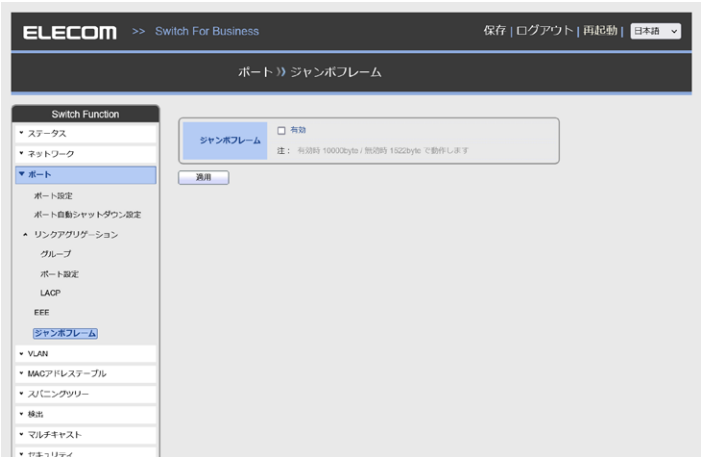
EEE設定編集



項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
状態	省電力機能 Energy Efficient Ethernet(EEE) を有効にする場合、チェックを入れます。

ジャンボフレーム

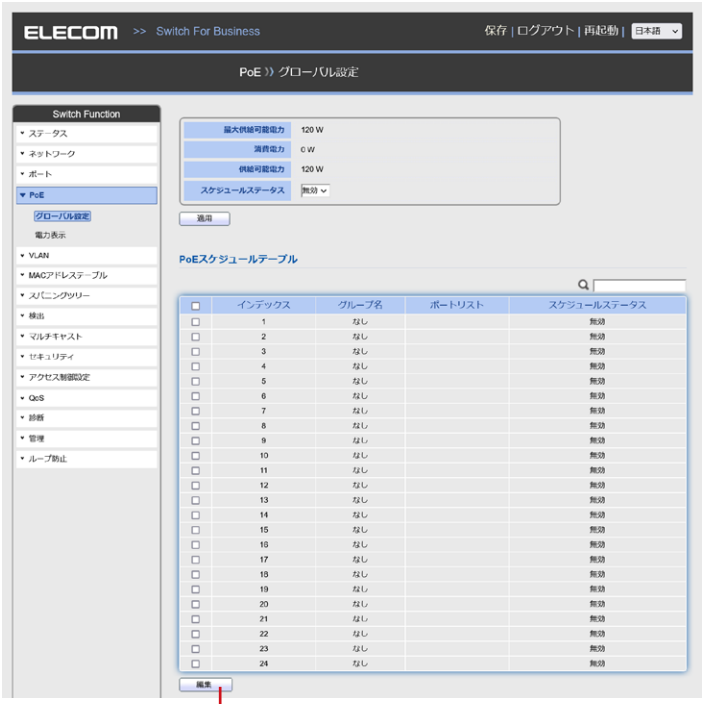
ジャンボフレーム機能の有効／無効に設定します。



項目	内容
ジャンボフレーム	チェックすると、ジャンボフレームが有効になります。 有効時 10000byte ／無効時 1522byte で動作します。（初期値：無効）

グローバル設定

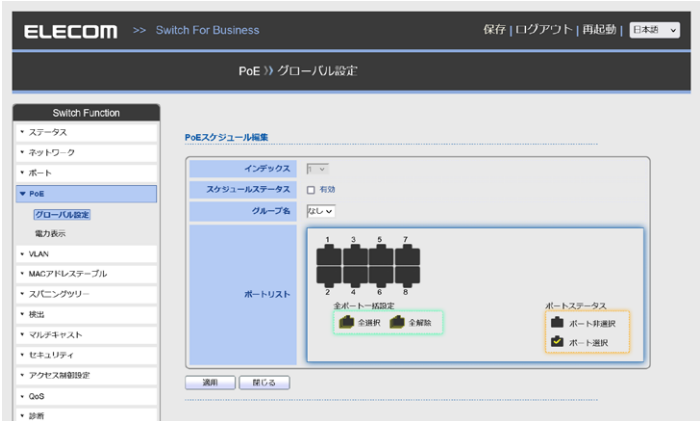
PoEの設定を行います。



選択したスケジュールを編集します。
→P91「PoEスケジュール編集」

項目	内容
最大供給可能電力	現在の状態を表示します。
消費電力	
供給可能電力	
スケジュールステータス	スケジュールステータスの有効／無効を切り替えます。

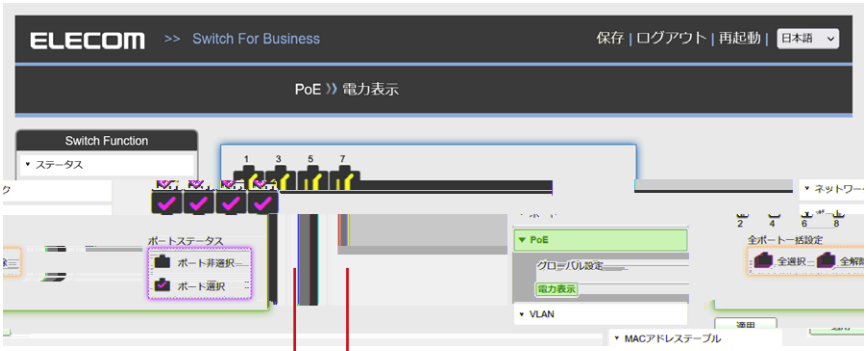
PoEスケジュール編集



項目	内容
インデックス	選択中のインデックス番号を表示します。
スケジュールステータス	スケジュールステータスの有効／無効を切り替えます。
グループ名	「タイムスケジュール」（→ 288 ページ）で事前にタイムスケジュールを作成し、表示されたリストから選択します。
ポートリスト	電力を供給するポートを選択します。

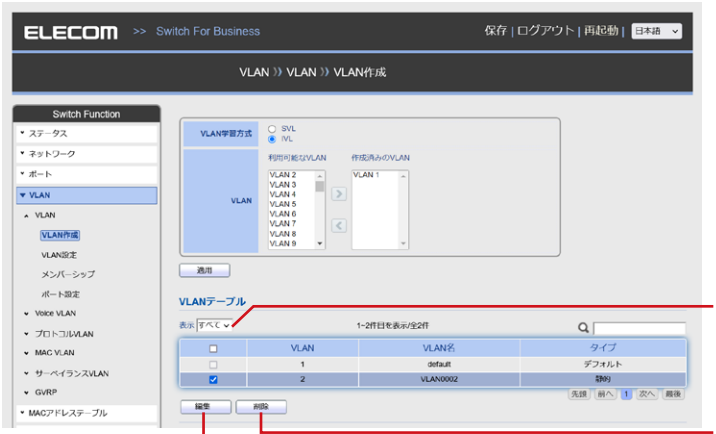
電力表示

ポートにチェックを入れて、「適用」をクリックすると、チェックを入れたポートのPoE機能が有効になります。



【VLAN】VLAN作成

VLANを作成します。



設定されたVLANの表示件数を変更します。
すべて(初期値)／10件／30件／50件／100件

選択中のVLANを削除します。

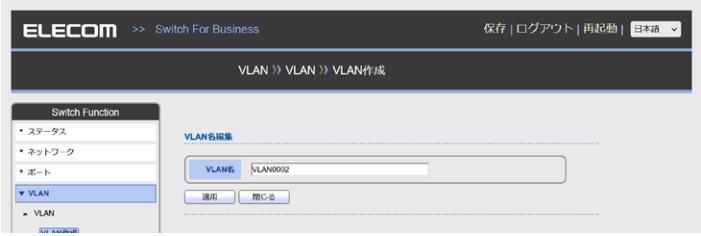
選択中のVLAN名を設定します。

項目	内容	
VLAN 学習方式 (FW Ver.2.0.4 以上)	**SVL**	機器全体で MAC アドレステーブルを保持します。
	IVL	VLAN ごとに MAC アドレステーブルを保持します。 (初期値)
VLAN	**利用可能な VLAN**	未設定の VLAN をリストで表示します。 VLAN 2 ～ 4094
	作成された VLAN	作成された VLAN をリストで表示します。

VLANテーブル

項目	内容
VLAN	VLAN ID を表示します。
名前	VLAN 名編集で設定した名前が表示されます。
タイプ	アドレスタイプを表示します。

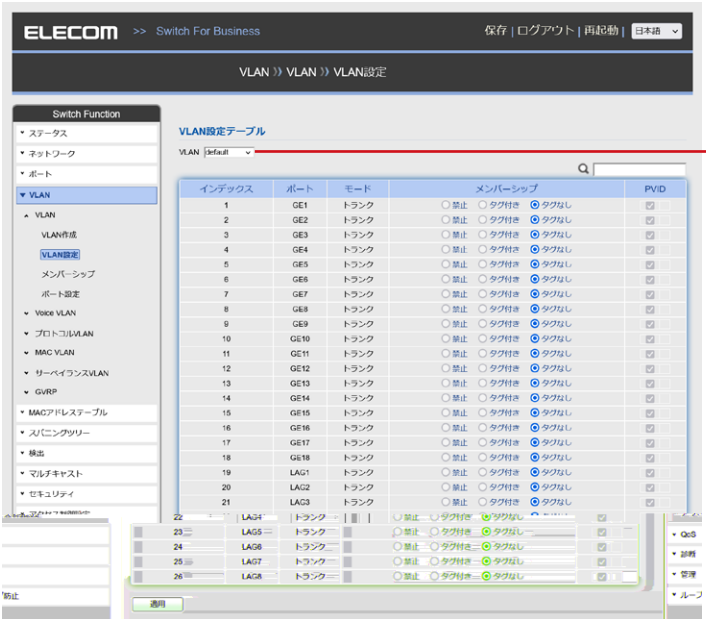
VLAN名編集



項目	内容
名前	VLAN 名前を入力します。 (半角英数字で 32 文字まで。? (クエスチョンマーク) " (ダブルクォーテーション) は使用不可)

【VLAN】VLAN設定

VLANを設定します。

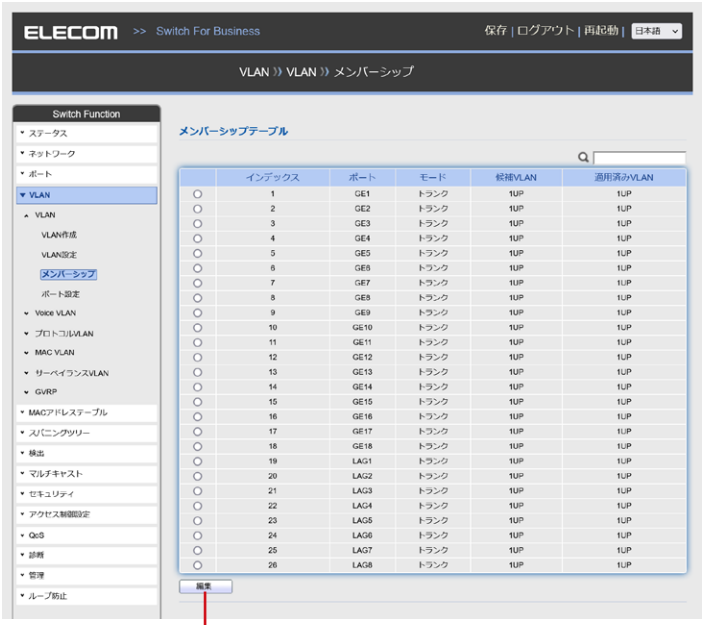


VLAN設定テーブル

項目	内容
インデックス	VLAN 設定テーブルのインデックス番号を表示します。
ポート	ポート番号を表示します。
モード	VLAN のモードを表示します。 ハイブリッド／アクセス／トランク
メンバーシップ	メンバーシップ設定を行います。 禁止（初期値）／ Tagged ／ Untagged
PVID	設定しません。

【VLAN】メンバーシップ

VLANのメンバーシップを設定します。



選択したポートのメンバーシップを編集します。
→P98「メンバーシップ設定編集」

メンバーシップテーブル

項目	内容
インデックス	メンバーシップテーブルのインデックス番号を表示します。
ポート	ポート番号を表示します。
モード	VLAN のモードを表示します。 ハイブリッド／アクセス／トランク
候補 VLAN	各ポートの管理 VLAN を表示します。
適用済み VLAN	各ポートの適用済み VLAN を表示します。

MEMO

候補VLAN、適用済みVLANには「T」、「U」、「P」が付きます。各項目の内容は以下の通りです。

T(Tagged)	タグ付き VLAN
U(Untagged)	タグなし VLAN
P(PVID)	PVID が有効の VLAN

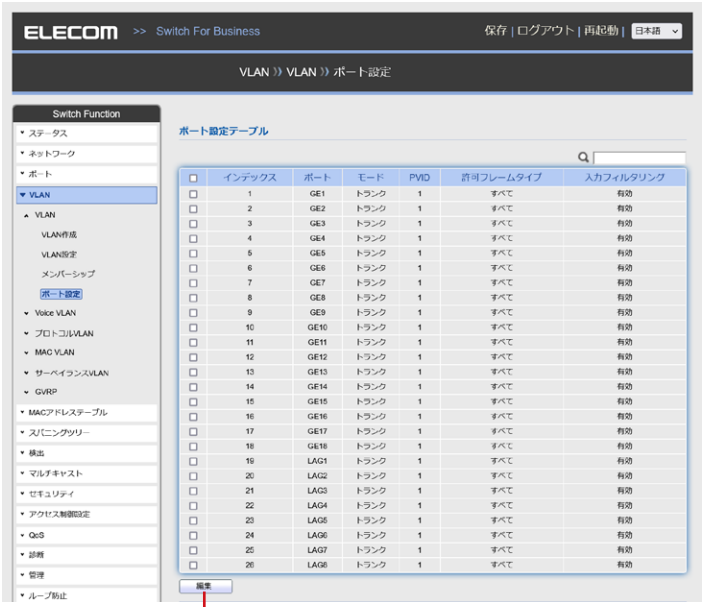
メンバーシップ設定編集



項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
モード	選択中のポートのモードを表示します。
メンバーシップ	メンバーシップ設定を行います。 禁止（初期値）／ タグ付き ／ タグなし

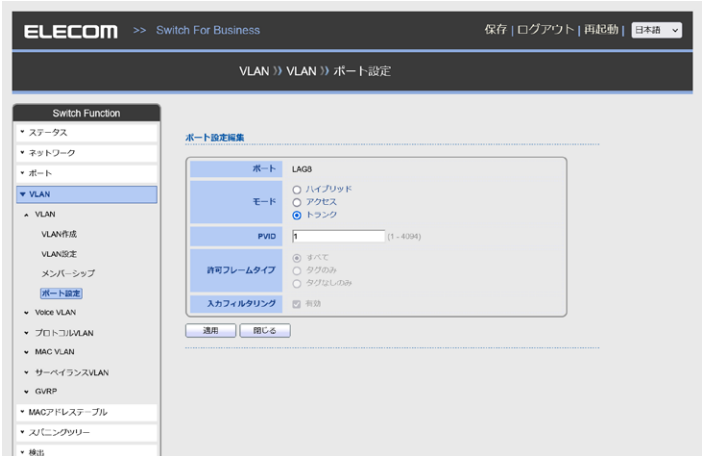
【VLAN】ポート設定

ポート VLAN を設定します。



選択中のポート設定を行います。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P100「ポート設定編集」

ポート設定編集



項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
モード	**ハイブリッド**：ハイブリッドポートに設定する場合、選択します。 複数のタグなし VLAN とタグ付き VLAN を同時に使用できるモードです。 **アクセス**：アクセスポートに設定する場合、選択します。 通常、コンピューターなどのデバイスは 1 つのネットワークに所属するのでアクセスポートを使用します。 **トランク**：トランクポートに設定する場合、選択します。 主にスイッチ同士を接続する際に使用するポートです。
PVID	PVID を設定します。(1 - 4094)
許可フレームタイプ※	許可フレームタイプを設定します。 すべて／タグのみ／タグなしのみ
入力フィルタリング※	入力フィルタリングの有効、無効を設定します。

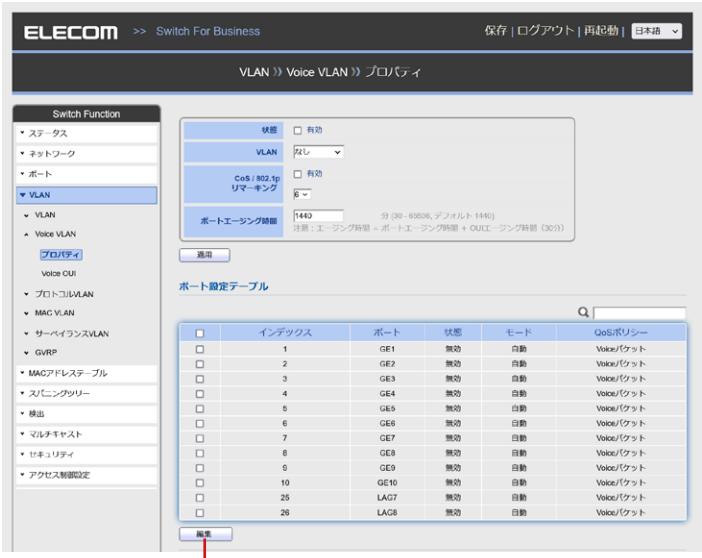
※ モードで「ハイブリッド」を選択した場合、設定します。

【Voice VLAN】プロパティ

Voice VLAN（音声 VLAN）は、VoIP サービスを強化するために、IP 電話からの音声トラフィックに対し VLAN を自動的に割り当てる機能です。
高い優先度と個別の VLAN を使用することで、VoIP トラフィックの品質とセキュリティを保証します。
VLAN タグを持つ VoIP パケットが来ると、音声 VLAN 機能はオリジナルの VLAN タグを置き換えません。

MEMO

- Voice VLAN機能は、他の機能（QoSを含む）より優先順位が高くなっています。そのため、音声トラフィックはQoS機能には影響されずにVoice VLAN機能設定に従って処理されます。
- VoIPトラフィックの品質を保証するためには、音声VLAN に最も高い優先度を設定することをお勧めします。



選択したポートを編集します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P102「ポート設定編集」

項目	内容
状態	Voice VLAN 機能を有効にします。(初期値：無効)
VLAN	Voice VLAN ID を選択します。
CoS / 802.1p リマーキング	IEEE 802.1p プライオリティを設定します。(範囲：0 ～ 7、初期値：7)
ポートエージング時間	ポートが自動 VLAN の一部の場合、音声 VLAN からポートを削除するまでの時間（時間）を設定します。(範囲：1 ～ 120 時間、初期値：1)

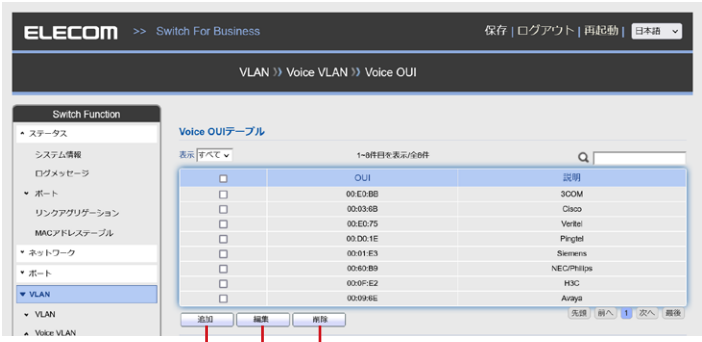
ポート設定編集



項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
状態	Voice VLAN を有効にする場合、チェックを入れます。
モード	Voice VLAN のモードを設定します。
QoS ポリシー	Voice VLAN の QoS ポリシーを設定します。

【Voice VLAN】Voice OUI

Voice OUI を設定します。

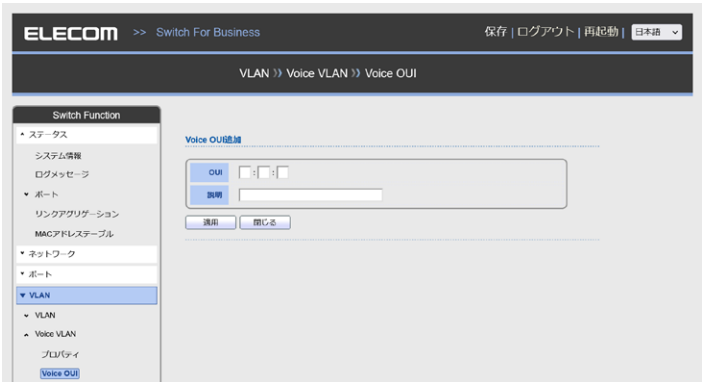


選択したVOICE OUIを削除します。

選択したポートのVoice OUIを編集します。
「OUI」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P103「Voice OUI追加／編集」

Voice OUIを追加します。
→P103「Voice OUI追加／編集」

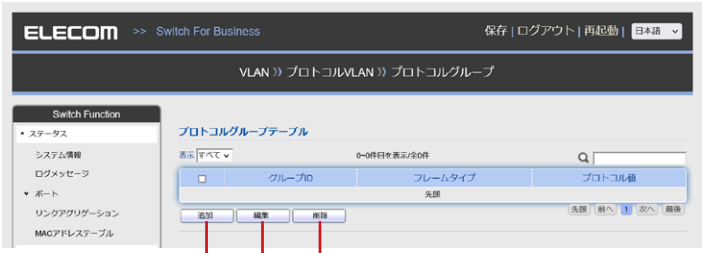
Voice OUI追加／編集



項目	内容
OUI	OUI を設定します。
説明	OUI に関する説明を入力します。

【プロトコル VLAN】プロトコルグループ

プロトコルグループを設定します。



選択したプロトコルグループを削除します。

選択したプロトコルグループを編集します。
「グループID」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P104「プロトコルグループテーブル追加／編集」

プロトコルグループを追加します。
→P104「プロトコルグループテーブル追加／編集」

プロトコルグループテーブル追加／編集



項目	内容
グループ ID	追加するプロトコルグループの ID を選択します。
フレームタイプ	フレームタイプを選択します。 (Ethernet_II ／ IEEE802.3_LLC_Other ／ RFC_1042)
プロトコル値	追加するプロトコルグループのプロトコル値を設定します。

【プロトコル VLAN】グループバインディング

グループバインディングを設定します。



選択したグループバインディングを削除します。

選択したグループバインディングを編集します。
「ポート」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P105「グループバインディング追加／編集」

グループバインディングを追加します。
→P105「グループバインディング追加／編集」

グループバインディング追加／編集



項目	内容
ポート	MAC グループエントリにバインドされているポート ID を表示します。
グループ ID	ポートがバインドされているグループ ID を表示します。
VLAN	MAC グループに一致するパケットに割り当てられる VLAN ID を表示します。

【MAC VLAN】MACグループ

MAC グループを設定します。



選択したMACグループを削除します。

選択したMACグループを編集します。
「グループID」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P106「MACグループ追加／編集」

MACグループを追加します。
→P106「MACグループ追加／編集」

MACグループ追加／編集



項目	内容
ポート	エントリーされたグループ ID を追加／編集します。
グループ ID	エントリーされた MAC アドレスを追加／編集します。
VLAN	分類されたパケットの MAC アドレスのマスクを追加／編集します。

【MAC VLAN】グルーピング

グルーピングテーブルを設定します。



選択したグルーピングテーブルを削除します。

選択したグルーピングテーブルを編集します。
「ポート」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P107「グルーピング追加／編集」

グルーピングテーブルを追加します。
→P107「グルーピング追加／編集」

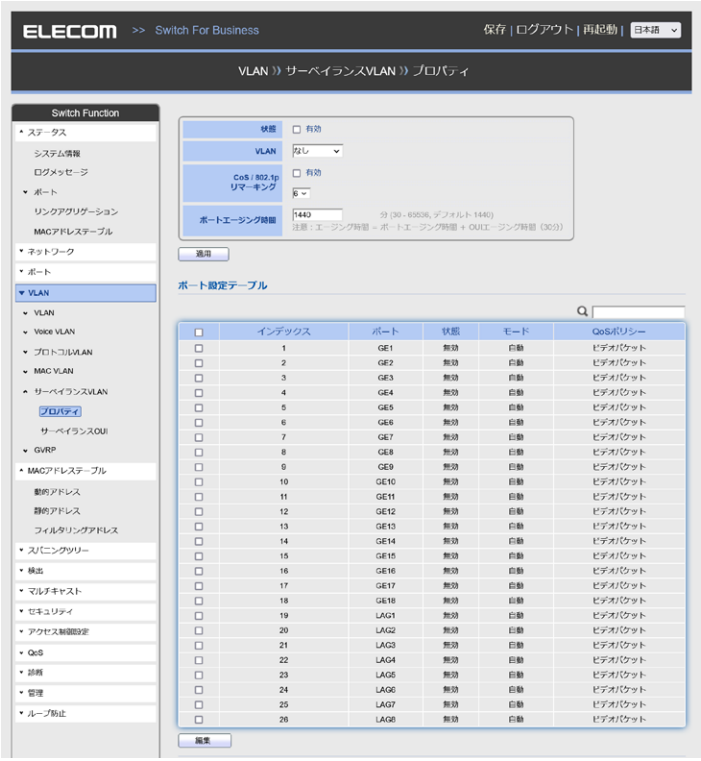
グルーピング追加／編集



項目	内容
ポート	グルーピングに追加するポートを選択します。 選択できるのはハイブリッドポートに設定されたポートのみとなります。
グループ ID	グループの ID を選択します。
VLAN	グループの VLAN ID を設定します。

【サーベイランスVLAN】プロパティ

サーベイランス VLAN を設定します。



項目	内容
状態	サーベイランス VLAN を有効にする場合、チェックを入れます。
VLAN	対象となる VLAN を選択します。
CoS / 802.1p リマーキング	IEEE 802.1p プライオリティを設定します。 (範囲：0 ～ 7、初期値：7)
ポートエージング時間	ポートが自動 VLAN の一部の場合、サーベイランス VLAN からポートを削除するまでの時間（時間）を設定します。(範囲：1 ～ 120 時間、初期値：1)

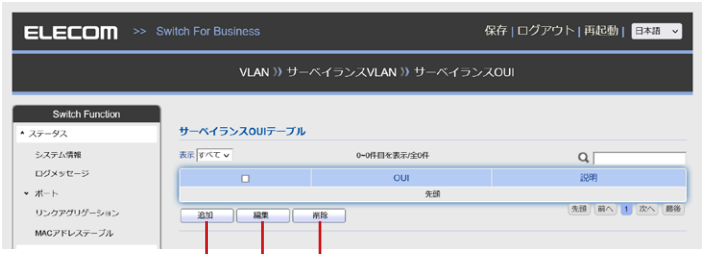
ポート設定編集



項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
状態	Voice VLAN を有効にする場合、チェックを入れます。
モード	Voice VLAN のモードを設定します。
QoS ポリシー	Voice VLAN の QoS ポリシーを設定します。

【サーベイランスVLAN】サーベイランス OUI

サーベイランス OUI を設定します。



選択したサーベイランス OUIを削除します。

選択したポートのサーベイランスOUIを編集します。
「OUI」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P110「サーベイランスOUI追加／編集」

サーベイランスOUIを追加します。
→P110「サーベイランスOUI追加／編集」

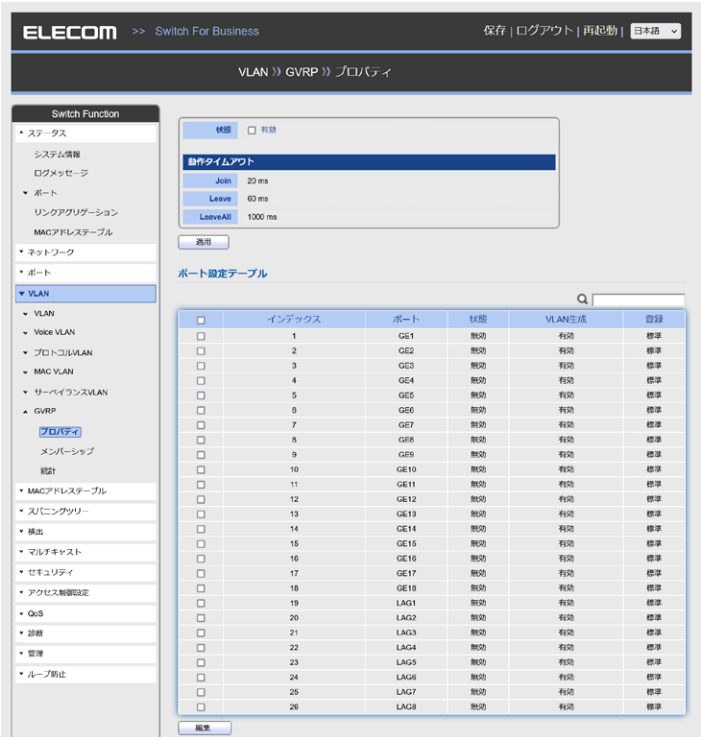
サーベイランスOUI追加／編集



項目	内容
OUI	OUI を設定します。
説明	OUI に関する説明を入力します。

【GVRP】プロパティ

GVRP の設定をします。



項目	内容
状態	GVPR を有効にする場合、チェックを入れます。
動作タイムアウト	設定変更はできません。

ポート設定編集



項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
状態	GVPR を有効にする場合、チェックを入れます。
VLAN 生成	VLAN 生成を有効にします。
登録	登録状態を設定します。

【GVPR】メンバーシップ

GVPRのメンバーシップを設定します。

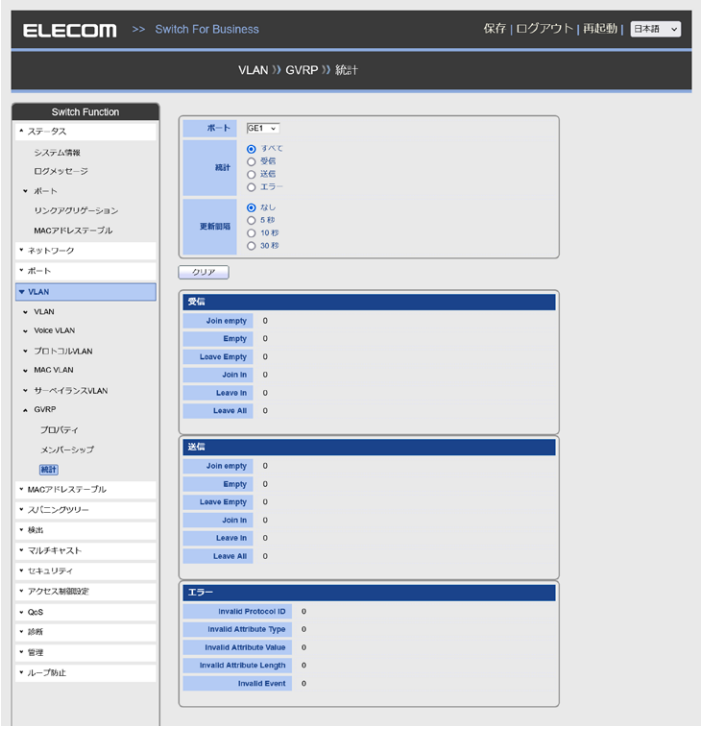


メンバーシップテーブル

項目	内容
VLAN	VLAN ID を表示します。
メンバー	VLAN に属しているポートを表示します。
動的メンバー	VLAN のダイナミックポートを表示します。
タイプ	VLAN タイプを表示します。

【GVPR】統計

GVPRの統計の設定をします。



項目	内容
ポート	対象となるポートを選択します。
統計	統計の対象となるトラフィックを選択します。
更新間隔	統計情報の更新間隔を設定します。

MACアドレステーブル

動的アドレス

スイッチが管理している動的アドレステーブルを表示します。



動的アドレステーブル

項目	内容
VLAN	VLAN ごとに保持した MAC アドレスを表示します。 VLAN を選択し「クリア」をクリックすると、テーブルをクリアします。 「再表示」をクリックすると、保持した MAC アドレスを再表示します。
MAC アドレス	
ポート	

MEMO

本製品のVLAN学習方式（MACアドレスの学習方式）は、FWのバージョンにより異なります。

Ver.2.0.4 以降	IVL/SVL 切り替え可能（初期値：IVL） (→ P93「【VLAN】VLAN 作成」)
Ver.2.0.3 未満	IVL のみ対応

静的アドレス

スイッチが管理している静的アドレステーブルを表示します。



選択した静的アドレスを削除します。

選択したポートの静的アドレスを編集します。
「VLAN」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P116「静的アドレス追加／編集」

静的アドレスを追加します。
→P116「静的アドレス追加／編集」

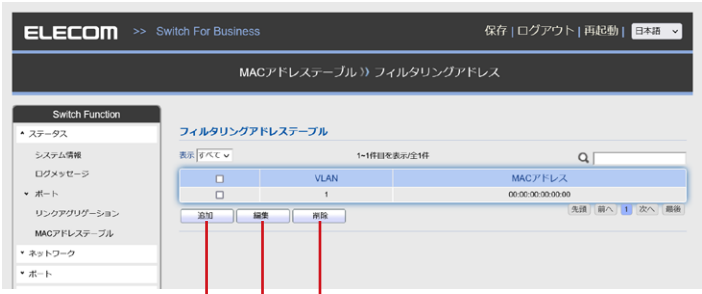
静的アドレス追加／編集



項目	内容
MAC アドレス	MAC アドレスを設定します。
VLAN	VLAN を設定します。
ポート	ポートを選択します。

フィルタリングアドレス

フィルタリングを設定します。

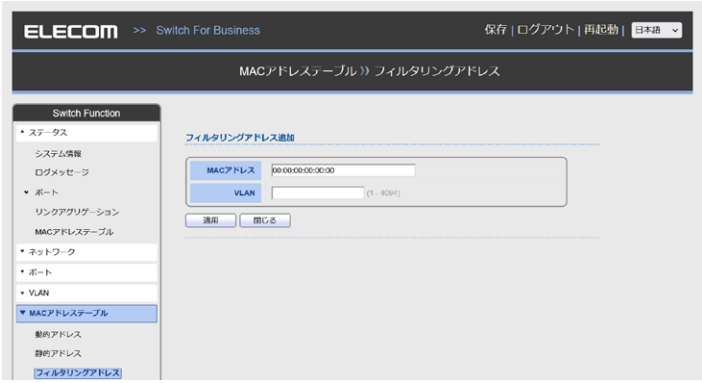


選択したフィルタリングを削除します。

選択したフィルタリングを編集します。
「VLAN」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P117「フィルタリングアドレス追加／編集」

フィルタリングを追加します。
→P117「フィルタリングアドレス追加／編集」

フィルタリングアドレス追加／編集



項目	内容
MAC アドレス	MAC アドレスを設定します。
VLAN	VLAN を設定します。(1-4094)

エージングタイム

エージングタイムを設定します。

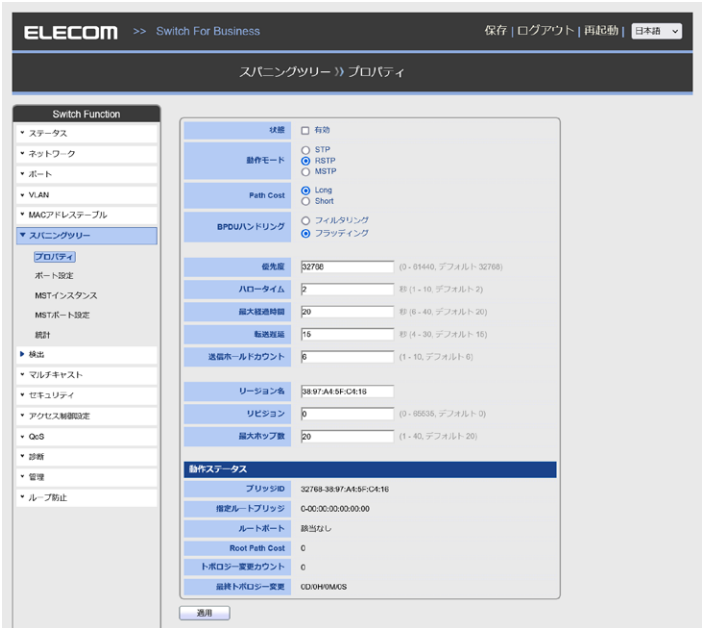


項目	内容
エージングタイム	MAC アドレステーブル情報を、エージング時間として設定した時間内のみ保持します。エージングタイムで設定した値は「動的アドレス」および「ポートセキュリティー」の設定時間として同じ値が使用されます。 (10 - 10000000 秒 初期値：300 秒)

スパニングツリー

プロパティ

スパニングツリーのプロパティを設定します。



項目	内容
状態	チェックを入れると、スパニングツリー機能を有効にします。
動作モード	スパニングツリー機能のプロトコルを選択します。(初期値 : RSTP) **STP** : Spanning Tree プロトコル (IEEE 802.1D () 例 : スイッチは STP 強制互換モードに RSTP セットを使用します。) **RSTP** : Rapid Spanning Tree (IEEE 802.1w) **MSTP** : Multiple Spanning Tree (IEEE 802.1s)
Path Cost	Path Cost 方式を指定します。 **Long** : デフォルトの Path Cost が 1 ～ 200,000,000 の範囲内であることを指定します。 **Short** : デフォルトの Path Cost が 1 ～ 65,535 の範囲内であることを指定します。

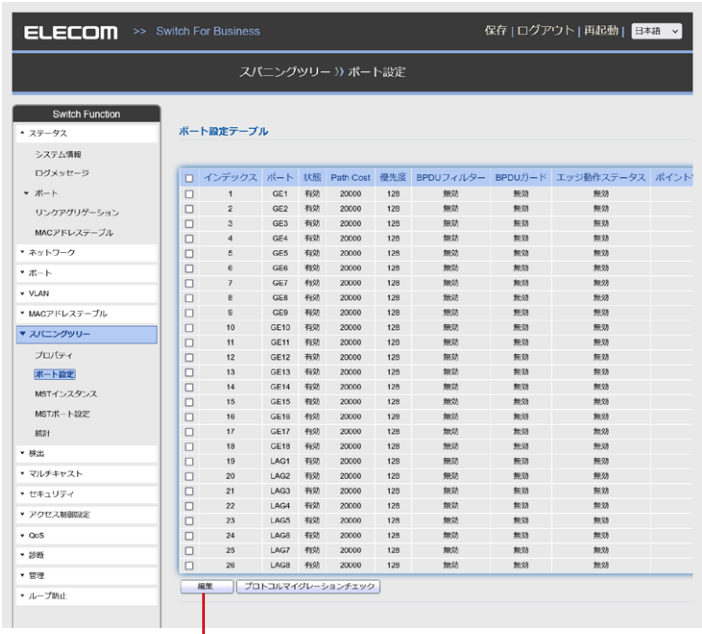
項目	内容
BPDU ハンドリング	STP が無効な場合の BPDU 転送方法を指定します。 **フィルタリング**：STP が無効な場合に BPDU をフィルタリングします。 **フラッディング**：STP が無効な場合に BPDU をフラッディングします。
優先度	パケット送信を行う優先度を設定します。値が小さいほど優先度は高くなります。（範囲：0 - 61440、初期値：32678）
ハロータイム	ルートデバイスにより、スイッチが機能している旨を通知するために送信されるコンフィグレーションメッセージの送信間隔（秒）を設定します。（範囲：1-10、初期値：2）
最大経過時間	最大経過時間（秒）を設定します。（範囲：6-40、初期値：20）
転送遅延	ルートデバイスが状態を変更するまでの最大待ち時間（秒）を設定します。（範囲：4-30、初期値：15）
送信ホールドカウント	ブリッジポートが一秒あたり BPDU を送信する回数です。超過した場合、次の BPDU の送信は遅延します。（範囲：1-10、初期値：6）
リージョン名	リージョン名を設定します。 最大長は 32 文字です。 初期値は本製品の MAC アドレスです。
リビジョン	リビジョン番号を設定します。 有効な範囲は 0 ～ 65535 です。
最大ホップ数	BPDU が破棄されるまでの MSTP 領域内のホップ数を指定します。 有効な範囲は 1 ～ 40 です。

動作ステータス

項目	内容
ブリッジ ID	本製品のブリッジ ID を表示します。
指定ルートブリッジ	指定されたルートブリッジの識別子を表示します。
ルートポート	本製品の動作中のルート ポートを表示します。
Root Path Cost	Root Path Cost を表示します。
トポロジー変更カウント	トポロジー変更カウントを表示します。
最終トポロジー変更	最終トポロジー変更を表示します。

ポート設定

スパニングツリーのポート設定をします。



選択中のポート設定を行います。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P122「ポート設定編集」

ポート設定編集

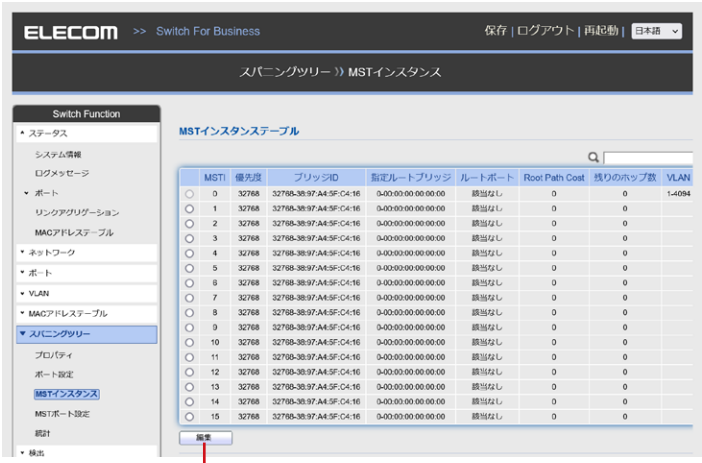


項目	内容
ポート	選択したポートの ID を表示します。
状態	選択したポートの STP を有効にします。(初期値 : 無効)
Path Cost	選択したポートの STP Path Cost を設定します。
優先度	選択したポートの STP 優先度を設定します
エッジポート	エッジモードの有効 / 無効を設定します。 **有効** 強制的に true 状態にします (ホストへのリンクとして)。 **無効** 強制的に false 状態にします (ブリッジへのリンクとして)。
BPDU フィルター	選択したポートからの BPDU フィルター の有効 / 無効を設定します。 **有効** BPDU フィルター機能を有効にします。 **無効** BPDU フィルター機能を無効にします。
BPDU ガード	選択したポートからの BPDU ガードの有効 / 無効を設定します。 **有効** BPDU ガード機能を有効にします。 **無効** BPDU ガード機能を無効にします。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>ポイントツーポイント</td><td>ポイントツーポイント ポート構成を設定します。<table><tr><td>自動</td><td>ポートのデュプレックス設定によって異なります。</td></tr><tr><td>有効</td><td>true 状態に設定します。</td></tr><tr><td>無効</td><td>false 状態に設定します。</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>ポート状態</td><td>ポートの通信状態を表示します。</td></tr>
<tr><td>指定ブリッジ</td><td>選択したブリッジのブリッジ ID を表示します。</td></tr>
<tr><td>指定ポート ID</td><td>選択したポート ID を表示します。</td></tr>
<tr><td>指定コスト</td><td>選択したポートの Path Cost を表示します。</td></tr>
<tr><td>エッジ動作ステータス</td><td>エッジポートの動作状況を表示します。</td></tr>
<tr><td>ポイントツーポイント動作ステータス</td><td>ポイントツーポイントポートの動作状況を表示します。</td></tr>
</table>

MSTインスタンス

MSTインスタンスの設定をします。



選択中のMSTインスタンスの設定を行います。
→P124「MSTインスタンス設定の編集」

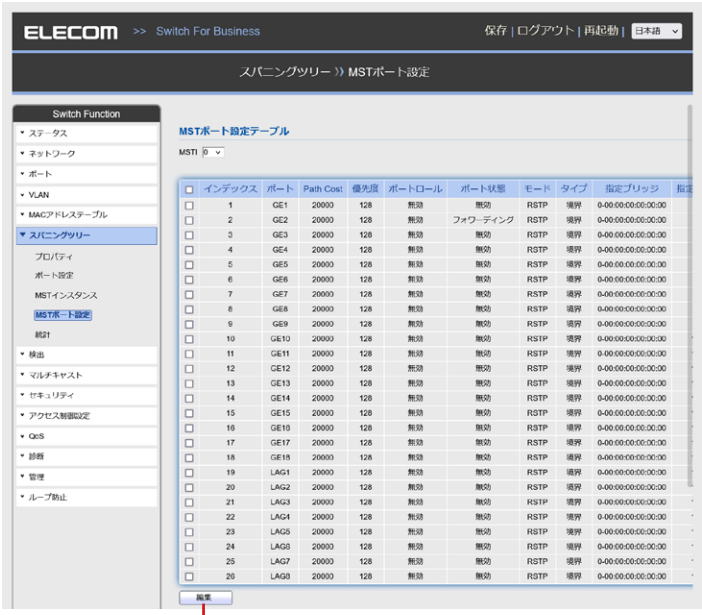
MSTインスタンス設定の編集



項目	内容
MSTI	選択されたポート番号が表示されます。
VLAN	VLAN ID を選択します。
優先度	MSTI 優先度を設定します。(範囲：0 - 61440、初期値：32678)
ブリッジ ID	MSTI のブリッジ ID が表示されます。
指定ルートブリッジ	MSTI 上の指定されたルートブリッジが表示されます。
ルートポート	MSTI 上の指定されたルートポートが表示されます。
Root Path Cost	MSTI 上の指定された Root Path Cost が表示されます
残りのポップ数	MSTI 上の指定された残りのポップ数が表示されます

MSTポート設定

MSTポートを設定します。



選択中のポート設定を行います。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P133「ポート設定編集」

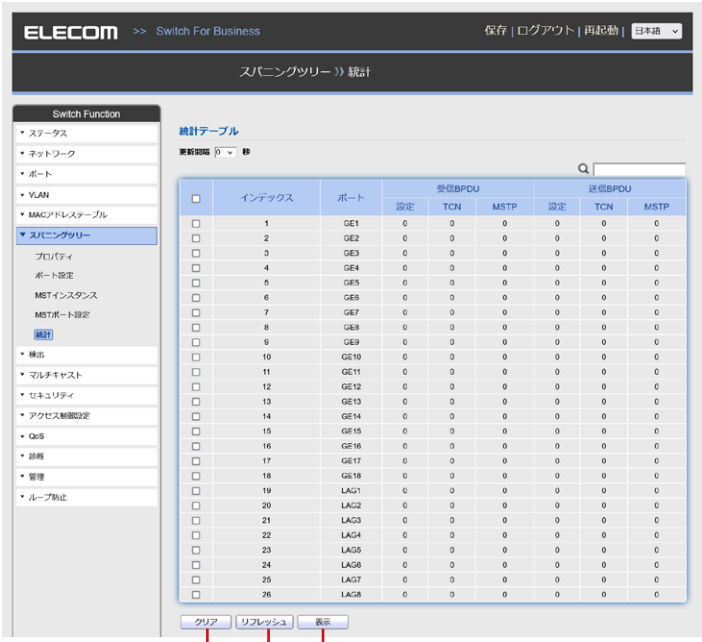
MSTポート設定の編集



項目	内容
MSTI	選択したポートの MST インスタンスを表示します。
ポート	選択したポート ID を表示します。
Path Cost	選択したポートの Path Cost を設定します。 (範囲：0 - 200000000、初期値：0)（0= 自動設定）
優先度	選択したポートの優先度を設定します。（設定値：0/16/32/48/64/80/96/112/126/144/160/176/192/208/224/240、初期値：128）
ポートロール	選択したポートのロールを表示します。
ポート状態	選択したポートの状態を表示します。
モード	選択したポートの STP 動作モードを表示します。
タイプ	選択したポートのタイプを表示します。
指定ブリッジ	選択したブリッジのブリッジ ID を表示します。
指定ポート ID	選択したポート ID を表示します。
指定コスト	選択したポートの Path Cost を表示します。
残りのホップ数	選択したポートの残りのホップ数を表示します。

統計

スパニングツリーの統計を表示します。

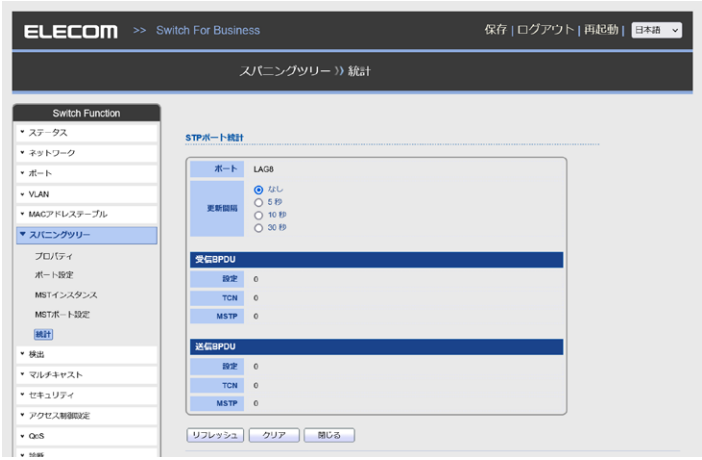


表示
選択したポートの統計を表示します。
→P129「STP ポート統計」

リフレッシュ
表示内容を最新のものに更新します。

クリア
表示をクリアします。

STP ポート統計



項目	内容
ポート	選択されたポートが表示されます。
更新間隔	統計の更新間隔を設定します。(なし /5 秒 /10 秒 /30 秒)
受信 BPDU	受信 BPDU を表示します。
送信 BPDU	送信 BPDU を表示します。

【LLDP】プロパティ

LLDP（Link Layer Discovery Protocol）のプロパティを設定します。



■ LLDP

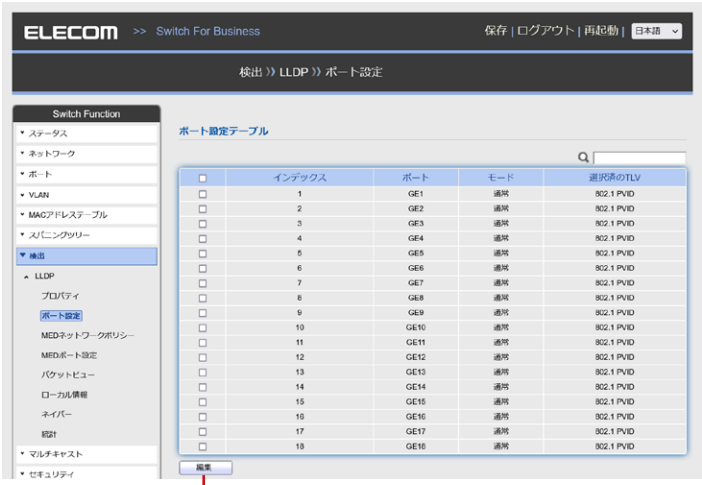
項目	内容
状態	LLDP の有効／無効を設定します。（初期値：有効）
LLDP Handling	LLDP が無効になっている場合に、フィルタリング、ブリッジング、またはフラッディングする LLDP PDU 処理アクションを選択します。 **フィルタリング**：パケットを削除します。 **ブリッジング**：（VLAN 対応フラッディング）パケットをすべての VLAN メンバーに転送します。 **フラッディング**：パケットをすべてのポートに転送します。
TLV アドバタイズ間隔	TVL アドバタイズ間隔を設定します。 (範囲：30 ～ 32767 秒、初期値：300 秒)
Hold Multiplier	Hold Multiplier を設定します。 (範囲：2 ～ 10、初期値：4)
再初期化遅延	LLDP 再初期化の遅延時間を設定できます。LLDP が無効化されてから、設定した遅延時間の間は LLDP が有効化されません。 (範囲：1 ～ 10 秒、初期値：2 秒)
送信遅延	LLDP フレーム内容を変更した場合、一時的に送信を停止する間隔を設定します。 (範囲：1 ～ 8191 秒、初期値：2 秒)

■ LLDP-MED

項目	内容
Fast Start Repeat Count	ポートリンクアップ時のファストスタートの繰り返し回数を選択します (範囲 1 ～ 10、デフォルト = 3)。

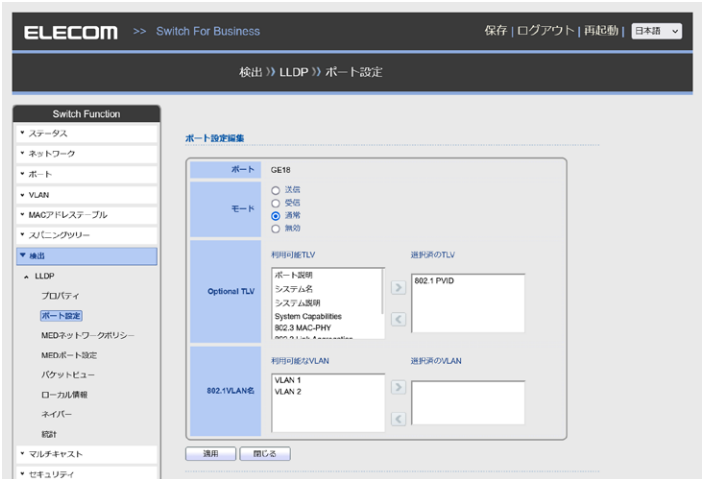
【LLDP】ポート設定

ポートごとに LLDP を設定します。



選択中のポートのモードを設定します。
→P133「ポート設定編集」

ポート設定編集



項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
モード	LLDP のモードを設定します。 送信／受信／送受信／無効
Optional TLV	LLDP オプションの TLV を選択します。(複数選択可) システム名／ポートの説明／システム説明／ System Capability ／ 802.3 MAC-PHY ／ 802.3 Link Aggregation ／ 802.3 Maximum Frame Size ／ Management Address ／ 802.1 PVID.
802.1VLAN 名	VLAN 名 ID を選択します。(複数選択可)

【LLDP】MED ネットワークポリシー

MED ネットワークポリシーテーブルを設定します。



選択したネットワークポリシーを削除します。

選択したネットワークポリシーを編集します。
「ポリシー ID」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P135「MED ネットワークポリシー追加／編集」

ネットワークポリシーを追加します。
→P135「MED ネットワークポリシー追加／編集」

項目	内容
Voice Auto Mode	Voice Auto Mode を有効にする場合、チェックを入れます。

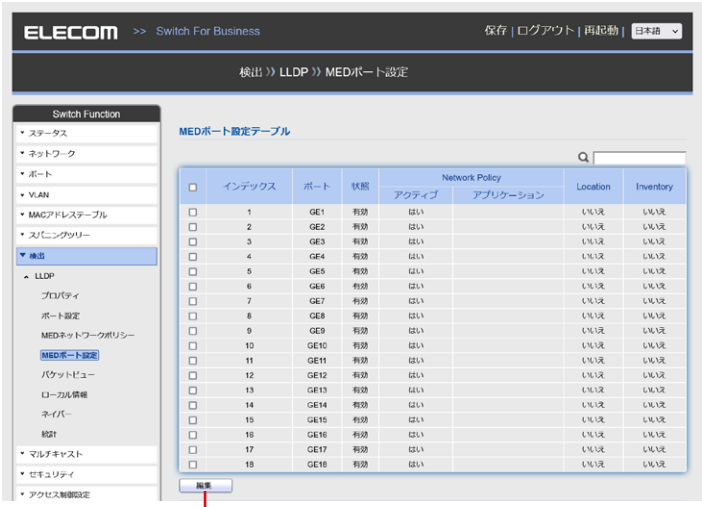
MEDネットワークポリシー追加／編集



項目	内容
ポリシー ID	ポリシー ID を設定します。
アプリケーション	アプリケーションの種類を選択します。
VLAN	VLAN ID を設定します。
VLAN タグ	VLAN タグを設定します。
優先度	優先度を設定します。
DSCP	DSCP を設定します。

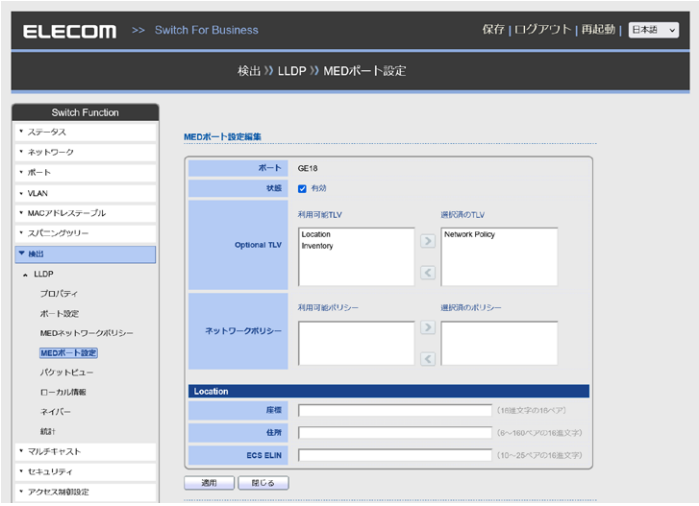
【LLDP】MEDポート設定

MED ポートを設定します。



選択したMEDポートを編集します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P137「MEDポート設定編集」

MED ポート設定編集



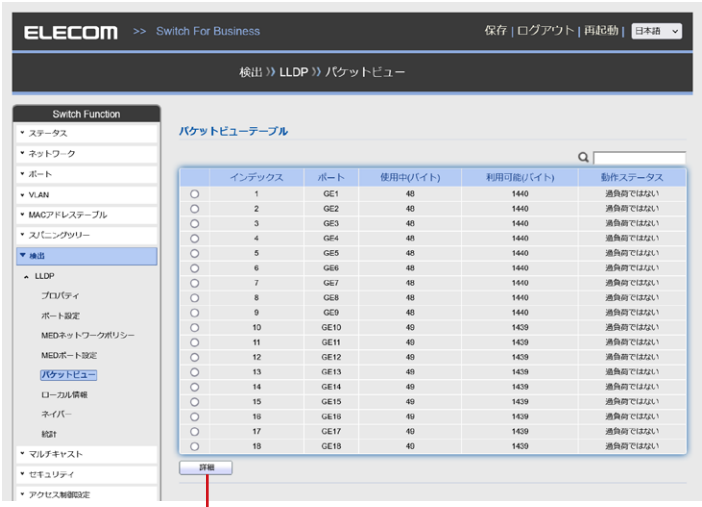
項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
状態	Voice VLAN を有効にする場合、チェックを入れます。
Optional TLV	Optional TLV を設定します。
ネットワークポリシー	MED ネットワークポリシーを設定します。

■ Location

項目	内容
座標	位置データを 16 進数形式の座標として設定します。(16 桁の 16 進数を 16 ペアまで入力可能)
住所	ロケーションデータを civic アドレスとして 16 進数形式で設定します。(6 ～ 160 ペアの 16 進数を入力可能)
ECS ELIN	ロケーションデータを 16 進形式の緊急コールサービス緊急ロケーション識別番号 (ECS ELIN) として設定します。(10 ～ 25 ペアの 16 進数を入力可能)

【LLDP】パケットビュー

パケットビューの情報を表示します。



選択中のパケットの詳細を表示します。
→P139「パケットビューの詳細」

パケットビューの詳細

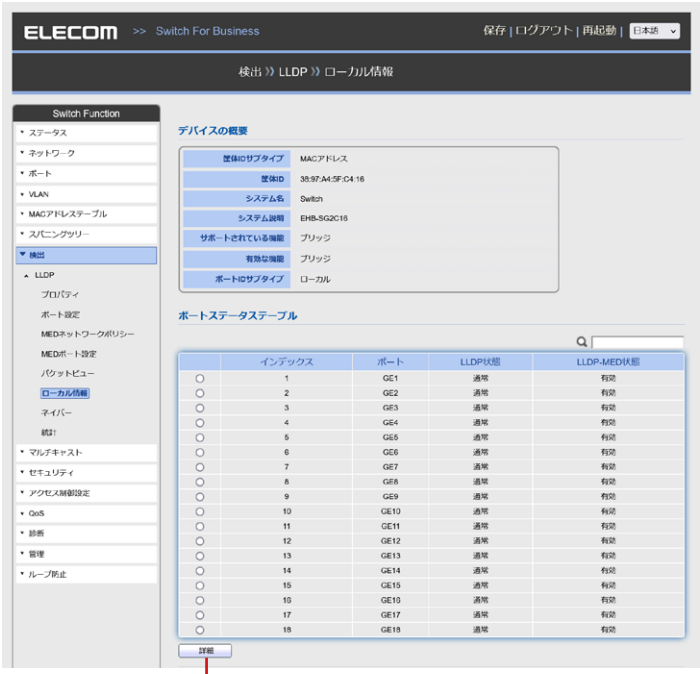


項目	内容
必須の TLV	必須の TLV バイトサイズの合計を表示します。
MED 機能	MED 機能バイトサイズの合計を表示します。
MED ロケーション	MED ロケーションバイトサイズの合計を表示します。
MED ネットワークポリシー	MED ネットワークポリシーバイトサイズの合計を表示します。
MED Inventory	MEDInventory バイトサイズの合計を表示します。

項目	内容
MED Extended Power via MDI	MED Extended Power via MDI バイトサイズの合計を表示します。
802.3 TLV	802.3 TLV バイトサイズの合計を表示します。
オプション TLV	オプション TLV バイトサイズの合計を表示します。
802.1 TLV	802.1TLV バイトサイズの合計を表示します。
合計	各パケット内の LLDP 情報の合計バイト数を表示します。

【LLDP】ローカル情報

本製品の LLDP 情報を表示します。



選択中のエントリーの詳細情報を表示します。
→P142「ローカル詳細情報」

デバイス概要

項目	内容
筐体 ID サブタイプ	筐体 ID サブタイプを表示します。
筐体 ID	MAC アドレスを表示します。
システム名	本製品のシステム名を表示します。（初期値：Switch）
システム説明	本製品の型番を表示します。
サポートされている機能	サポートされている機能が表示されます。
有効な機能	有効な機能が表示されます。
ポート ID サブタイプ	ポート ID のサブタイプが表示されます。

ポートステータステーブル

項目	内容
インデックス	LLDP ポートステータステーブルのインデックス番号を表示します。
ポート	ポート番号を表示します。
LLDP 状態	LLDP の状態を表示します。
LLDP-MED 状態	LLDP-MED 状態を表示します。

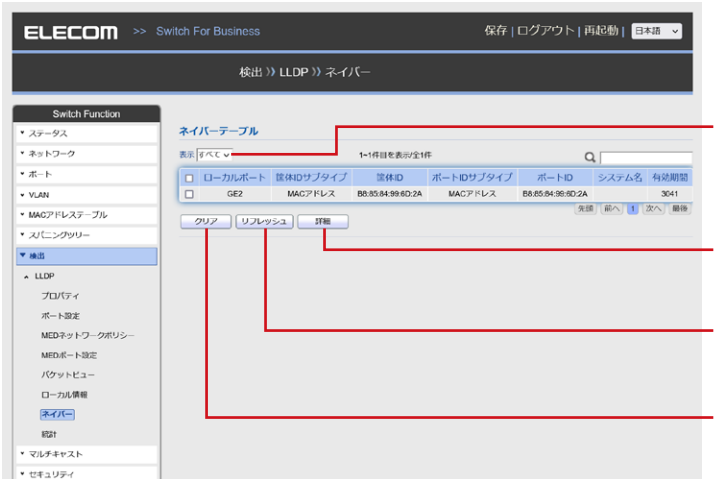
ローカル詳細情報



項目	内容
筐体 ID サブタイプ	シャーシ ID サブタイプを表示します。
筐体 ID	MAC アドレスを表示します。
システム名	本製品のシステム名を表示します。（初期値：Switch）
システム説明	本製品の型番を表示します。
サポートされている機能	サポートされている機能が表示されます。
有効な機能	有効な機能が表示されます。
ポート ID	ポート ID が表示されます。
ポート ID サブタイプ	ポート ID のサブタイプが表示されます。
ポート説明	ポート説明が表示されます。

【LLDP】ネイバー

ネイバーの情報を表示します。



設定されたVLANの表示件数を変更します。
すべて(初期値)／10件／30件／50件／100件

選択中のネイバー情報を表示します。

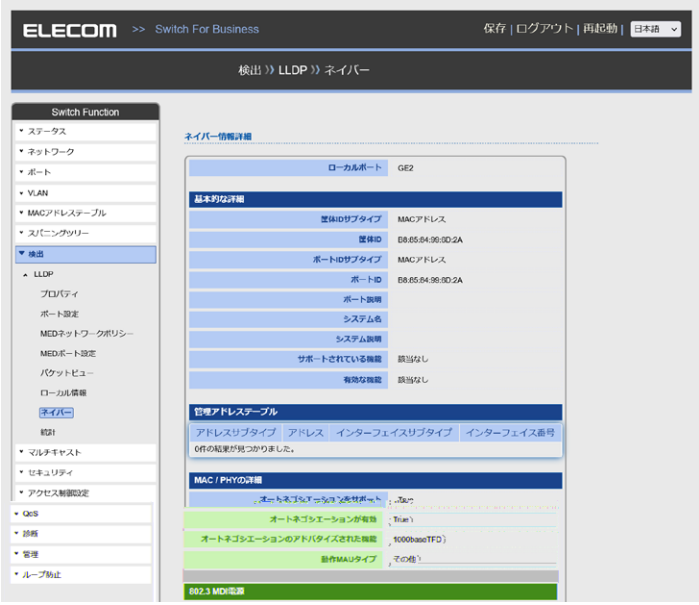
情報を最新のものに更新します。

ネイバーリストをクリアします。

ネイバーテーブル

項目	内容
ローカルポート	ローカルポート番号を表示します。
シャーシ ID サブタイプ	シャーシ ID サブタイプを表示します。
シャーシ ID	シャーシ ID を表示します。
ポート ID サブタイプ	ポート ID サブタイプを表示します。
ポート ID	ポート ID が表示されます。
System Name	表示しません。
有効期間	ネイバーテーブルの有効期間が表示されます。

ネイバー詳細情報



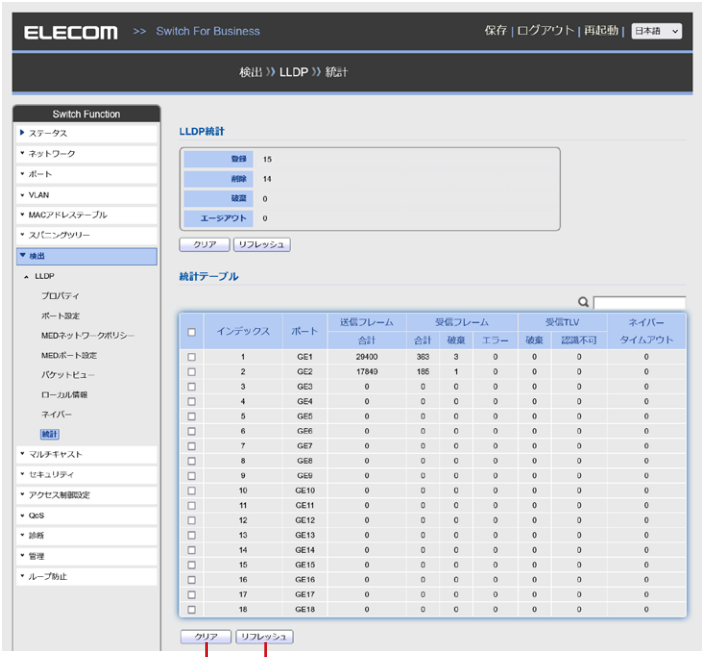
項目	内容
ローカルポート	選択したポートを表示します。

■ 基本詳細

項目	内容
筐体 ID サブタイプ	筐体 ID サブタイプを表示します。
筐体 ID	筐体 ID を表示します。
ポート ID サブタイプ	ポート ID サブタイプを表示します。
ポート ID	ポート ID を表示します。
ポート説明	表示しません。
ポート名	
システム名	
システム説明	
サポートされている機能	
有効な機能	

【LLDP】統計

LLDP の統計を表示します。



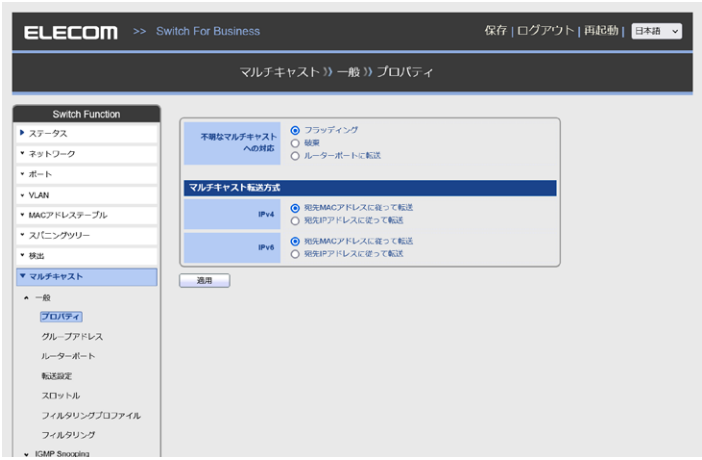
リフレッシュ
表示内容を最新のものに更新します。

クリア
表示をクリアします。

マルチキャスト

【一般】プロパティ

マルチキャストのプロパティを設定します。



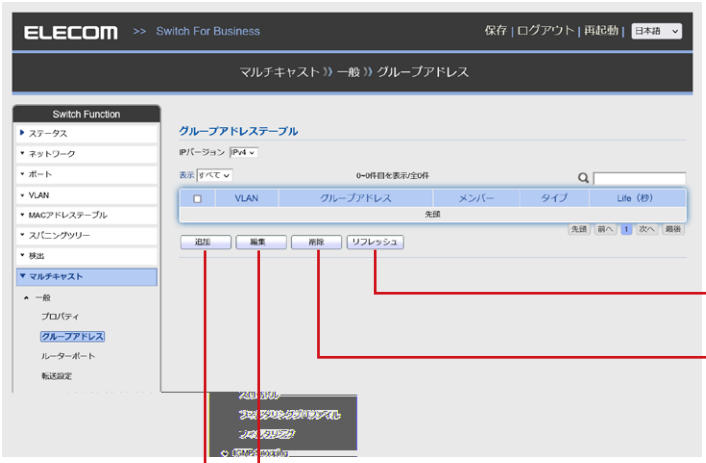
項目	内容
不明なマルチキャストへの対応	不明なマルチキャストへのアクションを設定します。 **フラッディング**：不明なマルチキャストデータをフラッディングします。 **破棄**：不明なマルチキャストデータを破棄します。 **ルーターポートに転送**：未知のマルチキャストデータをルーターポートに転送します。

■ マルチキャスト転送方式

項目	内容
IPv4	IPv4 マルチキャストの転送方法を宛先 MAC アドレスまたは、宛先 IP アドレスに従って転送します。
IPv6	IPv6 マルチキャストの転送方法を宛先 MAC アドレスまたは、宛先 IP アドレスに従って転送します。

【一般】グループアドレス

マルチキャストのグループアドレスを設定します。



情報を最新のものに更新します。

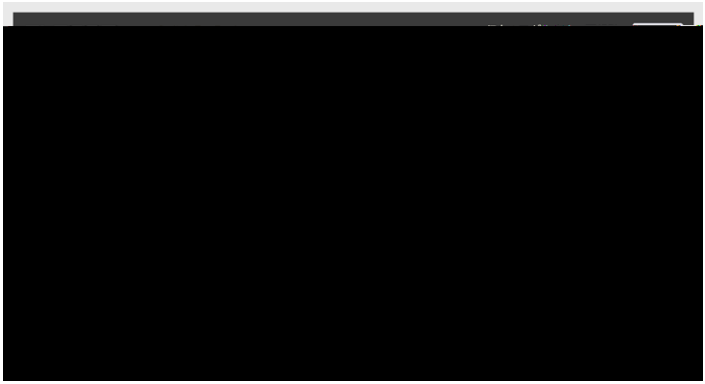
グループアドレスを削除します。

選択中のグループアドレスを編集します。
→P149「グループアドレステーブル追加／編集」

グループアドレスを追加します。
→P149「グループアドレステーブル追加／編集」

グループアドレステーブル

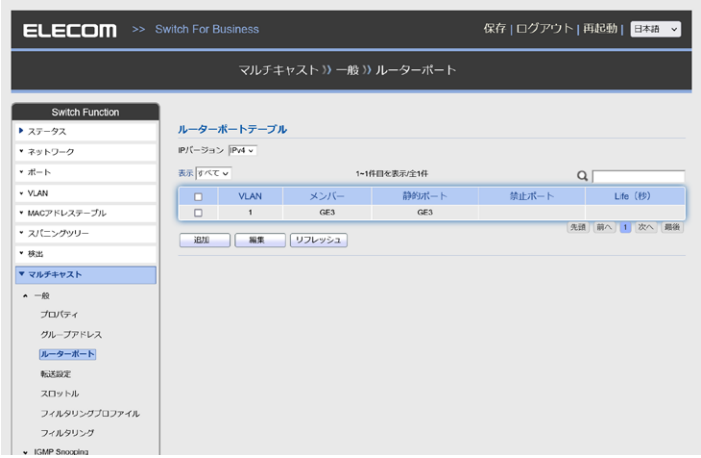
項目	内容
VLAN	VLAN ID を表示します。
グループアドレス	設定したグループアドレスを表示します。
メンバー	メンバーに設定したポートを表示します。
タイプ	アドレスタイプを表示します。
Life(Sec)	表示しません。



項目	内容
VLAN	グループアドレスを追加する VLANID を選択します。
IP バージョン	IP アドレスのバージョンを選択します。
グループアドレス	任意のマルチキャストアドレスを入力します。
ド まずパスを入力	プ選 ヨ

【一般】ルーターポート

ルーターポートを設定します。



ルーターポートテーブル

項目	内容
VLAN	VLAN ID を表示します。
メンバー	メンバーに設定したポートを表示します。
静的メンバー	静的メンバーのポートを表示します。
禁止ポート	禁止されたルーターポートメンバーを表示します。
Life（秒）	ルーターエントリーの有効期限を表示します。

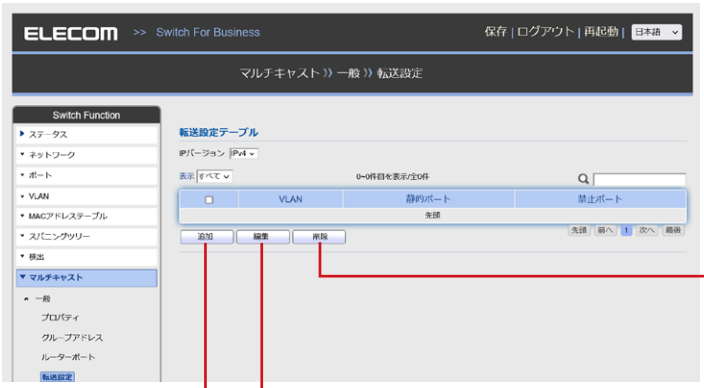
ルーターポートの追加／編集



項目	内容
VLAN	ルーターエントリーの VLAN ID です。 **使用可能な VLAN**：選択可能な VLAN メンバーを表示します。 **選択済みの VLAN**：選択された VLAN メンバーを表示します。
IP バージョン	IPv4 または、IPv6 を選択します。
タイプ	ルーターのポートタイプを静的または禁止から設定します。
ポート	ルーターエントリーのメンバーポートです。 **使用可能ポート**：選択可能なルーターポートメンバーを表示します。 **選択済みのポート**：選択されたルーターポートメンバーを表示します。

【一般】転送設定

転送の設定をします。



マルチキャスト転送設定を削除します。

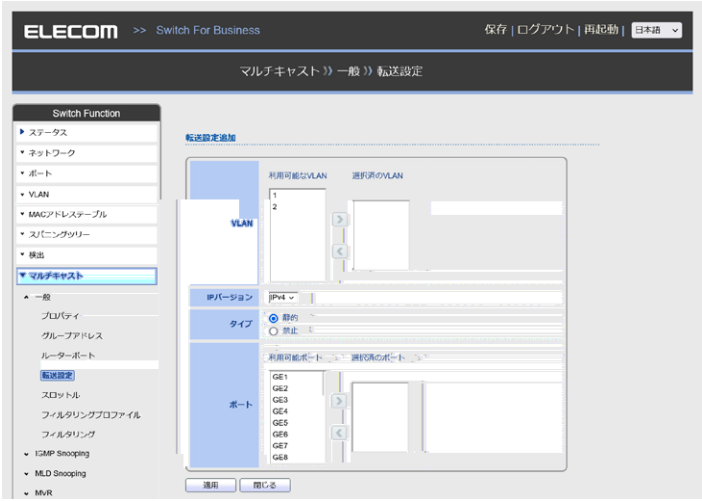
マルチキャスト転送設定を編集します。
→P153「転送設定追加／編集」

マルチキャスト転送設定を追加します。
→P153「転送設定追加／編集」

全転送テーブル

項目	内容
VLAN	VLAN ID を表示します。
静的ポート	静的ポートに設定されたポートを表示します。
禁止ポート	禁止ポートに設定されたポートを表示します。

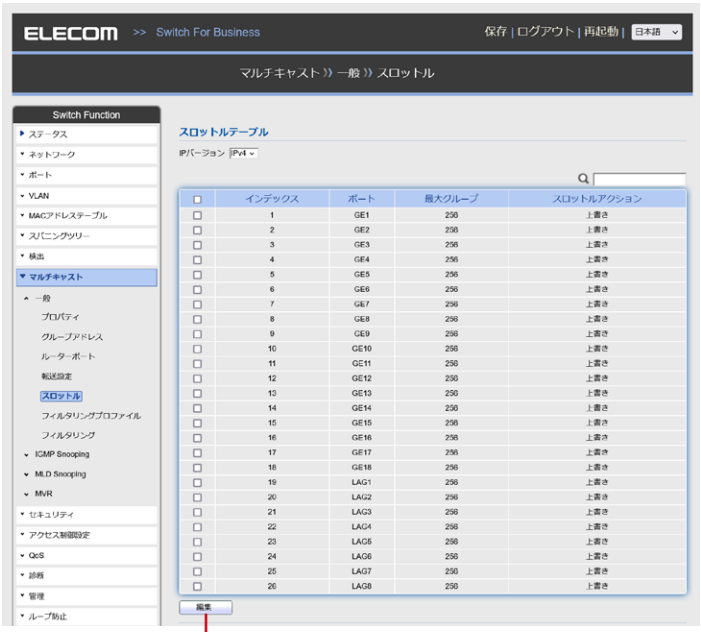
転送設定追加／編集



項目	内容
VLAN	利用可能な VLANID を選択します。
IP バージョン	IP アドレスのバージョンを選択します。
タイプ	全転送テーブルのタイプを選択します。（静的／禁止）
ポート	利用可能なポートを選択します。

【一般】スロットル

スロットルの設定をします。



選択中のスロットル設定します。
→P155「スロットル編集」

スロットル編集



項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
IP バージョン	IP アドレスのバージョンを表示します。
最大グループ	ポートの最大グループ数を設定します。
スロットルアクション	最大グループ数を超えた場合の動作を設定します。 **拒否**：入れ替えを行いません。 **上書き**：既存グループと入れ替えます。

【一般】フィルタリングプロファイル

フィルタリングのプロファイルを設定します。



選択したフィルタリングを削除します。

選択したフィルタリングを編集します。
「プロファイルID」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P156「プロファイル追加／編集」

フィルタリングを追加します。
→P156「プロファイル追加／編集」

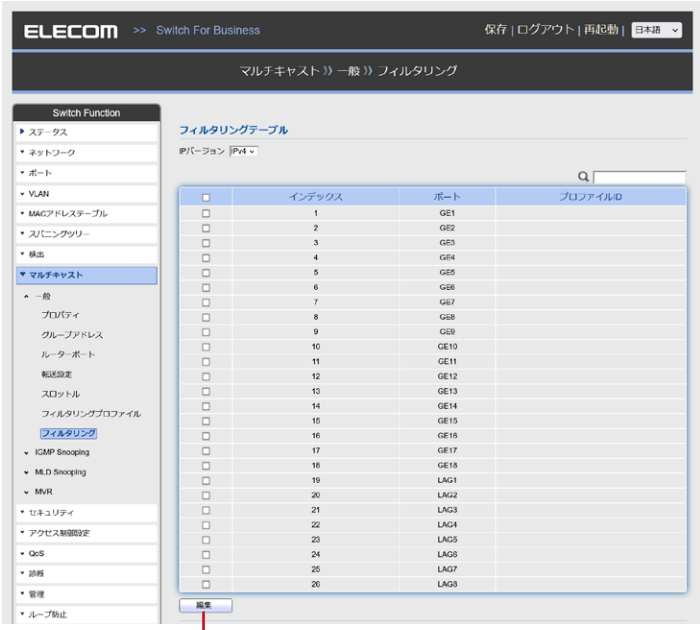
プロファイル追加／編集



項目	内容
プロファイル ID	追加するプロファイルの ID を設定します。
IP バージョン	IP アドレスのバージョンを表示します。
開始アドレス	グループ設定する IP レンジの開始アドレスを設定します。
終了アドレス	グループ設定する IP レンジの終了アドレスを設定します。
アクション	グループ設定する IP レンジのアクションを設定します。

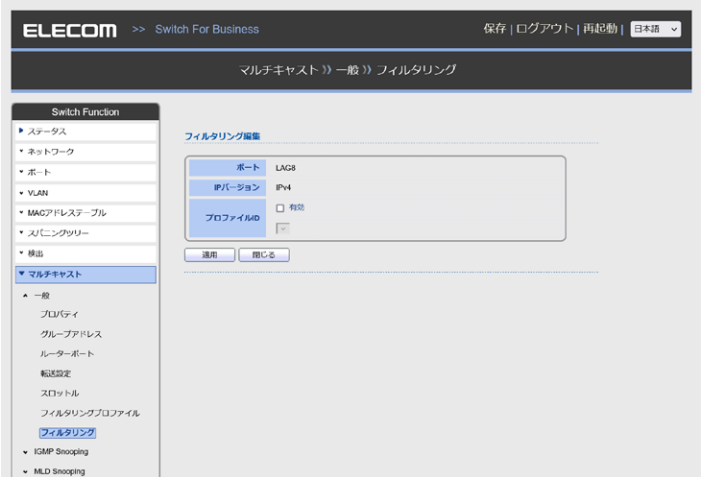
【一般】フィルタリング

フィルタリングの設定をします。



選択中のフィルタリングを設定します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P158「フィルタリング編集」

フィルタリング編集



項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
IP バージョン	IP アドレスのバージョンを表示します。
プロファイル ID	プロファイル ID を有効に設定します。

【IGMP Snooping】プロパティ

IGMP Snooping のプロパティを設定します。



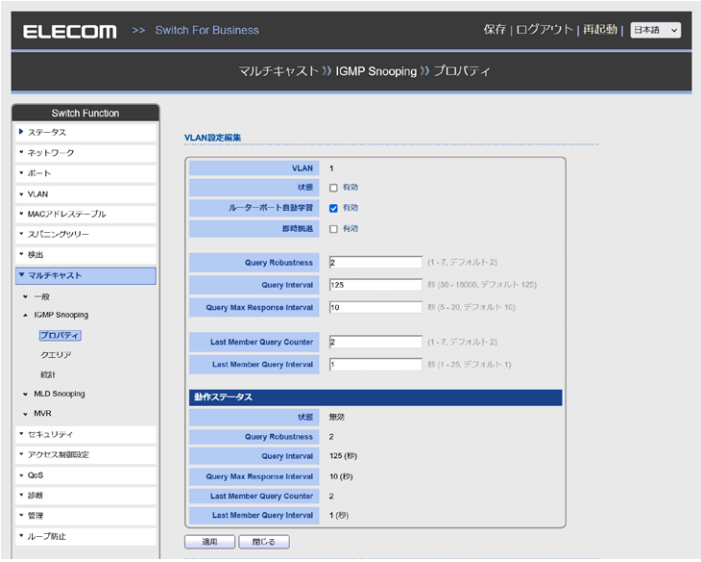
選択したVLANの設定をします。
→P160「VLAN設定編集」

項目	内容
状態	IGMP Snooping のステータスを有効にします。
バージョン	IGMP Snooping のバージョンを選択します。（IGMPv2 ／ IGMPv3）
レポート抑制	IGMP Snooping の制御レポートを選択します。（初期値：有効）

VLAN設定テーブル

項目	内容
VLAN	VLAN ID を表示します。
動作ステータス	動作ステータスの有効、無効を表示します。
ルーターポート自動学習	ルーターポート自動学習の有効、無効を表示します。
Query Robustness	各種クエリ設定を行います。
Query Interval	
Query Max Response Interval	
Last Member Query Counter	
Last Member Query Interval	
即時離脱	即時離脱の有効、無効を表示します。

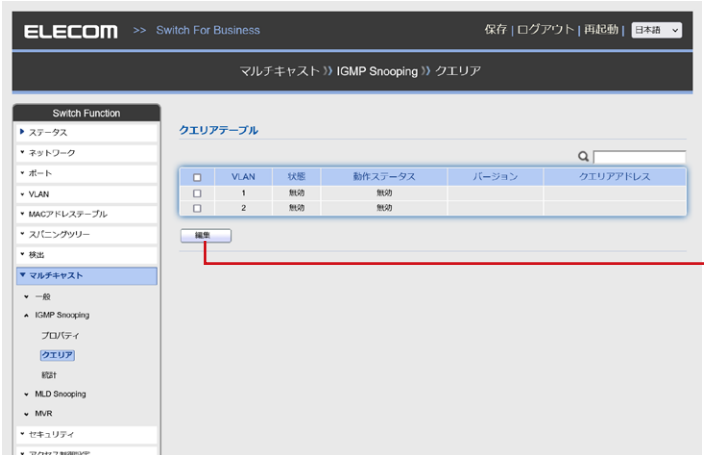
VLAN設定編集



項目	内容
VLAN	選択した VLAN ID が表示されます。
状態	IGMP Snooping の設定を行います。（初期値：無効）
ルーターポート自動学習	ルーターポート自動学習の設定を行います（初期値：有効）
即時離脱	IGMP の離脱設定を行います。IGMPv2 Leave および IGMPv3 Report（離脱要求）メッセージを受信すると，該当ポートへのマルチキャスト通信をすぐに停止します。（初期値：無効）
Query Robustness	各種クエリ設定を行います。設定は「動作ステータス」にも表示されます。
Query Interval	
Query Max Response Interval	
Last Member Query Counter	
Last Member Query Interval	

【IGMP Snooping】クエリア

IGMP Snooping クエリアを設定します。



選択中のクエリアを設定します。
→P162「クエリア編集」

クエリアテーブル

項目	内容
VLAN	クエリア編集画面で設定した内容が表示されます。
状態	
動作ステータス	
バージョン	
クエリアアドレス	

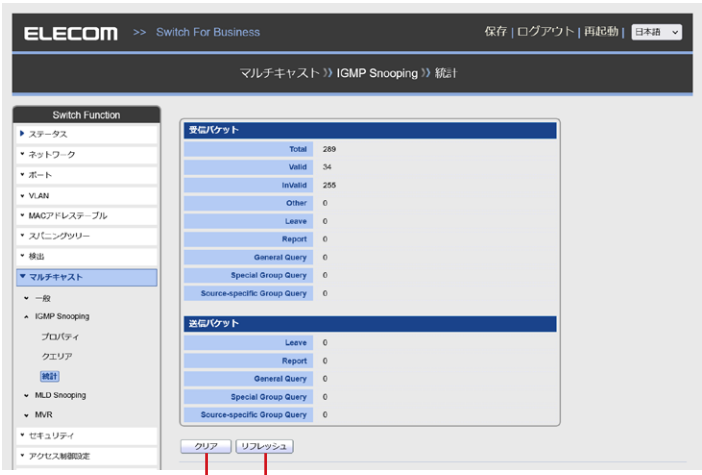
クエリア編集



項目	内容
VLAN	選択した VLAN ID が表示されます。
状態	クエリア設定行います。（初期値：無効）
バージョン	IGMP のバージョンを設定します。（IPMGv2 ／ IPMGv3）

【IGMP Snooping】統計

IGMP Snooping の統計を表示します。



リフレッシュ
表示内容を最新のものに更新します。

クリア
表示をクリアします。

【MLD Snooping】プロパティ

MLD Snooping のプロパティを設定します。



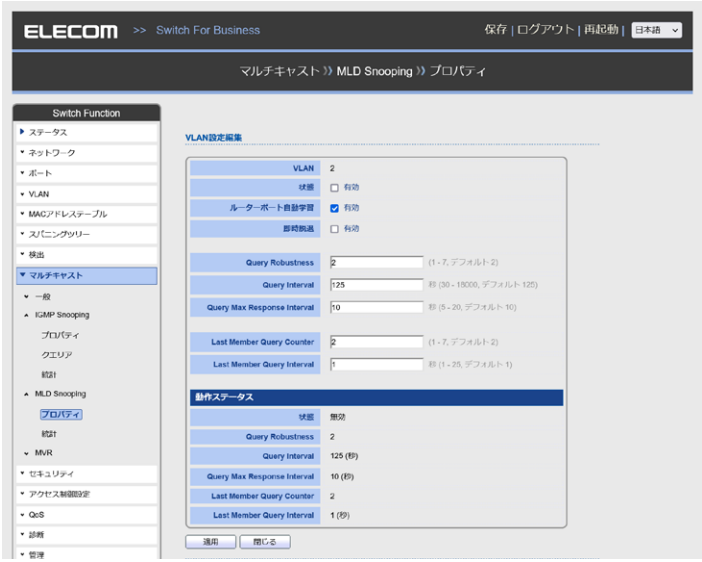
選択したVLANの設定をします。
→P165「VLAN設定編集」

項目	内容
状態	MLD Snooping のステータスを有効にします。
バージョン	MLD Snooping のバージョンを選択します。（MLDv2 ／ MLDv3）
レポート抑制	MLD Snooping の制御レポートを選択します。（初期値：有効）

VLAN設定テーブル

項目	内容
VLAN	VLAN ID を表示します。
動作ステータス	動作ステータスの有効、無効を表示します。
ルーターポート自動学習	ルーターポート自動学習の有効、無効を表示します。
Query Robustness	各種クエリ設定を行います。
Query Interval	
Query Max Response Interval	
Last Member Query Counter	
Last Member Query Interval	
即時離脱	即時離脱の有効、無効を表示します。

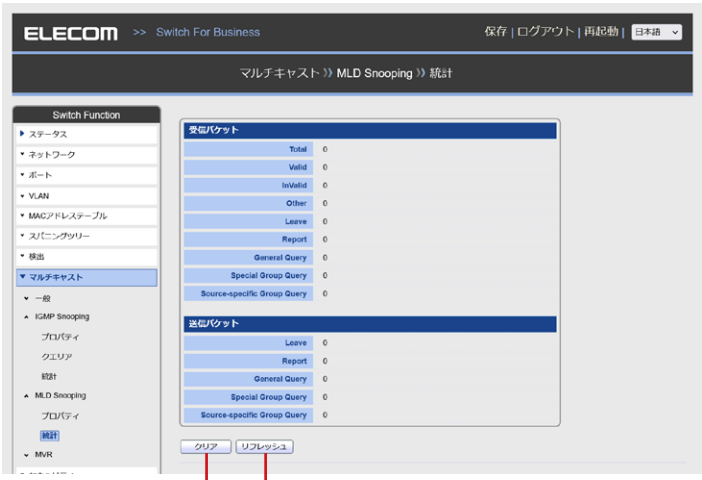
VLAN設定編集



項目	内容
VLAN	選択した VLAN ID が表示されます。
状態	IGMP Snooping の設定を行います。（初期値：無効）
ルーターポート自動学習	ルーターポート自動学習の設定を行います（初期値：有効）
即時離脱	IGMP の離脱設定を行います。IGMPv2 Leave および IGMPv3 Report（離脱要求）メッセージを受信すると，該当ポートへのマルチキャスト通信をすぐに停止します。（初期値：無効）
Query Robustness	各種クエリ設定を行います。設定は「動作ステータス」にも表示されます。
Query Interval	
Query Max Response Interval	
Last Member Query Counter	
Last Member Query Interval	

【MLD Snooping】統計

MLD Snooping の統計を表示します。

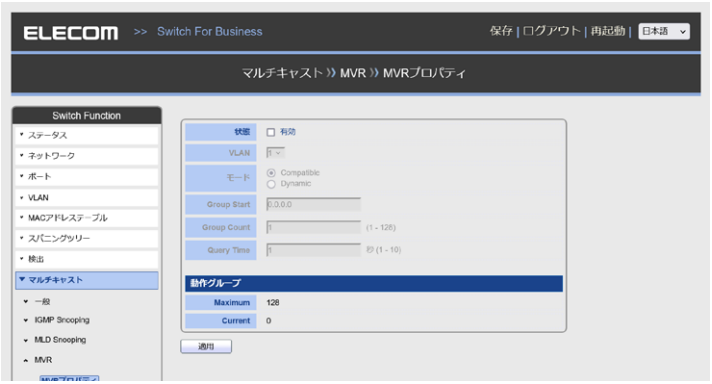


リフレッシュ
表示内容を最新のものに更新します。

クリア
表示をクリアします。

【MVR】MVRプロパティ

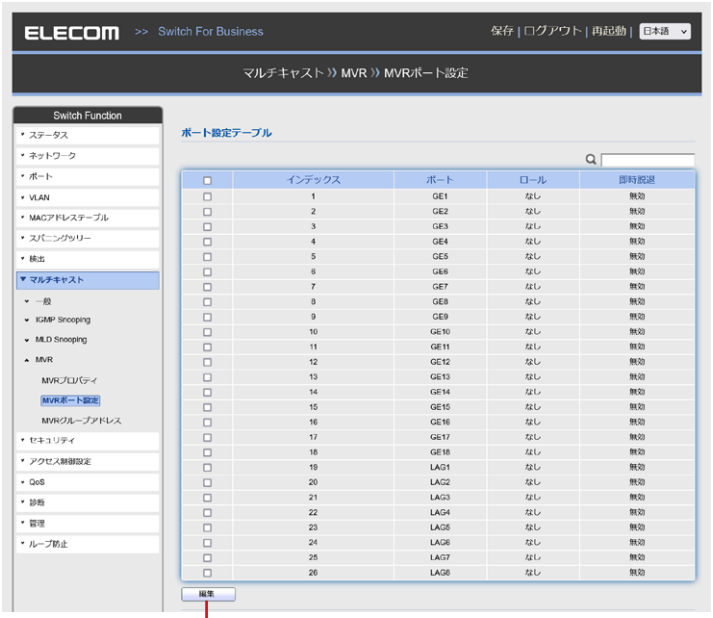
MVR のプロパティを設定します。



項目	内容
状態	チェックを入れると、MVR のステータスを有効にします。
VLAN	VLAN を選択します。
モード	MVR モードを設定する Compatible：互換モードです。 Dynamic：送信元ポート上のグループ メンバーを学習します。
Group Start	MVR Group start を入力します。
Group Count	Group Count を入力します。
Query Time	Query Time を入力します。

【MVR】MVRポート設定

MVR ポートの設定をします。



選択中のポートを設定します。
「エントリー」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P169「ポート設定編集」

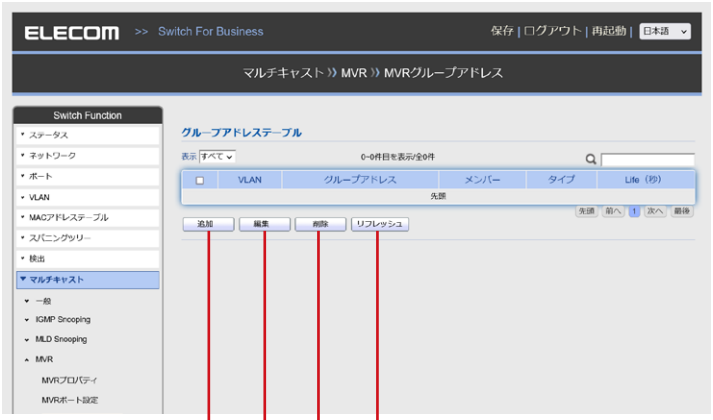
ポート設定編集



項目	内容
ポート	選択中のポート番号が表示されます。
ロール	MVR ポートのロール設定をします。（なし／受信ポート／送信ポート）
即時脱退	有効にチェックを入れると、MVR ポートから即時脱退します。

【MVR】MVRグループアドレス

MVR グループアドレスの設定をします。



リフレッシュ
表示内容を最新のものに更新します。

選択したグループアドレスを削除します。

選択したグループアドレスを編集します。
「VLAN」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P171「グループアドレス追加」

グループアドレスを追加します。
→P171「グループアドレス追加」

グループアドレス追加



項目	内容
VLAN	MVR グループの VLAN ID を表示します。
グループアドレス	MVR グループの IP アドレスを入力します。
メンバー	MVR グループのメンバーポートを設定します。

RADIUS

RADIUS サーバーは、中央集中型のユーザー管理を容易にし、スニッフィングやハッカーからの攻撃から保護します。



■ デフォルトパラメータを使用

デフォルトの値を設定します。

項目	内容
リトライ	(範囲：1 ～ 10、初期値：3)
タイムアウト	(範囲：1 ～ 30、初期値：3)
共有シークレット	クライアントへのログオンアクセスを認証するために使用する暗号キーです。(半角英数字のみ 32 文字以下)

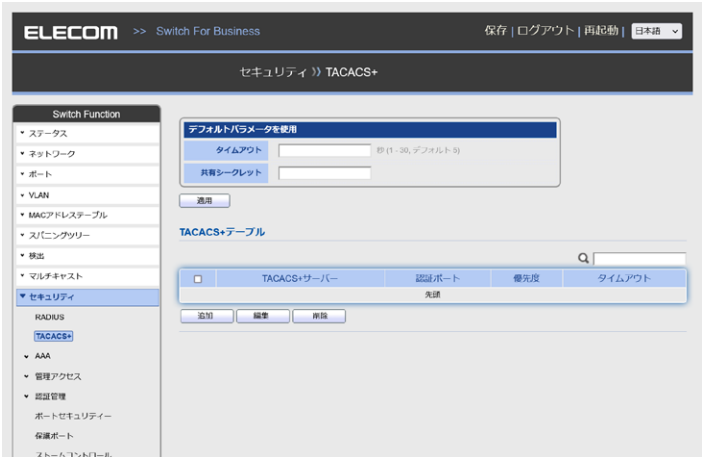
RADIUSサーバー追加／編集



項目	内容
アドレスタイプ	アドレスのタイプを選択します。
RADIUS サーバー	認証に使用する RADIUS サーバーの IP アドレスを設定します。 (初期値：空欄)
認証ポート	RADIUS プロトコルが使用する UDP ポート番号を設定します。 (初期値：1812)
優先度	優先度を設定します。値が小さいほど優先度は高くなります。 (範囲：0 ～ 65535、初期値：空白)
共有シークレット	クライアントへのログオンアクセスを認証するために使用する暗号キーです。チェックを入れると、デフォルトの値を使用します。 (半角英数字のみ 32 文字以下、初期値：デフォルトを使用)
リトライ	チェックを入れると、デフォルトの値を使用します。 (範囲：1 ～ 10、初期値：デフォルトを使用)
タイムアウト	チェックを入れると、デフォルトの値を使用します。 (範囲：1 ～ 30、初期値：デフォルトを使用)
認証	認証方法を選択します。 (初期値：すべて)

TACACS+

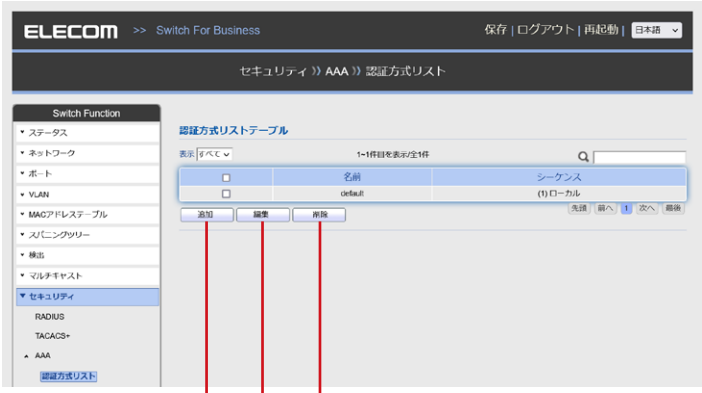
TACACS+ リモートアクセス認証サーバーに設定されたユーザー名とパスワードのリストに基づいたマネジメントアクセス（management access）の制御を行い、IEEE 802.1X ポート認証のためのクライアントアクセスを認証します。



■ デフォルトパラメータを使用

項目	内容
タイムアウト	ユーザーからの認証のレスポンスに対するスイッチの待ち時間（秒）を指定します。（範囲：1 ～ 30、初期値：3）
共有シークレット	クライアントへのログオンアクセスを認証するために使用する暗号キーです。（半角英数字のみ 32 文字以下）

【AAA】認証方式リスト



選択したリストテーブルを削除します。

選択したリストテーブルを編集します。
「名前」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P176「認証方式リスト追加／編集」

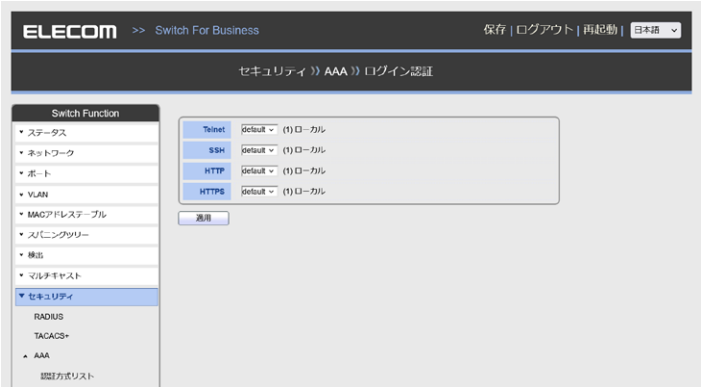
リストテーブルを追加します。
→P176「認証方式リスト追加／編集」

認証方式リスト追加／編集



項目	内容
名前	追加する認証方式リストの名前を設定します。
認証方式 1	第 1 優先のログイン認証方式を設定します。 **未設定**：認証方式を設定しません。 **なし**：何も認証をしません。 **ローカル**：認証にローカルアカウントデータベースを使用します。 **有効**：認証にパスワードを使用します。 **RADIUS**：認証に RADIUS サーバーを使用します。 **TACACS+**：認証に TACACS+ サーバーを使用します。
認証方式 2	第 2 優先のログイン認証方式を設定します。
認証方式 3	第 3 優先のログイン認証方式を設定します。
認証方式 4	第 4 優先のログイン認証方式を設定します。

【AAA】ログイン認証



項目	内容
Telnet	ログインする際にどの認証方式リストを適用するか設定します。
SSH	
HTTP	
HTTPS	

【管理アクセス】管理VLAN

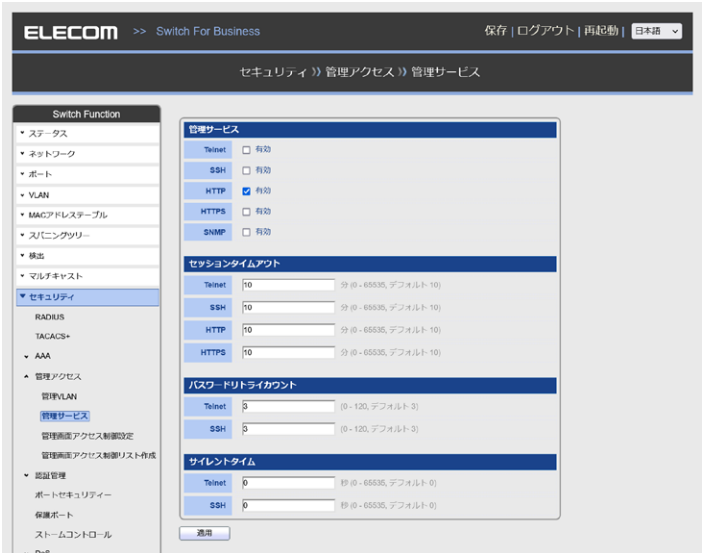
管理 VLAN を選択します。



項目	内容
管理 VLAN	管理 VLAN に設定する ID をリストから選択します。

【管理アクセス】管理サービス

管理サービスの設定をします。



■ 管理サービス

項目	内容
Telnet	使用するサービスにチェックを入れます。 (初期値：HTTP にチェック)
SSH	
HTTP	
HTTPS	
SNMP	

■ セッションタイムアウト

項目	内容
Telnet	セッションがタイムアウトする時間を設定します。(分) (範囲：0 ～ 65535、初期値：10)
SSH	
HTTP	
HTTPS	

■ パスワードリトライカウント

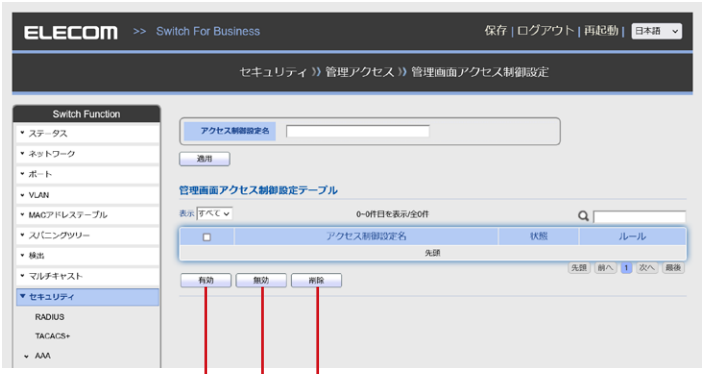
項目	内容
Telnet	パスワードをリトライできる回数を設定します。 (範囲：0 ～ 120、初期値：3)
SSH	

■ サイレントタイム

項目	内容
Telnet	パスワードリトライカウントの回数を超えた入力エラーを検知すると、設定した時間はパスワード入力を受け付けなくなります。 (範囲：0 ～ 65535、初期値：3)
SSH	

【管理アクセス】管理画面アクセス制御設定

管理アクセスの制御設定をします。



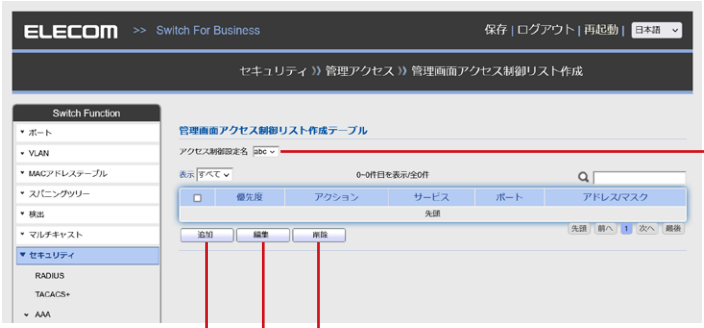
選択したアクセス制御を削除します。

選択したアクセス制御を無効にします。

選択したアクセス制御を有効にします。

項目	内容
アクセス制御設定名	名称を入力し、「適用」をクリックすると、アクセス制御が追加されます。(半角英数字、記号で 32 文字まで。？（クエスチョンマーク）"（ダブルクォーテーション）は使用不可)

【管理アクセス】管理画面アクセスリスト作成



設定するアクセス制御を選択します。

選択したアクセス制御を削除します。

選択したアクセス制御を編集します。
→P183「管理画面アクセス制御リスト追加」

アクセス制御を追加します。
→P183「管理画面アクセス制御リスト追加」

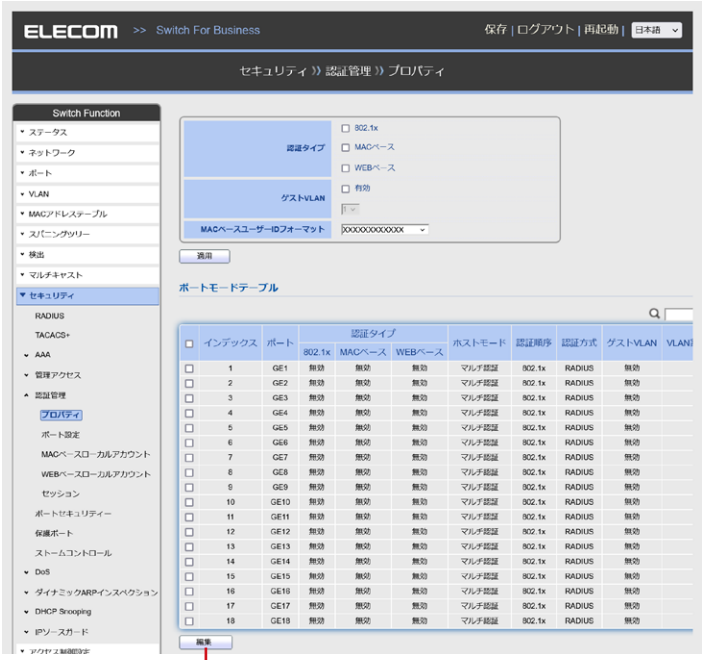
管理画面アクセス制御リスト追加



項目	内容
アクセス制御設定名	アクセス制御設定名が表示されます。
優先度	ACE の優先度を指定します。より高いシーケンスを持つ ACE が最初に処理されます (1 が最高の優先順位)。「追加」ダイアログでのみ使用できます。
サービス	サービスのタイプを選択します。 **すべて**：すべてのサービス **HTTP**：HTTP サービスのみ **HTTPs**：HTTPs サービスのみ **SNMP**：SNMP サービスのみ **SSH**：SSH サービスのみ **Telnet**：Telnet サービスのみ
アクション	ACE 一致パケット後のアクションを選択します。 **許可**：ACE 基準を満たすパケットを転送します。 **拒否**：ACE 基準を満たすパケットを拒否します。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>ポート</td><td>利用可能なポートを選択します。</td></tr>
<tr><td>IP バージョン</td><td>送信元 IP アドレスの種類を選択します。<table><tr><td>すべて</td><td>すべての IP アドレスがアクセスできます。</td></tr><tr><td>IPv4</td><td>アクセスするための IPv4 アドレスを指定します。</td></tr><tr><td>IPv6</td><td>アクセスするための IPv6 アドレスを指定します。</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>IPv4</td><td>送信元 IPv4 アドレス値とサブネットマスクを入力します。</td></tr>
<tr><td>IPv6</td><td>送信元 IPv6 アドレス値とサブネットマスクを入力します。</td></tr>
</table>

【認証管理】プロパティ



選択中のポートを設定します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P186「ポートモード編集」

項目	内容
認証タイプ	次の認証タイプを有効または無効にします。 **802.1x**：IEEE 802.1x を使用して認証を実行します。 **MAC ベース**：MAC アドレスを使用して認証を実行します。 **WEB ベース**：ユーザーが認証を行うための Web ページで認証を実行します。
ゲスト VLAN	ゲスト VLAN を有効／無効にします。ゲスト VLAN が有効な場合は、ゲスト VID として使用可能な VLAN ID を 1 つ選択する必要があります。
MAC ベースユーザー ID フォーマット	Mac ベースの認証 RADIUS ユーザー名／パスワード ID 形式を選択します。

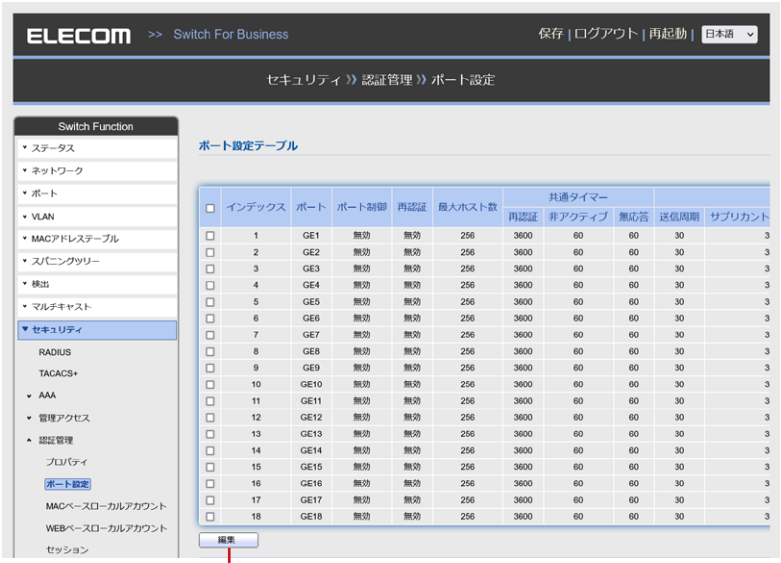
ポートモード編集



項目	内容
ポート	選択中のポート番号が表示されます。
認証タイプ	認証タイプを選択します。
ホストモード	ホストモードを選択します。
認証順序	認証順序を設定します。
認証方式	認証方式を設定します。
ゲスト VLAN	チェックを入れるとゲスト VLAN が有効になります。
VLAN 割り当てモード	VLAN 割り当てモードを選択します。

【認証管理】ポート設定

認証管理ポートの設定をします。



選択中のポートを設定します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P188「ポート設定編集」

ポート設定編集



項目	内容
ポート	選択中のポート番号が表示されます。
ポート制御	以下の認証ポート制御タイプをサポートします。 **無効**：認証機能を無効にし、すべてのクライアントがネットワークにアクセスできるようにします。 **強制承認**：ポートが強制的に承認され、すべてのクライアントがネットワークにアクセスできるようになります。 **強制解除**：ポートが強制的に解除されるため、すべてのクライアントはネットワークにアクセスできません。 **自動**：ネットワークにアクセスするには、認証手順にパスする必要があります。
再認証	再認証の有効 / 無効の設定をします。
最大ホスト数	複数認証モードでは、合計ホスト数が最大ホスト数を超えることはできません。

■ 共通タイマー

項目	内容
再認証	再認証期間の経過後ホストは初期状態に戻り、再度認証手順にパスする必要があります。
非アクティブ	認証されたホストからのパケットがない場合、非アクティブタイマーが増加します。 非アクティブなタイムアウトの後、ホストは許可されなくなり、対応するセッションが削除されます。 マルチホスト モードでは、パケットはポート上のすべてのパケットではなく、許可されたホストのみをカウントします。
無応答	認証に失敗しポートがロックされた場合、無応答時間経過した後に再度認証することができるようになります。

■ 802.1x パラメータ

項目	内容
送信可能	デバイスが要求を再送信する前に、サプリカント（クライアント）からの Extensible Authentication Protocol (EAP) 要求 / アイデンティティ フレームへの応答を待機します。
サプリカントタイムアウト	送信できる EAP リクエストの最大数を設定します。 定義された時間が経過しても応答が受信されない場合（サプリカント タイムアウト）、認証プロセスが再開されます。
サーバータイムアウト	EAP 要求がサプリカントに再送信されるまでの経過秒数を設定します。
最大リクエスト数	デバイスが認証サーバーにリクエストを再送信するまでの経過秒数を設定します。

■ Web ベースパラメータ

項目	内容
最大ログイン回数	無限に設定するか、最大ログイン数を指定します。

【認証管理】MACベースローカルアカウント



選択したMACベースローカルアカウントを削除します。

選択したMACベースローカルアカウントを編集します。
「MACアドレス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P191「MACベースローカルアカウント追加／編集」

MACベースローカルアカウントを追加します。
→P191「MACベースローカルアカウント追加／編集」

MACベースローカルアカウント追加／編集



項目	内容
MAC アドレス	追加したい MAC アドレスを入力します。
ポート制御	ポート制御方法を選択します。
VLAN	VLAN ID を設定します。

■ 割り当てタイマー

項目	内容
再認証	再認証までの時間を設定します。
非アクティブ	非アクティブとなるまでの時間を設定します。

【認証管理】WEBベースローカルアカウント



選択したWEBベースローカルアカウントを削除します。

選択したWEBベースローカルアカウントを編集します。
「ユーザー名」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P193「WEBベースローカルアカウント追加／編集」

WEBベースローカルアカウントを追加します。
→P193「WEBベースローカルアカウント追加／編集」

WEBベースローカルアカウント追加／編集



項目	内容
ユーザー名	ユーザー名を入力します。 (半角英数字のみ 30 文字まで)
パスワード	認証パスワードを入力します。 (半角英数字のみ 32 文字まで)
パスワード認証	確認用のパスワードを入力します。
VLAN	VLAN ID を設定します。

■ 割り当てタイマー

項目	内容
再認証	再認証までの時間を設定します。
非アクティブ	非アクティブとなるまでの時間を設定します。

【認証管理】セッション

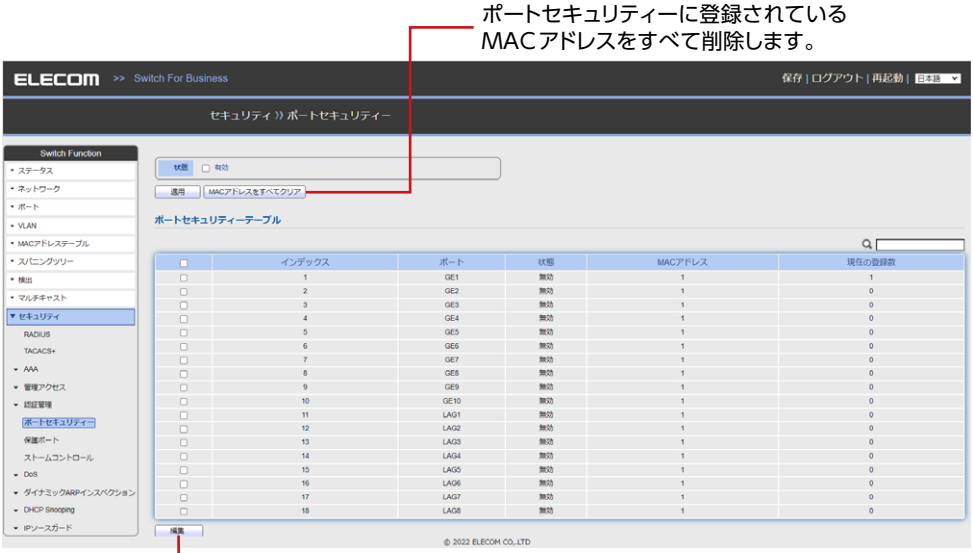


リフレッシュ
表示内容を最新のものに更新します。

クリア
表示をクリアします。

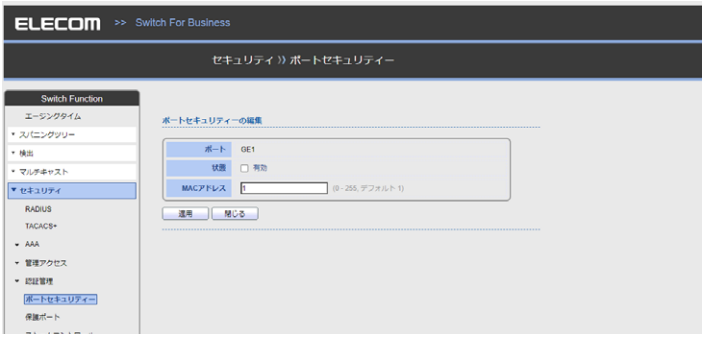
ポートセキュリティー

ポートのセキュリティを設定します。



項目	内容
状態	ポートセキュリティー機能の有効／無効を設定します。 ※ポートセキュリティー機能は動的 MAC アドレスを対象とします。

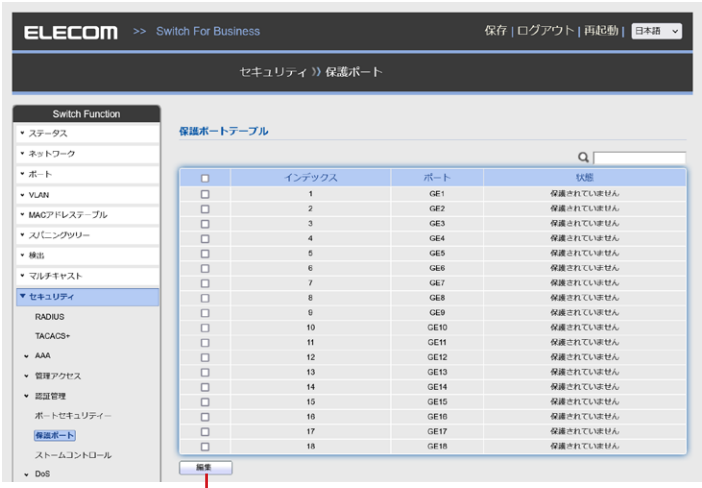
ポートセキュリティーの編集



項目	内容
ポート	選択したポートを表示します。
状態	ポートセキュリティーの有効 / 無効を設定します。
MAC アドレス	学習できる MAC アドレスの数を指定します。

保護ポート

保護ポートの設定をします。



選択中の保護ポートを編集します。
→P197「保護ポート編集」

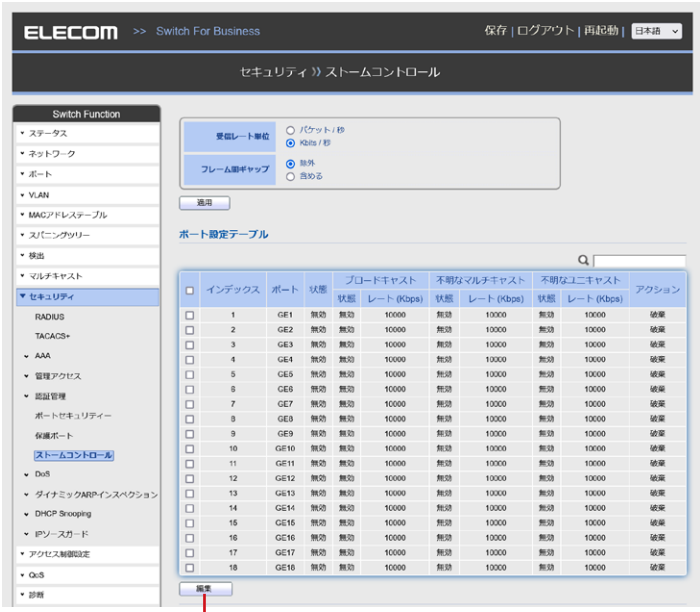
保護ポート編集



項目	内容
ポート	選択したポート番号を表示します。
状態	チェックを入れるとポートを保護します。

ストームコントロール

トラフィックを制限して過負荷状態になるのを防ぎます。



選択中のポートのストームコントロールを設定します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P199「ポート設定編集」

項目	内容
受信レート単位	受信レート単位をパケットまたは Kbits のいずれかに設定します。
フレーム間ギャップ	フレーム間ギャップを除外するか、含めるか設定します

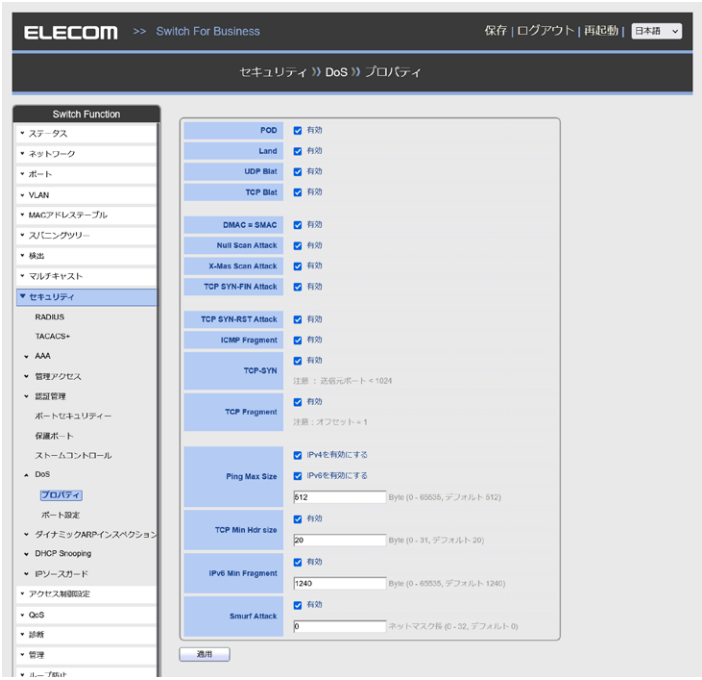
ポート設定編集



項目	内容
ポート	選択したポートが表示されます。
状態	ストームコントロールのポート設定を行います。(初期値：無効)
ブロードキャスト	ストームコントロールのブロードキャスト設定を行います。(初期値:無効) (16-10000000　初期値：10000Kbps)
不明なマルチキャスト	不明なマルチキャストの設定を行います。(初期値：無効) (16-10000000　初期値：10000Kbps)
不明なユニキャスト	不明なユニキャストの設定を行います。(初期値：無効) (16-10000000　初期値：10000Kbps)
アクション	アクションを設定します。 **破棄**：ストーム制御レートを超えるパケットは破棄されます。 **シャットダウン**：パケットがストーム制御レートを超えると、ポートがシャットダウンされます。

【DoS】プロパティ

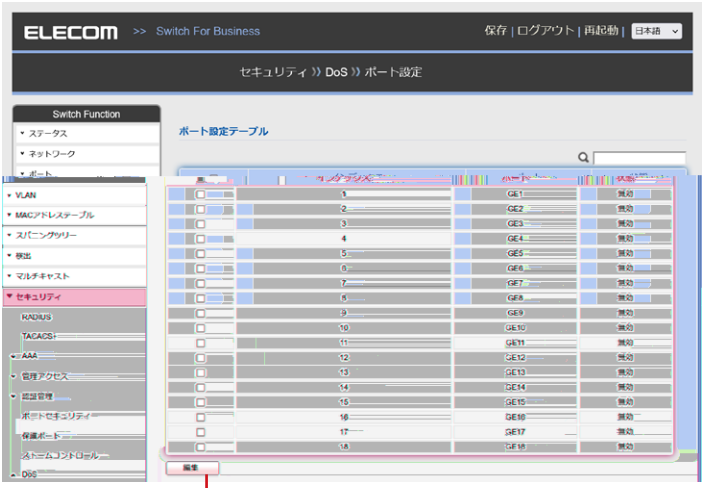
DoS 攻撃防止のための設定を行います。



項目	内容
POD	Ping of Death 攻撃（不正に大きな Ping パケットによる DoS 攻撃）防御機能を有効にします。（初期値：有効）
Land	Local Area Network Denial 攻撃（送信元 IP アドレスと宛先 IP アドレスが同じパケットによる DoS 攻撃）防御機能を有効にします。（初期値：有効）
UDP Blat	UDP Blat 攻撃防御機能を有効にします。（初期値：有効）
TCP Blat	TCP Blat 攻撃防御機能を有効にします。（初期値：有効）
DMAC = SMAC	送信元 MAC アドレスと宛先 MAC アドレスが同じパケットによる DoS 攻撃防御機能を有効にします。（初期値：有効）
Null Scan Attack	Null スキャン（シーケンス番号が 0 かつ、すべてのフラグがセットされていない TCP パケットを利用したポートスキャン）攻撃防御機能を有効にします。（初期値：有効）

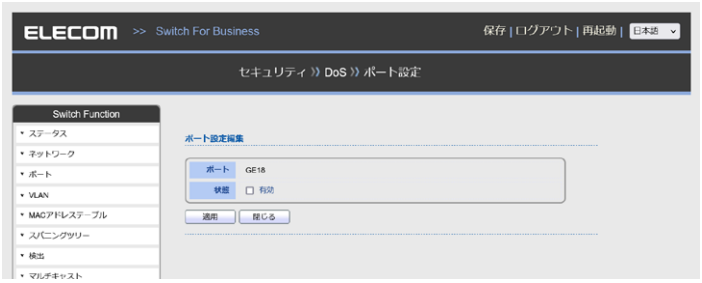
項目	内容
X-Mas Scan Attack	X-Mas スキャン（シーケンス番号が 0 かつ、FIN/URG/PSH の 3 つの矛盾するフラグがセットされた TCP パケットを利用したポートスキャン）防御機能を有効にします。（初期値 : 有効）
TCP SYN-FIN Attack	SYN/FIN の 2 つの矛盾するフラグがセットされた TCP パケットによる攻撃防御機能を有効にします。（初期値 : 有効）
TCP SYN-RST Attack	SYN/RST の 2 つのフラグがセットされた TCP パケットによる攻撃をフィルタリングします。（初期値 : 有効）
ICMP Fragment	フラグメントされた ICMP パケットをフィルタリングします。（初期値: 有効）
TCP-SYN	送信元ポートが 1024 未満の TCP SYN フラッド攻撃をフィルタリングします。（初期値 : 有効）
TCP Fragment	フラグメントされた先頭以外の TCP パケットをフィルタリングします。（初期値 : 有効）
Ping Max Size	設定された値より大きいペイロードサイズを持つ ICMPv4/ICMPv6 Ping パケットをフィルタリングします。（初期値 : 有効）
TCP Min Hdr size	完全な TCP ヘッダーを持たないフラグメントされた先頭の TCP パケットをチェックします。（初期値 : 有効）
IPv6 Min Fragment	IPv6 フラグメントの最小サイズをチェックします。（初期値 : 有効）
Smurf Attack	Smurf Attack による攻撃をフィルタリングします。（初期値 : 有効）

【DoS】ポート設定



マルチキャスト転送設定を編集します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P202「ポート設定編集」

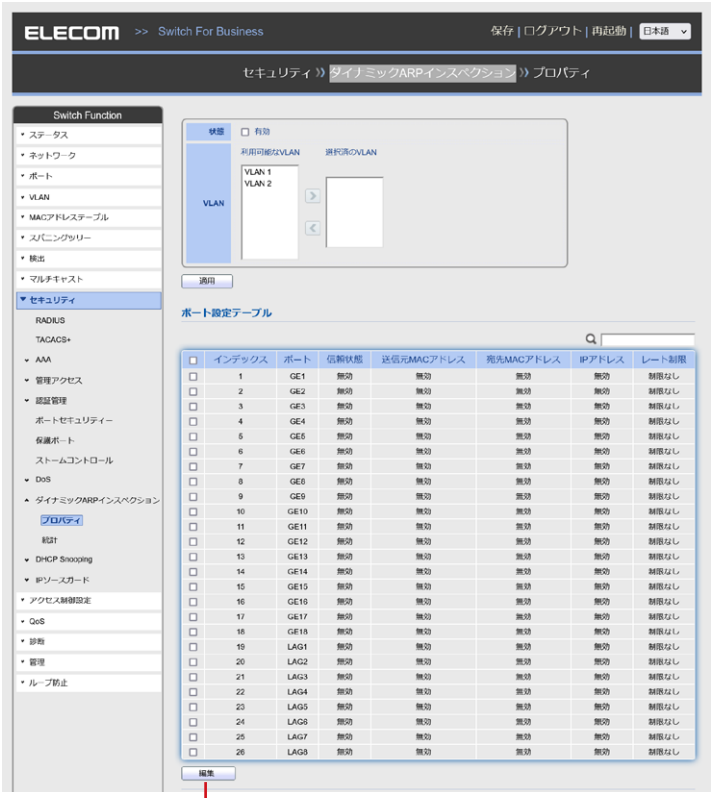
ポート設定編集



項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
状態	選択したポートの DoS 設定を有効 / 無効にします。

【ダイナミックARPインスペクション】プロパティ

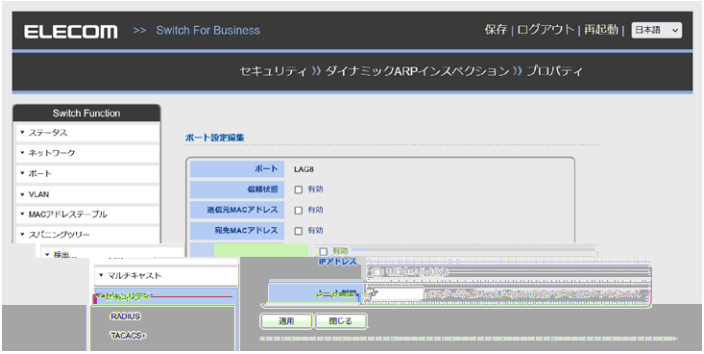
ダイナミック ARP インスペクションのプロパティを設定します。



選択したポートの設定をします。
→P204「ポート設定編集」

項目	内容
状態	ダイナミック ARP インスペクションを有効にします。
VLAN	利用可能な VLAN から任意の VLAN を選択し、選択済みの VLAN に移動しダイナミック ARP インスペクションを有効にします。

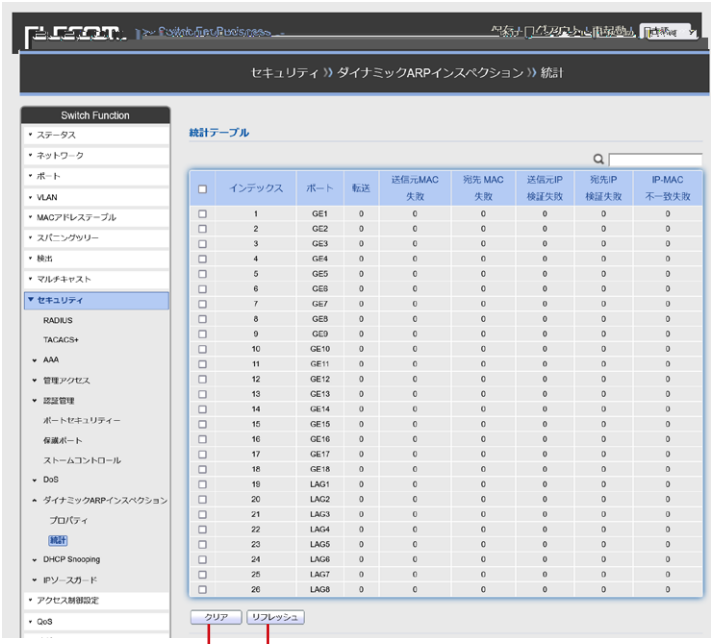
ポート設定編集



項目	内容
ポート	選択したポートが表示されます。
信頼状態	インターフェイスの信頼状態を有効または無効にします。 信頼を有効にすると、すべての DHCP パケットが直接転送されます。
送信元 MAC アドレス	有効にすると送信元 MAC アドレスが検査対象になります。
宛先 MAC アドレス	有効にすると宛先 MAC アドレスが検査対象になります。
IP アドレス	有効にすると IP アドレスが検査対象になります。
レート制限	DHCP パケットの入力レート制限を設定します。単位は pps です。 0 は無制限を意味します。

【ダイナミックARPインスペクション】統計

ダイナミック ARP インスペクションの統計を表示します。

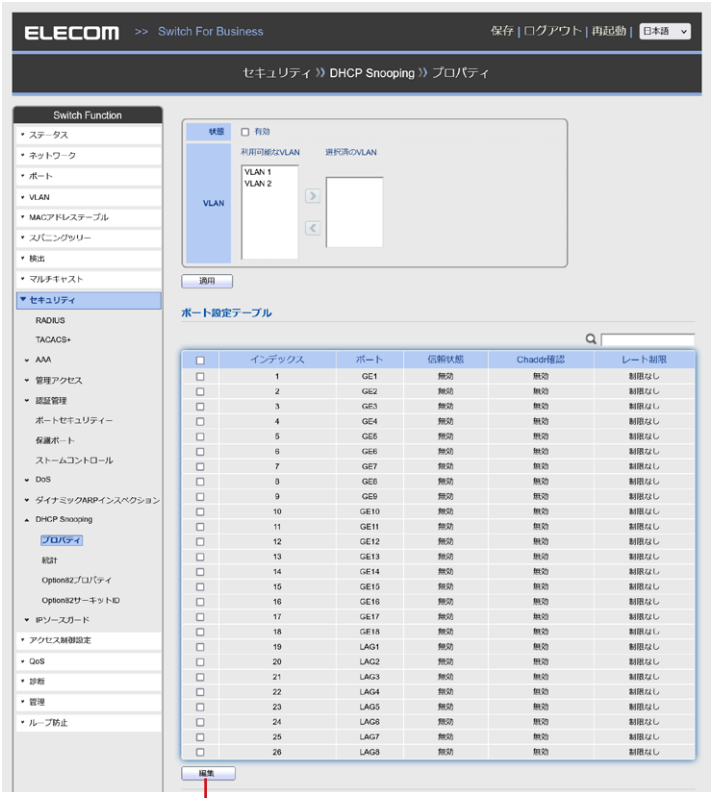


リフレッシュ
表示内容を最新のものに更新します。

クリア
表示をクリアします。

【DHCP Snooping】プロパティ

DHCP Snooping のプロパティを設定します。



選択したポートの設定をします。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P207「ポート設定編集」

項目	内容
状態	DHCP Snooping の有効 / 無効を設定します。
VLAN	利用可能な VLAN から任意の VLAN を選択し、選択済みの VLAN に移動し DHCP Snooping を有効にします。

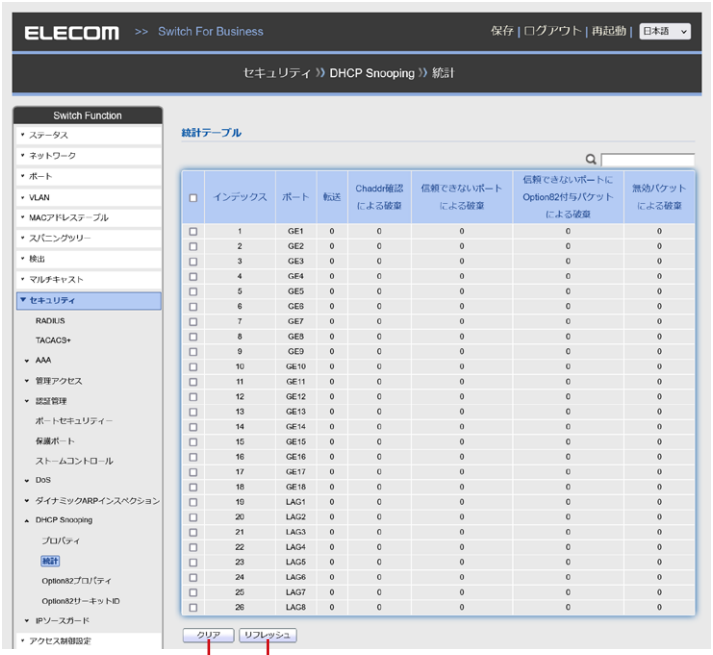
ポート設定編集



項目	内容
ポート	選択したポートを表示します。
信頼状態	選択したポートの信頼状態を有効または無効にします。信頼状態を有効にすると、すべての DHCP パケットが直接転送されます。
Chaddr 確認	Chaddr 確認を有効または無効にします。Chaddr 確認を有効にすると、すべての DHCP パケットが、クライアントの MAC アドレスがイーサネットヘッダーの送信元の MAC アドレスと同じかどうかチェックします。
レート制限	DHCP パケットの入力レート制限を設定します。単位は pps です。 0 は無制限を意味します。

【DHCP Snooping】統計

DHCP Snooping の統計を表示します。

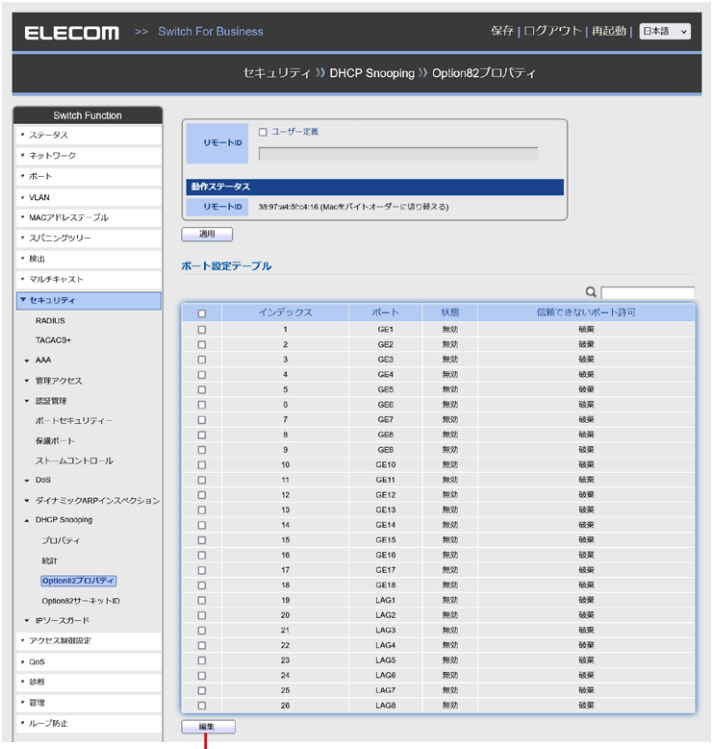


リフレッシュ
表示内容を最新のものに更新します。

クリア
表示をクリアします。

【DHCP Snooping】Option82プロパティ

Option82 のプロパティを設定します。



選択したポートの設定をします。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P207「ポート設定編集」

項目	内容
リモート ID	ユーザー定義のリモート ID を有効にします。初期値のリモート ID は本製品の MAC アドレスです。

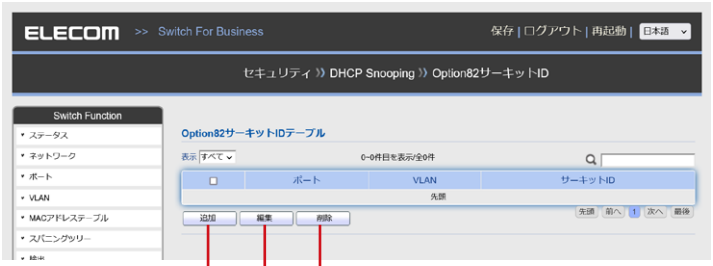
ポート設定編集



項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
状態	Option82 の有効／無効を設定します。
信頼できないポート許可	信頼できないポートが DHCP パケットを受信したときに実行するアクションを選択します。 初期値は「破棄」です。

保持	元の Option82 を保持します。
破棄	Option82 でパケットを破棄します。
置換	スイッチ設定により Option82 の内容を置換します。

【DHCP Snooping】Option82サーキットID

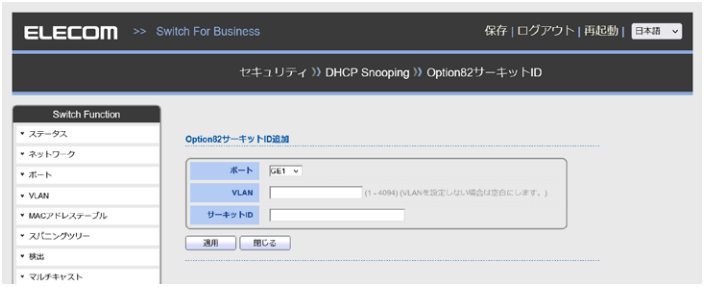


選択したサーキットIDを削除します。

選択したサーキットIDを編集します。
「ポート」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P211「Option82サーキットID追加」

サーキットIDを追加します。
→P211「Option82サーキットID追加」

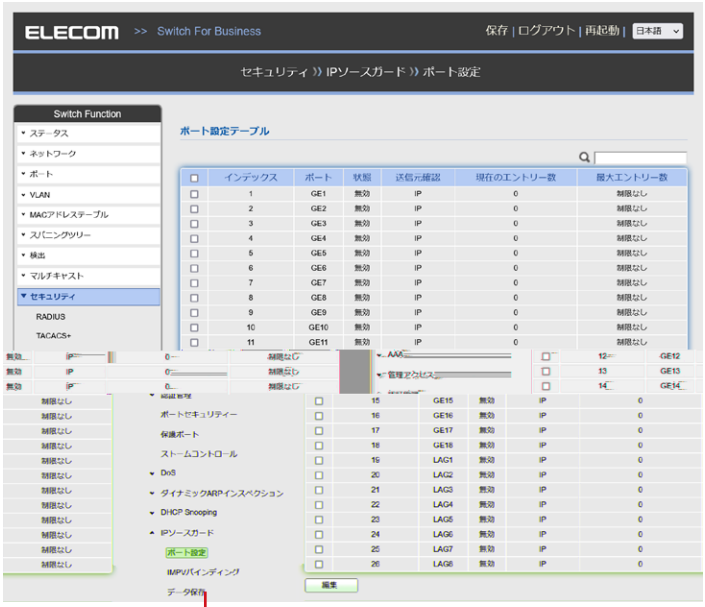
Option82サーキットID追加



項目	内容
ポート	選択したポートが表示されます。
VLAN	追加する VLAN ID を入力します。
サーキット ID	登録するサーキット ID を入力します。

【IPソースガード】ポート設定

IP ソースガードのポートを設定します。



選択中のポート設定を行います。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P213「ポート設定編集」

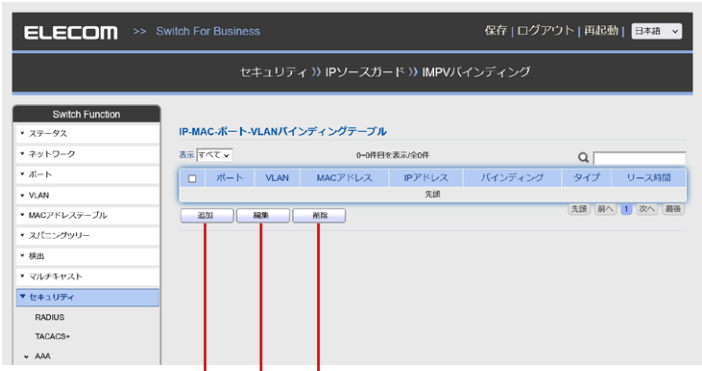
ポート設定編集



項目	内容
ポート	選択中のポートを表示します。
状態	IP ソースガードの機能を有効にします。初期値は無効です。
送信元確認	IP ソース ガード送信モードを選択します。 **IP**：パケットの送信元 IP アドレスのみを検証します。 **IP-MAC**：パケットの送信元 IP と送信元 MAC アドレスを確認します。
最大エントリー数	ポートを制限できるエントリーの最大数を入力します。 デフォルトはすべてのポートで無制限です。

【IPソースガード】IMPVバインディング

IP ソースガードの IMPV バインディングを設定します。



選択したIMPVバインディングを削除します。

選択したIMPVバインディングを編集します。
「ポート」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P215「IP-MAC-ポート-VLANバインディング追加／編集」

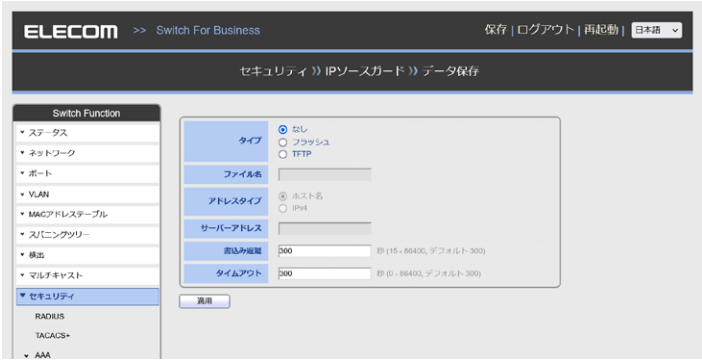
IMPVバインディングを追加します。
→P215「IP-MAC-ポート-VLANバインディング追加／編集」

IP-MAC-ポート-VLANバインディング追加／編集



項目	内容
ポート	追加するポート ID をリストから選択します。
VLAN	追加する VLAN を入力します。
バインディング	バインディング エントリーのモードを選択します。 IP-MAC- ポート -VLAN：パケットは IP アドレス、MAC アドレス、ポート、および VLAN ID と一致する必要があります。 IP- ポート -VLAN：パケットは IP アドレスまたはサブネット、ポートおよび VLAN ID と一致する必要があります。
MAC アドレス	IP-MAC- ポート -VLAN モードを選択した場合、MAC アドレスを入力します。
IP アドレス	IP-MAC- ポート モードを選択した場合、IP アドレスとサブネットマスクを入力します。

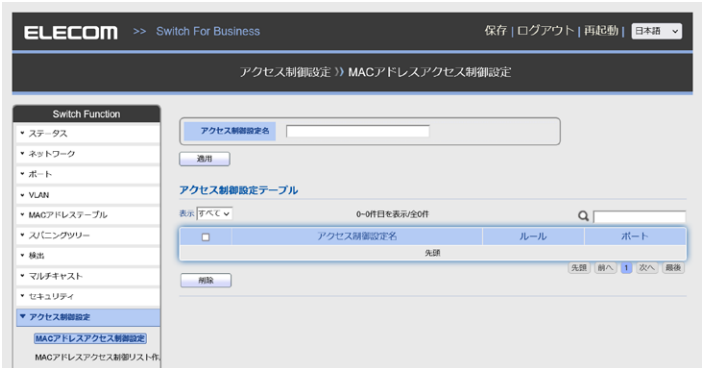
【IP ソースガード】データ保存



項目	内容
タイプ	データベース エージェントのタイプを選択します。 **なし**：データベースエージェントサービスを無効にします。 **フラッシュ**：DHCP 動的バインディングエントリをフラッシュに保存します。 **TFTP**：DHCP 動的バインディングエントリをリモート TFTP サーバーに保存します。
ファイル名	バックアップファイルのファイル名を入力します。タイプで「フラッシュ」および「TFTP」を選択した場合のみ利用可能です。
アドレスタイプ	TFTP サーバーの種類を選択します。 **ホスト名**：TFTP サーバーのアドレスはホスト名です。 **IPv4**：TFTP サーバーのアドレスは IPv4 アドレスです。
サーバーアドレス	サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。タイプで「TFTP」を選択した場合のみ利用可能です。
読込み遅延	変更が発生した後にバックアップを実行します。初期値は 300 秒です。
タイムアウト	バックアップに失敗した場合のタイムアウト時間です。初期値は 300 秒です。

MACアドレスアクセス制御設定

MAC アドレスでアクセスを制御します。



項目	内容
アクセス制御設定名	名称を入力し、「適用」をクリックすると、アクセス制御が追加されます。(半角英数字、記号で 32 文字まで。？（クエスチョンマーク）"（ダブルクォーテーション）は使用不可)

MACアドレスアクセス制御リスト作成

アクセス制御を追加したり、編集することができます。



設定するアクセス制御を選択します。

選択したアクセス制御を削除します。

選択したアクセス制御を編集します。
→P219「アクセス制御リスト追加」

アクセス制御を追加します。
→P219「アクセス制御リスト追加」

アクセス制御リスト追加



項目	内容
アクセス制御設定名	アクセス制御設定名が表示されます。
シーケンス	アクセス制御設定のシーケンスを指定します。より高いシーケンスを持つアクセス制御設定がが最初に処理されます (1 が最高の優先順位)。
アクション	アクセス制御設定のパケット後のアクションを選択します。 **許可**：アクセス制御設定の基準を満たすパケットを許可します。 **拒否**：アクセス制御設定の基準を満たすパケットを拒否します。 **シャットダウン**：アクセス制御設定の基準を満たすパケットを拒否し、パケットを受信したポートを無効にします。このような場合は、[ポート設定] ページから再アクティブ化できます。
送信元 MAC	送信元 MAC アドレスの種類を選択します。 **任意**：すべての送信元アドレスが受け入れられます。 **ユーザー定義**：ユーザーが定義した送信元アドレスまたは送信元アドレスの範囲のみが受け入れられます。照合する送信元 MAC アドレスとサブネットマスクを入力します。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>宛先 MAC</td><td>宛先 MAC アドレスの種類を選択します。<table>
<tr><td>任意</td><td>すべての宛先アドレスが受け入れられます。</td></tr>
<tr><td>ユーザー定義</td><td>ユーザーが定義した宛先アドレスまたは宛先アドレスの範囲のみが受け入れられます。照合する宛先 MAC アドレスとサブネットマスクを入力します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>イーサタイプ</td><td>イーサタイプの種類を選択します。<table>
<tr><td>任意</td><td>すべてのイーサネットフレームタイプを受け入れます。</td></tr>
<tr><td>ユーザー定義</td><td>ユーザーが定義したイーサネットフレームタイプのみが受け入れられます。照合するイーサネットフレームタイプの値を入力します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>VLAN</td><td>VLAN ID の種類を選択します。<table>
<tr><td>任意</td><td>すべての VLAN ID が受け入れられます。</td></tr>
<tr><td>ユーザー定義</td><td>ユーザーが定義したイーサネットフレームタイプのみが受け入れられます。照合するイーサネットフレームタイプの値を入力します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>802.1p</td><td>802.1p の種類を選択します。<table>
<tr><td>任意</td><td>すべての 802.1p 値が受け入れられます。</td></tr>
<tr><td>ユーザー定義</td><td>ユーザーが定義した 802.1p 値または 802.1p 値の範囲のみが受け入れられます。照合する 802.1p 値とサブネットマスクを入力します。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

IPv4アドレスアクセス制御設定

IPv4 アドレスでアクセスを制御します。



項目	内容
アクセス制御設定名	名称を入力し、「適用」をクリックすると、アクセス制御が追加されます。(半角英数字、記号で 32 文字まで。？（クエスチョンマーク）"（ダブルクォーテーション）は使用不可)

IPv4アクセス制御リスト作成

アクセス制御を追加したり、編集することができます。



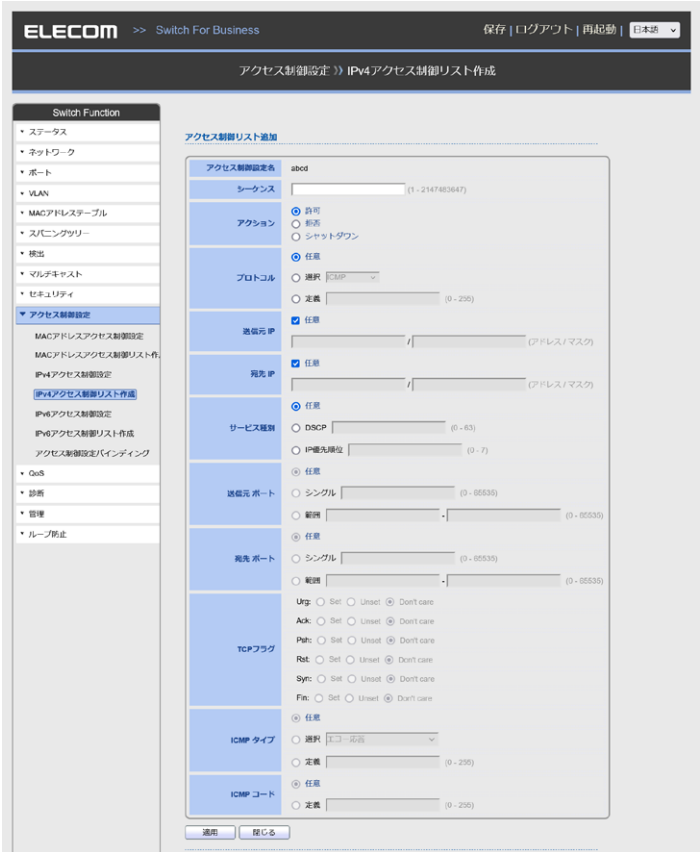
設定するアクセス制御を選択します。

選択したアクセス制御を削除します。

選択したアクセス制御を編集します。
→P223「アクセス制御リスト追加」

アクセス制御を追加します。
→P223「アクセス制御リスト追加」

アクセス制御リスト追加



項目	内容
アクセス制御設定名	アクセス制御設定名が表示されます。
シーケンス	アクセス制御設定のシーケンスを指定します。 より高いシーケンスを持つアクセス制御設定が最初に処理されます (1 が最も高いシーケンスです)。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>アクション</td><td>アクセス制御設定のパケット後のアクションを選択します。
<table>
<tr><td>許可</td><td>アクセス制御設定の基準を満たすパケットを許可します。</td></tr>
<tr><td>拒否</td><td>アクセス制御設定の基準を満たすパケットを拒否します。</td></tr>
<tr><td>シャットダウン</td><td>アクセス制御設定の基準を満たすパケットを拒否し、パケットを受信したポートを無効にします。このような場合は、[ポート設定] ページから再アクティブ化できます。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>プロトコル</td><td>プロトコルのタイプを選択します。
<table>
<tr><td>任意 (IP)</td><td>すべての IP プロトコルが受け入れられます。</td></tr>
<tr><td>選択</td><td>ドロップダウン リストから次のプロトコルのいずれかを選択します。
ICMP ／ IPinIP ／ TCP ／ EGP ／ IGP ／ UDP ／ HMP ／ RDP ／ IPV6 ／ IPV6:ROUT ／ IPV6:FRAG ／ RSVP ／ IPV6:ICMP ／ OSPF ／ PIM ／ L2TP</td></tr>
<tr><td>定義</td><td>プロトコル ID を入力します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>送信元 IP</td><td>送信元 IP アドレスの種類を選択します。
<table>
<tr><td>任意</td><td>すべての送信元アドレスが受け入れられます。</td></tr>
<tr><td>定義</td><td>ユーザーが定義した送信元アドレスまたは送信元アドレスの範囲のみが受け入れられます。照合する送信元 IP アドレスとサブネットマスクを入力します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>宛先 IP</td><td>宛先 IP アドレスの種類を選択します。
<table>
<tr><td>任意</td><td>すべての宛先アドレスが受け入れられます。</td></tr>
<tr><td>定義</td><td>ユーザーが定義した宛先アドレスまたは宛先アドレスの範囲のみが受け入れられます。照合する宛先 IP アドレスとサブネットマスクを入力します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>サービス種別</td><td>サービスのタイプを選択します。
<table>
<tr><td>任意</td><td>すべての種類のサービスが受け入れられます。</td></tr>
<tr><td>DSCP</td><td>照合する DiffServ コードポイント (DSCP) を入力します。</td></tr>
<tr><td>IP 優先順位</td><td>一致する IP 優先順位を入力します。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>送信元ポート</td><td>プロトコルのタイプを選択します。プロトコルが TCP または UDP の場合にのみ使用できます。
<table>
<tr><td>任意</td><td>すべての送信元ポートが受け入れられます。</td></tr>
<tr><td>シングル</td><td>パケットが照合される単一の TCP/UDP 送信元ポートを入力します。</td></tr>
<tr><td>範囲</td><td>パケットが一致する TCP/UDP 送信元ポートの範囲を選択します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>宛先ポート</td><td>プロトコルのタイプを選択します。プロトコルが TCP または UDP の場合にのみ使用できます。
<table>
<tr><td>任意</td><td>すべての宛先ポートが受け入れられます。</td></tr>
<tr><td>シングル</td><td>パケットが照合される単一の TCP/UDP 宛先ポートを入力します。</td></tr>
<tr><td>範囲</td><td>パケットが一致する TCP/UDP 宛先ポートの範囲を選択します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>TCP フラグ</td><td>パケットのフィルタリングに使用する 1 つ以上の TCP フラグを選択します。フィルタリングされたパケットは、許可または破棄されます。
TCP フラグによってパケットをフィルタリングすると、パケット制御が向上し、ネットワークのセキュリティーが向上します。プロトコルが TCP の場合にのみ使用できます。</td></tr>
<tr><td>ICMP タイプ</td><td>ICMP タイプを名前で選択するか、番号を入力します。プロトコルが ICMP の場合にのみ使用できます。
<table>
<tr><td>任意</td><td>すべての ICMP タイプが受け入れられます。</td></tr>
<tr><td>選択</td><td>ICMP タイプを名前で選択します。</td></tr>
<tr><td>定義</td><td>ICMP タイプの番号を入力します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>ICMP コード</td><td>ICMP コードの種類を設定入力します。プロトコルが ICMP の場合にのみ使用できます。
<table>
<tr><td>任意</td><td>すべてのコードが受け入れられます。</td></tr>
<tr><td>ユーザー定義</td><td>照合する ICMP コードを入力します。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

IPv6アドレスアクセス制御設定

IPv6 アドレスでアクセスを制御します。



項目	内容
アクセス制御設定名	名称を入力し、「適用」をクリックすると、アクセス制御が追加されます。(半角英数字、記号で 32 文字まで。？（クエスチョンマーク）"（ダブルクォーテーション）は使用不可)

IPv6アクセス制御リスト作成

アクセス制御を追加したり、編集することができます。



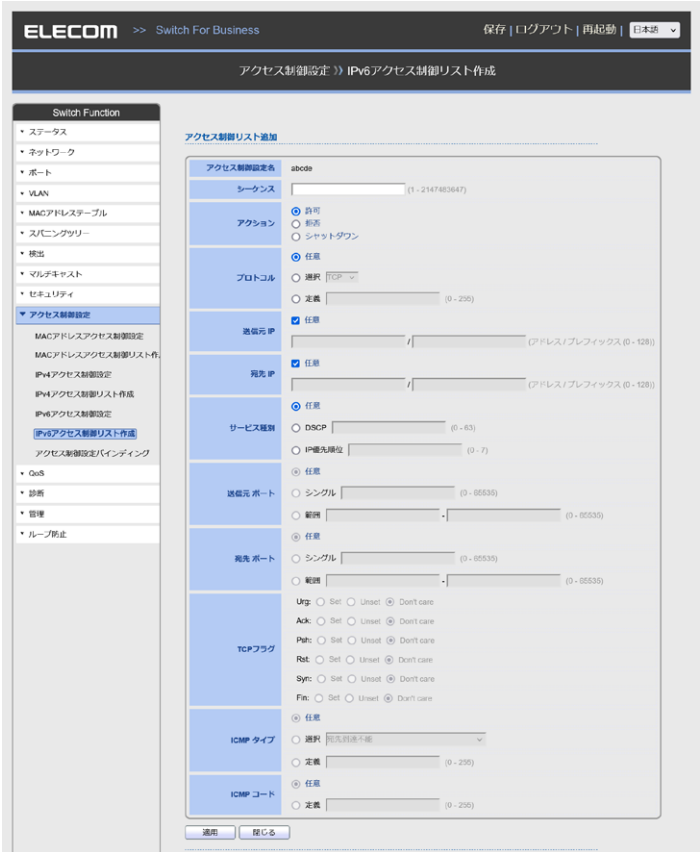
設定するアクセス制御を選択します。

選択したアクセス制御を削除します。

選択したアクセス制御を編集します。
→P228「アクセス制御リスト追加」

アクセス制御を追加します。
→P228「アクセス制御リスト追加」

アクセス制御リスト追加



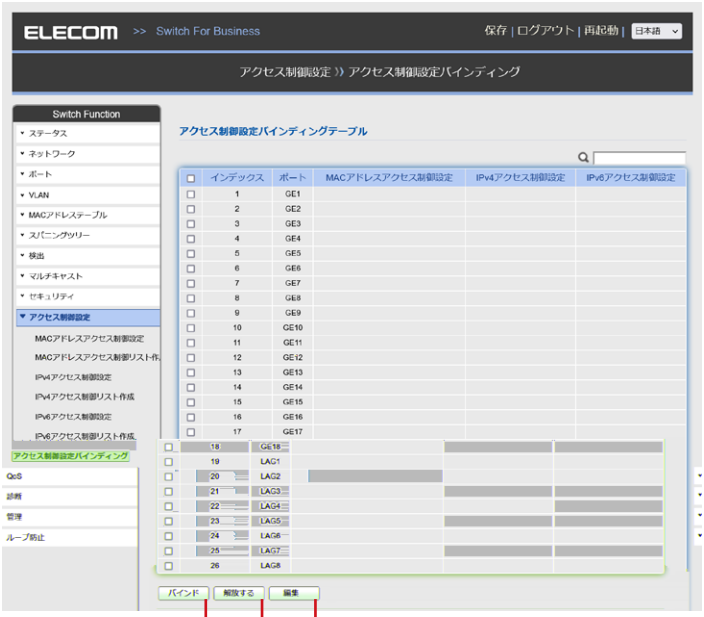
項目	内容
アクセス制御設定名	アクセス制御設定名が表示されます。
シーケンス	アクセス制御設定のシーケンスを指定します。 より高いシーケンスを持つ アクセス制御設定が最初に処理されます (1 が最も高いシーケンスです)。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>アクション</td><td>アクセス制御設定のパケット後のアクションを選択します。
<table>
<tr><td>許可</td><td>アクセス制御設定の基準を満たすパケットを許可します。</td></tr>
<tr><td>拒否</td><td>アクセス制御設定の 基準を満たすパケットを拒否します。</td></tr>
<tr><td>シャットダウン</td><td>アクセス制御設定の基準を満たすパケットを拒否し、パケットを受信したポートを無効にします。 このような場合は、[ポート設定] ページから再アクティブ化できます。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>プロトコル</td><td>プロトコルのタイプを選択します。
<table>
<tr><td>任意 (IP)</td><td>すべての IP プロトコルが受け入れられます。</td></tr>
<tr><td>選択</td><td>ドロップダウン リストから次のプロトコルのいずれかを選択します。
ICMP ／ IPinIP ／ TCP ／ EGP ／ IGP ／ UDP ／ HMP ／ RDP ／ IPV6 ／ IPV6:ROUT ／ IPV6:FRAG ／ RSVP ／ IPV6:ICMP ／ OSPF ／ PIM ／ L2TP</td></tr>
<tr><td>定義</td><td>プロトコル ID を入力します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>送信元 IP</td><td>送信元 IP アドレスの種類を選択します。
<table>
<tr><td>任意</td><td>すべての送信元アドレスが受け入れられます。</td></tr>
<tr><td>定義</td><td>ユーザーが定義した送信元アドレスまたは送信元アドレスの範囲のみが受け入れられます。照合する送信元 IP アドレスとサブネットマスクを入力します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>宛先 IP</td><td>宛先 IP アドレスの種類を選択します。
<table>
<tr><td>任意</td><td>すべての宛先アドレスが受け入れられます。</td></tr>
<tr><td>定義</td><td>ユーザーが定義した宛先アドレスまたは宛先アドレスの範囲のみが受け入れられます。照合する宛先 IP アドレスとサブネットマスクを入力します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>サービス種別</td><td>サービスのタイプを選択します。
<table>
<tr><td>任意</td><td>すべての種類のサービスが受け入れられます。</td></tr>
<tr><td>DSCP</td><td>照合する DiffServ コードポイント (DSCP) を入力します。</td></tr>
<tr><td>IP 優先順位</td><td>一致する IP 優先順位を入力します。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>送信元ポート</td><td>プロトコルのタイプを選択します。プロトコルが TCP または UDP の場合にのみ使用できます。
<table>
<tr><td>任意</td><td>すべての送信元ポートが受け入れられます。</td></tr>
<tr><td>シングル</td><td>パケットが照合される単一の TCP/UDP 送信元ポートを入力します。</td></tr>
<tr><td>範囲</td><td>パケットが一致する TCP/UDP 送信元ポートの範囲を選択します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>宛先ポート</td><td>プロトコルのタイプを選択します。プロトコルが TCP または UDP の場合にのみ使用できます。
<table>
<tr><td>任意</td><td>すべての宛先ポートが受け入れられます。</td></tr>
<tr><td>シングル</td><td>パケットが照合される単一の TCP/UDP 宛先ポートを入力します。</td></tr>
<tr><td>範囲</td><td>パケットが一致する TCP/UDP 宛先ポートの範囲を選択します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>TCP フラグ</td><td>パケットのフィルタリングに使用する 1 つ以上の TCP フラグを選択します。フィルタリングされたパケットは、許可または破棄されます。
TCP フラグによってパケットをフィルタリングすると、パケット制御が向上し、ネットワークのセキュリティーが向上します。プロトコルが TCP の場合にのみ使用できます。</td></tr>
<tr><td>ICMP タイプ</td><td>ICMP タイプを名前で選択するか、番号を入力します。プロトコルが ICMP の場合にのみ使用できます。
<table>
<tr><td>任意</td><td>すべての ICMP タイプが受け入れられます。</td></tr>
<tr><td>選択</td><td>ICMP タイプを名前で選択します。</td></tr>
<tr><td>定義</td><td>ICMP タイプの番号を入力します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>ICMP コード</td><td>ICMP コードの種類を設定入力します。プロトコルが ICMP の場合にのみ使用できます。
<table>
<tr><td>任意</td><td>すべてのコードが受け入れられます。</td></tr>
<tr><td>ユーザー定義</td><td>照合する ICMP コードを入力します。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

アクセス制御設定バインディング

アクセス制御バインディングを設定します。



選択したアクセス制御設定バインディングを編集します。
→P232「アクセス制御設定バインディング追加／編集」

選択したポートに対して、アクセス制御設定バインディング
を解放します。

選択したポートに対して、アクセス制御設定バインディングを
追加します。
→P232「アクセス制御設定バインディング追加／編集」

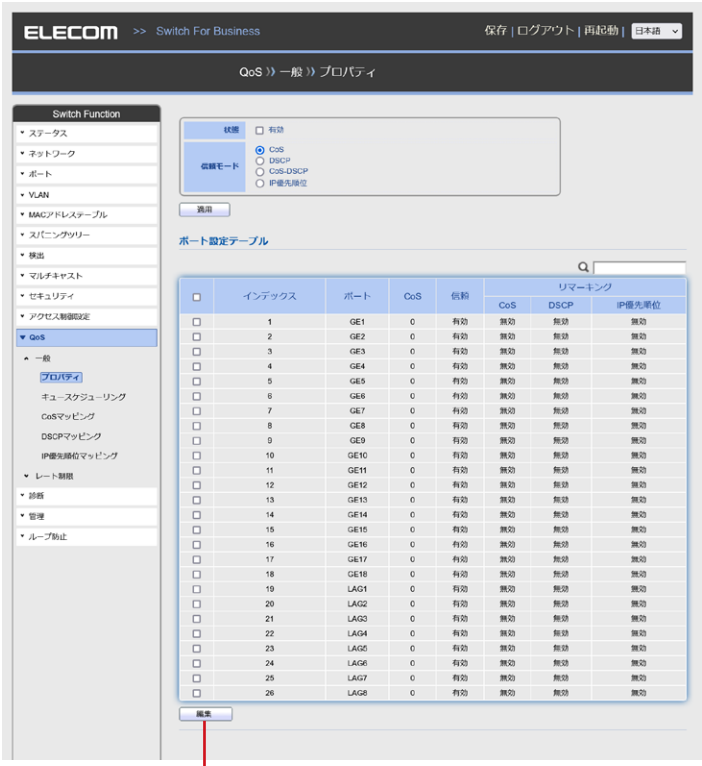
アクセス制御設定バインディング追加／編集



項目	内容
ポート	選択したポートが表示されます。
MAC アドレスアクセス制御設定	バインドする MAC アドレスのアクセス制御設定を選択します。
IPv4 アクセス制御設定	バインドする IPv4 のアクセス制御設定を選択します。
IPv6 アクセス制御設定	バインドする IPv6 のアクセス制御設定を選択します。

【一般】プロパティ

CoS や Trust モードなどを設定します。



選択中のポートのCoSとTrustモードを設定します。
→P234「ポート設定編集」

項目	内容
状態	QoS 機能の設定を行います。（初期値：無効）
信頼モード	信頼モードの設定を行います。（CoS ／ DSCP ／ CoS-DSCP ／ IP 優先順位）

ポート設定編集



項目	内容
ポート	選択したポートが表示されます。
CoS	CoS（Class of Service）の優先度を設定します。 優先度の順位は「0」が一番低く、「7」が一番高いプライオリティとなります。 (0-7　初期値：7)
信頼	トラストの有効 / 無効を設定します。（初期値：有効）

■ リマーキング

項目	内容
CoS	CoS リマーキングを有効または無効にします。
DSCP	DSCP リマーキングを有効または無効にします。
IP 優先順位	IP 優先順位 リマーキングを有効または無効にします。

【一般】キュースケジューリング

キューのスケジューリングを設定します。

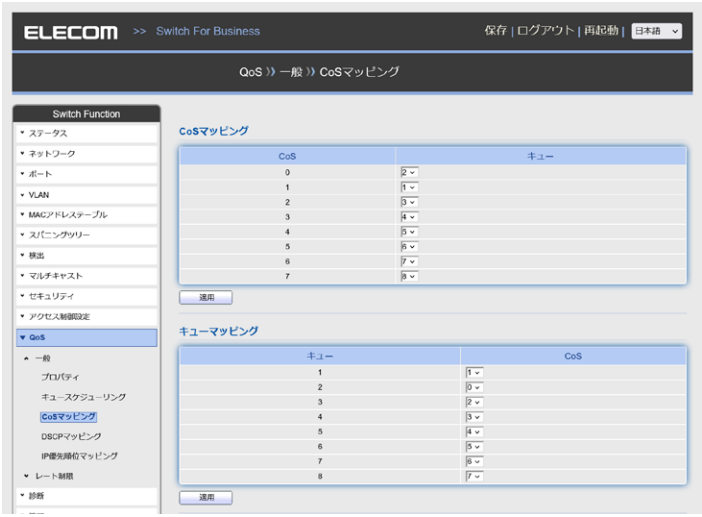


キュースケジューリングテーブル

項目	内容	
キュー	キューに割り当てた優先度や帯域幅にしたがってトラフィックを送信します。	
スケジューリング方式	Strict	優先度の高いキューから順に中継します。
	WRR	キューごとに中継させる最小帯域をウェイトを用いて設定します。
	ウェイト	WRR にチェックを入れるとウェイトを変更できます。選択された WRR の数に対して合計が 100%になるように設定します。
	WRR 帯域幅（%）	設定された WRR のウェイトをパーセンテージで表示します。

【一般】CoSマッピング

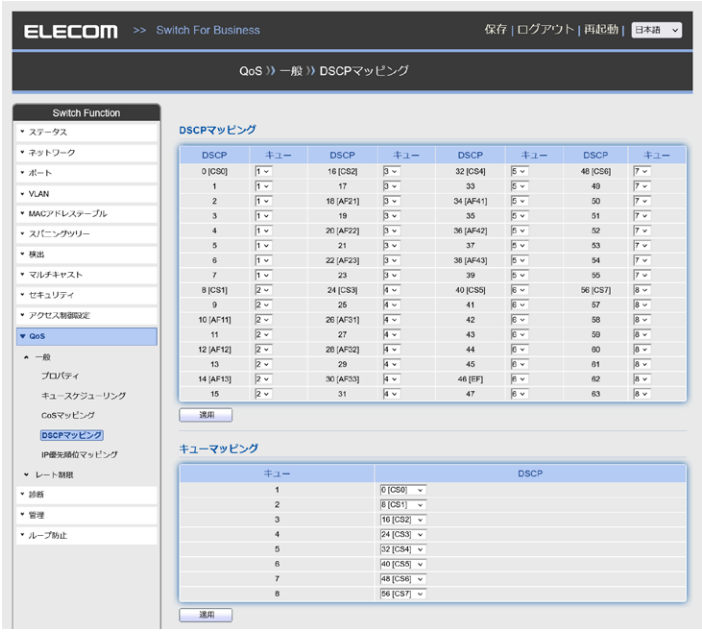
キューの CoS のマッピングテーブルを設定します。



項目	内容
CoS	CoS マッピングでは、CoS に対してキューを設定します。 キューマッピングでは、キューに対して CoS を設定します。 キューまたは Cos は、0 ～ 7 のいずれかで設定します。
キュー	

【一般】DSCP マッピング

DSCP のマッピングテーブルを設定します。



DSCP マッピング

項目	内容
DSCP	DSCP マッピングでは、各 DSCP に対してキューを設定します。 キューは各 DSCP に対して 0 ～ 7 のいずれかで設定します。 キューマッピングでは、各キューに対して DCSP を設定します。
キュー	

【一般】IP 優先順位マッピング

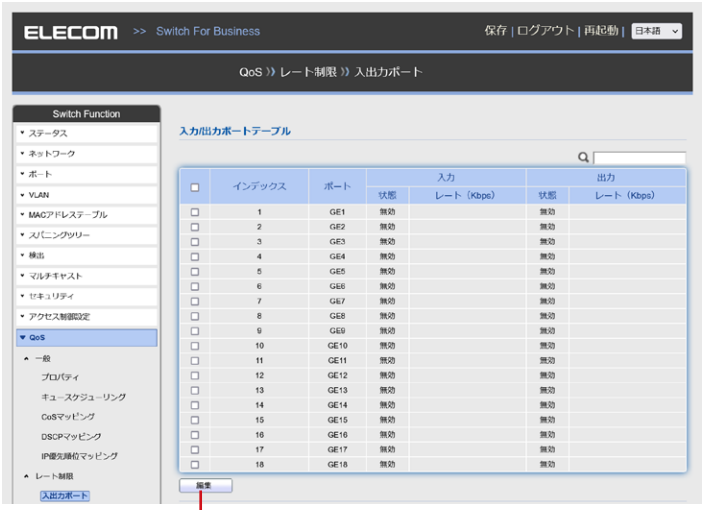
IP 優先順位のマッピングテーブルを設定します。



項目	内容
IP 優先順位マッピング	IP 優先順位マッピングでは、IP 優先順位に対してキューを設定します。 キューマッピングでは、キューに対して IP 優先順位を設定します。
キュー	キューまたは IP 優先順位は、0 ～ 7 のいずれかで設定します。

【レート制限】入出力ポート

入力／出力ポートにレート制限を設定します。



選択中のポートのレート制限を設定します。
→P240「入力/出力ポート編集」

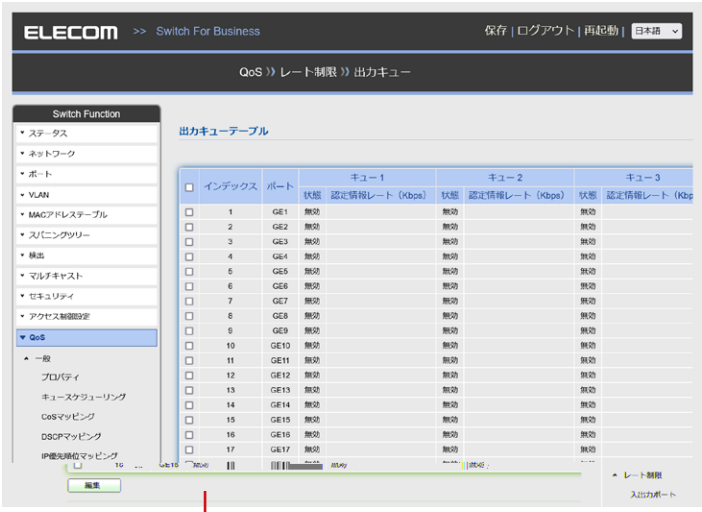
入力/出力ポート編集



項目	内容
ポート	選択したポートが表示されます。
入力	入力レートの設定を行います。(初期値：無効) 有効時：16-10000000、初期値：10000000 Kbps)
出力	出力レートの設定を行います。(初期値：無効) 有効時：16-10000000、初期値：10000000 Kbps)

【レート制限】出力キュー

出力キューに対してレート制限を設定します。



選択中の出力キューの設定を行います。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P242「出力キューの編集」

出力キューの編集



項目	内容
ポート	選択したポートが表示されます。
キュー 1 ～ 9	入力レートの設定を行います。（初期値：無効） 有効時：16-10000000、初期値：10000000 Kbps）

【ログ】プロパティ

有効にするログを設定します。



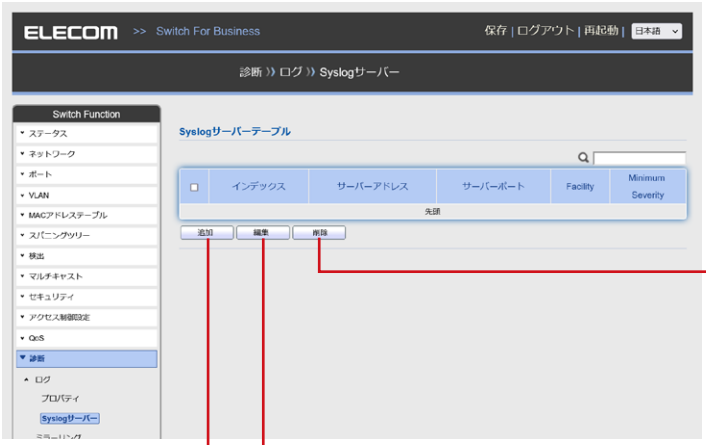
項目	内容
状態	ログ取得の設定を行います。「ステータス」の「ログメッセージ」でログを確認する場合は有効にチェックを入れます。(初期値：無効)

■ RAMログ／Flashログ

項目	内容
状態	RAM ログまたは Flash ログの状態を設定します。 (初期値：RAM ログは有効、Flash ログは無効)
Minimum Severity	**ログ名**：表示されるログの種類 **緊急**：Note ／ 緊急 **アラート**：Note ／ 緊急 ／ アラート **クリティカル**：Note ／ 緊急 ／ アラート ／ クリティカル **エラー**：Note ／ 緊急 ／ アラート ／ クリティカル ／ エラー **警告**：Note ／ 緊急 ／ アラート ／ クリティカル ／ エラー ／ 警告 **通知(初期値)**：Note ／ 緊急 ／ アラート ／ クリティカル ／ エラー ／ 警告 ／ 通知 **情報**：Note ／ 緊急 ／ アラート ／ クリティカル ／ エラー ／ 警告 ／ 通知 ／ 情報 **デバッグ**：Note ／ 緊急 ／ アラート ／ クリティカル ／ エラー ／ 警告 ／ 通知 ／ 情報 ／ デバッグ

【ログ】Syslog サーバー

ログを送信する Syslog サーバーを設定します。



選択したSyslogサーバーを削除します。

選択したSyslogサーバーを編集します。
→P245「Syslogサーバー追加／編集」

Syslog サーバーを追加します。
→P245「Syslogサーバー追加／編集」

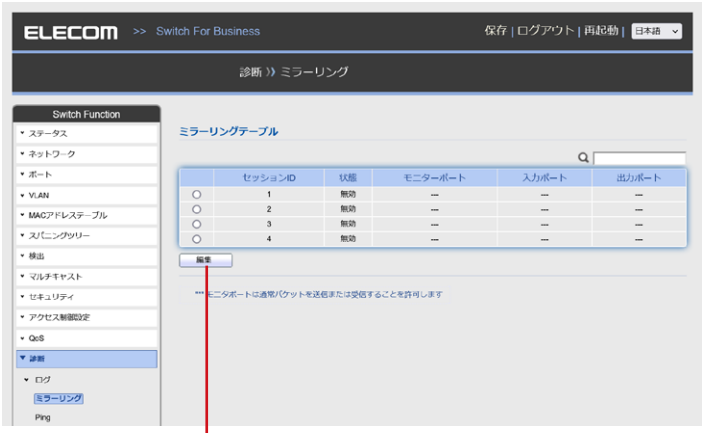
Syslogサーバー追加／編集



項目	内容
アドレスタイプ	Syslog サーバーのアドレスタイプを設定します。(ホスト名 ／ IPv4)
サーバーアドレス	Syslog サーバーのアドレスを入力します。
サーバーポート	Syslog サーバーのポートを入力します。(1-65535　初期値：514)
Facility	ローカル 0 ～ 7 のいずれかでファシリティを設定します。
Minimum Severit	通知するログの内容をリストから選択します。 **ログ名**：表示されるログの種類 **緊急**：Note ／ 緊急 **アラート**：Note ／ 緊急 ／ アラート **クリティカル**：Note ／ 緊急 ／ アラート ／ クリティカル **エラー**：Note ／ 緊急 ／ アラート ／ クリティカル ／ エラー **警告**：Note ／ 緊急 ／ アラート ／ クリティカル ／ エラー ／ 警告 **通知（初期値）**：Note ／ 緊急 ／ アラート ／ クリティカル ／ エラー ／ 警告 ／ 通知 **情報**：Note ／ 緊急 ／ アラート ／ クリティカル ／ エラー ／ 警告 ／ 通知 ／ 情報 **デバッグ**：Note ／ 緊急 ／ アラート ／ クリティカル ／ エラー ／ 警告 ／ 通知 ／ 情報 ／ デバッグ

ミラーリング

ポートミラーリングの設定を行います。



選択したセッションのミラーリング設定をします。
→P247「ミラーリング編集」

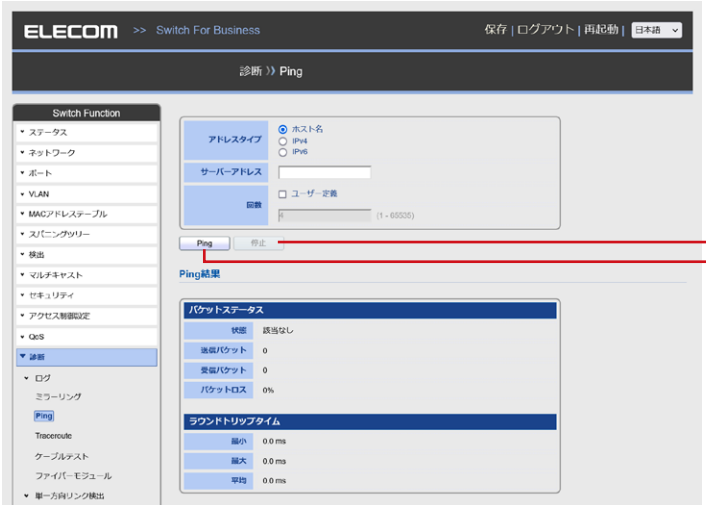
ミラーリング編集



項目	内容
セッション ID	選択されたセッション ID を表示します。
状態	ミラーリングの設定を行います。（初期値：無効）
モニターポート	モニターポートを設定します。通常パケットのモニターを行う場合は「通常パケットを送信または受信」にチェックを入れます。
入力ポート	入力ポートを利用可能ポートから選択します。
出力ポート	出力ポートを利用可能ポートから選択します。

Ping

Ping を指定したアドレスへ送信します。



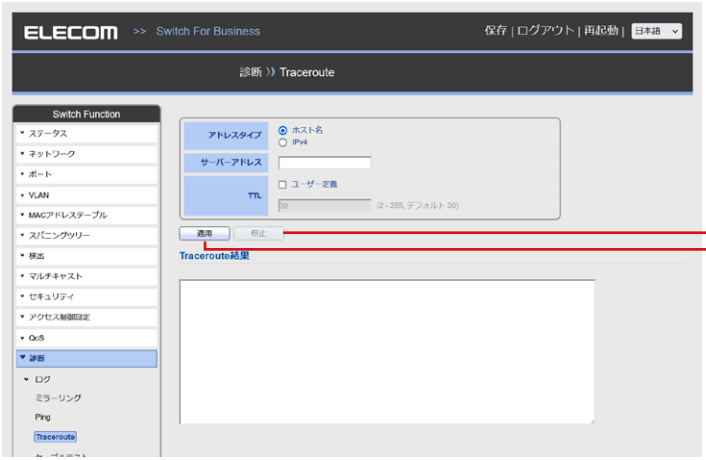
項目	内容
アドレスタイプ	Ping 送信のアドレスタイプを選択します。（ホスト名／ IPv4）
サーバーアドレス	Ping を送信するサーバーのアドレスを入力します。
回数	Ping 回数を設定します。回数を設定する場合は「ユーザー定義」にチェックを入れて回数を指定します。（1-65535 初期値：4）

Ping結果

Ping結果を表示します。

Traceroute

指定したアドレスまでのルートをトレースして表示します。



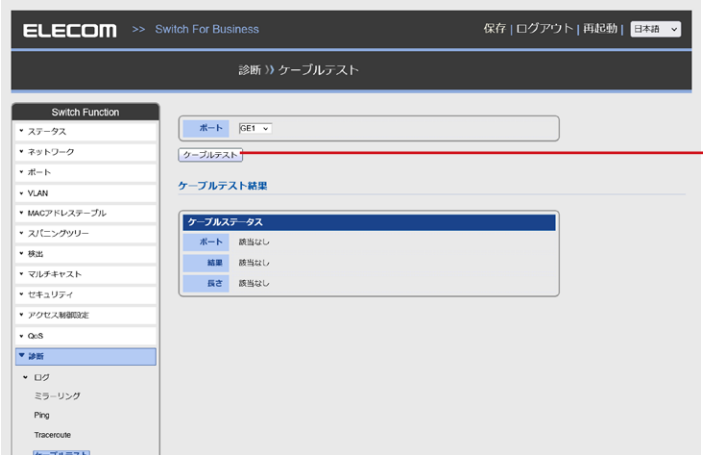
項目	内容
アドレスタイプ	トレースルートのアドレスタイプを選択します。（ホスト名／ IPv4）
サーバーアドレス	トレースルートを送信するサーバーのアドレスを入力します。
TTL	トレースルートの有効期限を設定します。有効期限を設定する場合は「ユーザー定義」にチェックを入れて回数を指定します。（ 2-255 初期値：30）

Traceroute結果

tracerouteの実行結果を表示します。

ケーブルテスト

ポートごとに導通テストを行います。



項目	内容
ポート	導通テストをするポートを選択します。

ケーブルテスト結果

導通テストの結果を表示します。

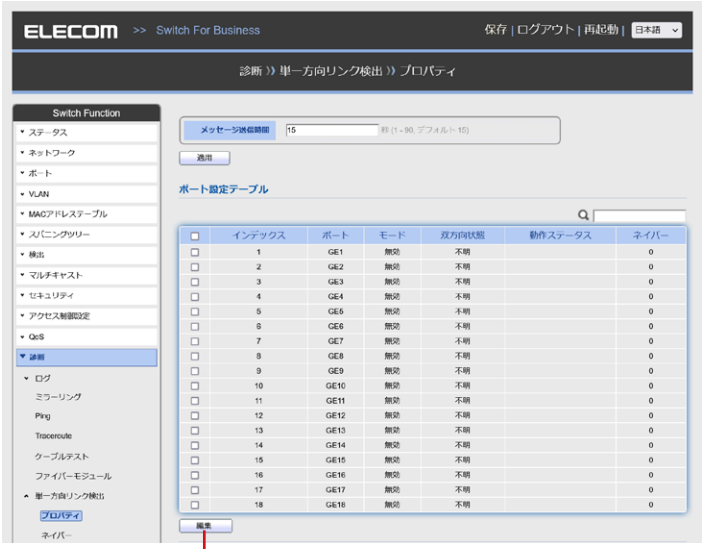
ファイバーモジュール

ファイバーモジュールの状態を表示します。



リフレッシュ
表示内容を最新のものに更新します。

【単一方向リンク検出】プロパティ



選択中のポートを設定します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P252「ポート設定編集」

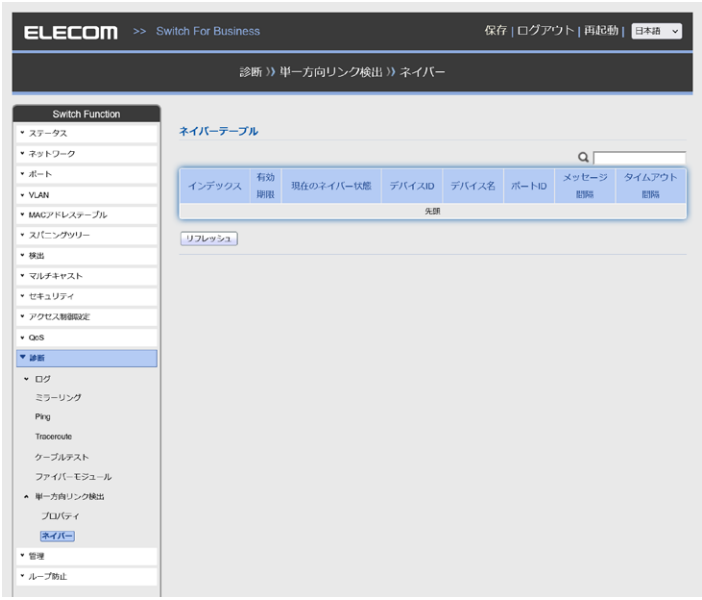
ポート設定編集



項目	内容
ポート	選択中のポート番号が表示されます。
モード	モードを選択します。

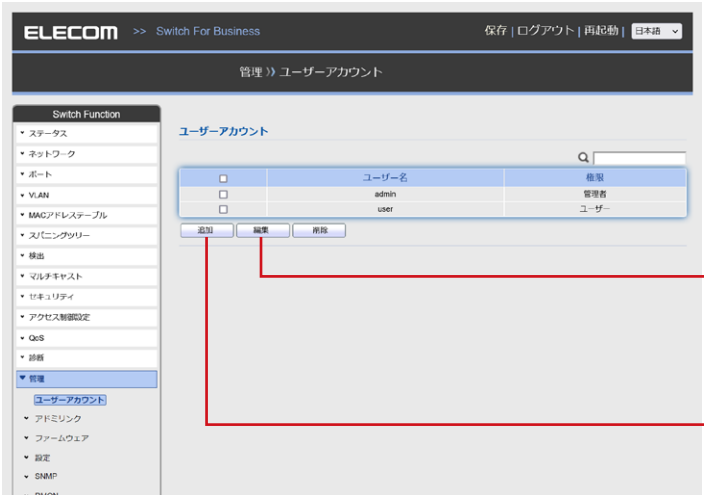
【単一方向リンク検出】ネイバー

ネイバーの情報を表示します。



ユーザーアカウント

ユーザーの追加／編集を行います。



選択したユーザーアカウントを編集します。
→P255「ユーザーアカウント追加／編集」

ユーザーアカウントを追加します。
→P255「ユーザーアカウント追加／編集」

ユーザーアカウント

項目	内容
ユーザー名	登録済みのユーザー名が表示されます。 管理者として admin がデフォルトで登録されています。
権限	ユーザーの権限が表示されます。 (「管理者」または「ユーザー」)

ユーザーアカウント追加／編集



項目	内容
ユーザー名	登録するユーザー名を設定します。 (半角英数字で 32 文字まで。？(クエスチョンマーク) " (ダブルクォーテーション) は使用不可)
パスワード	パスワードを設定します。 (半角英数字、記号で 32 文字まで。？(クエスチョンマーク) " (ダブルクォーテーション) は使用不可)
パスワード確認	確認のため、「パスワード」欄に入力したパスワードと同じものを入力します。
権限	ユーザーの権限を設定します。 **管理者**：すべての設定、保存、編集、削除、再起動が可能です。 **ユーザー**：ステータスの閲覧、再起動のみ可能です。 (P64「ユーザー権限での表示画面」)

アドミリンク

アドミリンク機能の設定を行います。(本機能をご利用になる場合は、本体FW Ver.2.0.4以上にアップデートを行ってください)

> ***MEMO***
> アドミリンク機能を利用する場合、本体の日時設定にSNTPサーバーを使用してください。
> (→75ページ)

■ 基本設定



項目	内容	
アドミリンク基本設定	**アドミリンク機能**	アドミリンク機能の「有効」または「無効」を設定します。 (初期値：無効)
	登録状態	アドミリンクサービスへの製品登録状態が表示されます。
デバイス登録コードの発行	「デバイス登録コードの発行」ボタンをクリックするとデバイス登録コードが発行されます。 「コピー」ボタンをクリックし、表示されたデバイス登録コードをコピーして、アドミリンクサーバーの管理グループに登録を行います。 (デバイスの登録方法はアドミリンク ユーザーズマニュアルを参照してください)	

※ アドミリンクの詳細やユーザーズマニュアルについては下記URLからご確認いただけます。
https://www.elecom.co.jp/r/s349

■ 詳細設定



項目	内容	
アドミリンク接続用プロキシー設定	**プロキシーサーバー**	アドミリンクサービスへの接続にプロキシーサーバーを使用するか設定します。 プロキシー経由でアドミリンクサービスへ接続する必要がある場合、「使用する」を選択してください。 (初期値：使用しない)
	アドレス	プロキシーサーバーのアドレスを入力します。
	ポート	プロキシーサーバーのポート番号を入力します。
	ユーザー名	必要の場合、ユーザー名を入力します。
	パスワード	必要の場合、パスワードを入力します。

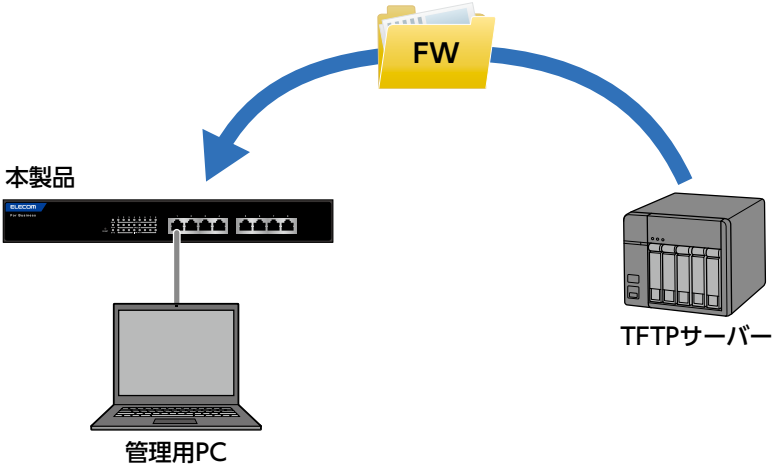
項目	内容	
遠隔操作設定	**遠隔操作許可**	アドミリンクサーバーから遠隔操作を許可するか設定します。（初期値：無効）
	設定ファイルアップロード許可	設定ファイルのアップロードを許可するか設定します。（初期値：無効）
	ログファイルアップロード許可	ログファイルのアップロードを許可するか設定します。（初期値：無効）
	接続クライアントファイルアップロード許可	持続クライアントファイルのアップロードを許可するか設定します。（初期値：無効）
	接続クライアントファイル自動アップロード間隔	接続クライアントファイルを自動的にアップロードする間隔を設定します。 （設定範囲：1 時間 /3 時間 /6 時間 / なし） （初期値：6 時間）

【ファームウェア】アップグレード

ファームウェアをアップグレードします。

■「更新方法」に「TFTP」を選択した場合

TFTP サーバーに保存したファームウェアファイルをアドレスを指定してアップデートします。

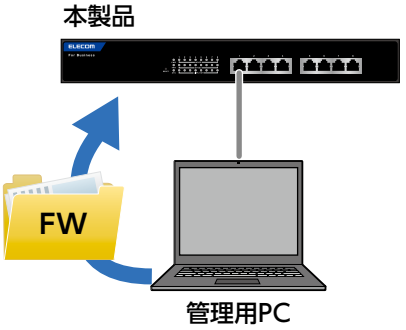




項目	内容
更新方法	ファームウェアの転送方法を選択します。
アドレスタイプ	アドレスの指定方法を選択します。
サーバーアドレス	TFTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。
ファイル名	ファームウェアファイルの名称を入力します。

■「更新方法」に「HTTP」を選択した場合

管理用 PC に保存したファームウェアファイルを指定してアップデートします。





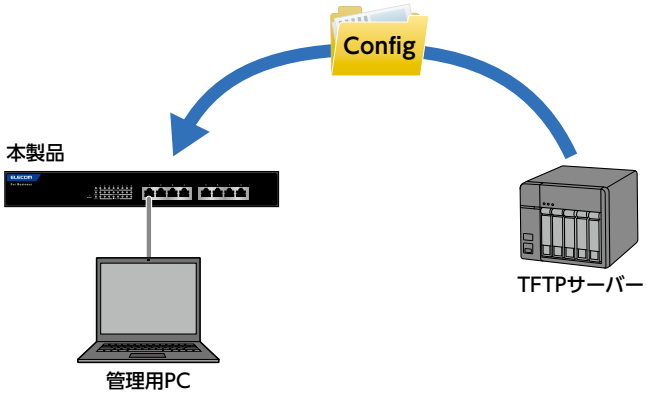
項目	内容
更新方法	ファームウェアの転送方法を選択します。
ファイル名	ファームウェアファイルを選択します。

【設定】復元 / バックアップ

保存した Config ファイルで設定を復元します。

■ 復元で「更新方法」に「TFTP」を選択した場合

TFTP サーバーに保存した Config ファイルをアドレスを指定して復元します。

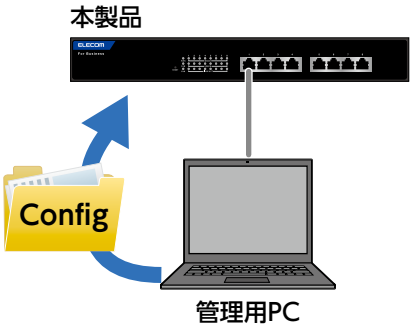




項目	内容
アクション	復元を選択します。
更新方法	TFTP を選択します。
設定	「スタートアップ設定」のみ選択可能です。
アドレスタイプ	アドレスの指定方法を選択します。（ホスト名／ Ipv4）
サーバーアドレス	TFTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。
ファイル名	復元用ファイルの名称を入力します。

■ 復元で「更新方法」に「HTTP」を選択した場合

管理用 PC に保存した Config ファイルを指定して設定を復元します。

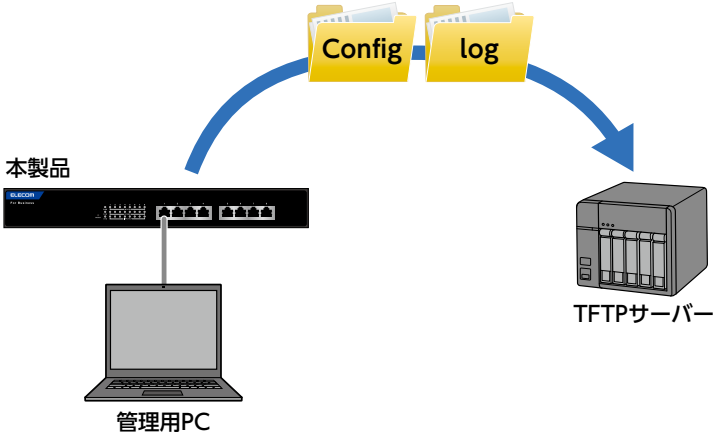




項目	内容
アクション	復元を選択します。
更新方法	HTTP を選択します。
設定	「スタートアップ設定」のみ選択可能です。
ファイル名	「選択ファイル」をクリックして、バックアップで保存した復元用の config ファイルを選択します。

■ バックアップで「更新方法」に「TFTP」を選択した場合

指定した TFTP サーバーに Config ファイルまたは、log ファイルを保存します。



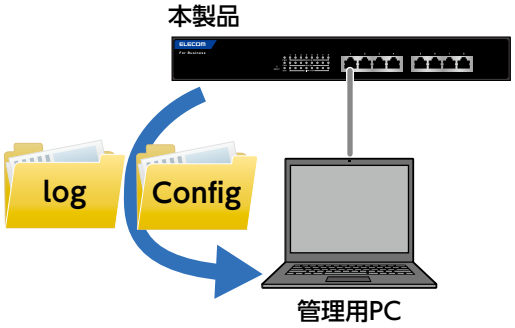


項目	内容
アクション	バックアップを選択します。
更新方法	TFTP を選択します。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>設定</td><td>
<table>
<tr><td>実行設定</td><td>実行設定ファイルをバックアップします。</td></tr>
<tr><td>スタートアップ設定</td><td>「適用」をクリックすると指定した保存先に config 形式のファイルを保存します。</td></tr>
<tr><td>バックアップ設定</td><td>バックアップ設定ファイルをバックアップします。</td></tr>
<tr><td>RAM ログ</td><td>「適用」をクリックすると指定した保存先に log 形式のファイルを保存します。</td></tr>
<tr><td>フラッシュログ</td><td>「適用」をクリックすると指定の保存先に log 形式のファイルを保存します。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>アドレスタイプ</td><td>アドレスの指定方法を選択します。（ホスト名／ Ipv4）</td></tr>
<tr><td>サーバーアドレス</td><td>TFTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。</td></tr>
<tr><td>ファイル名</td><td>復元用ファイルの名称を入力します。</td></tr>
</table>

■ バックアップで「更新方法」に「HTTP」を選択した場合

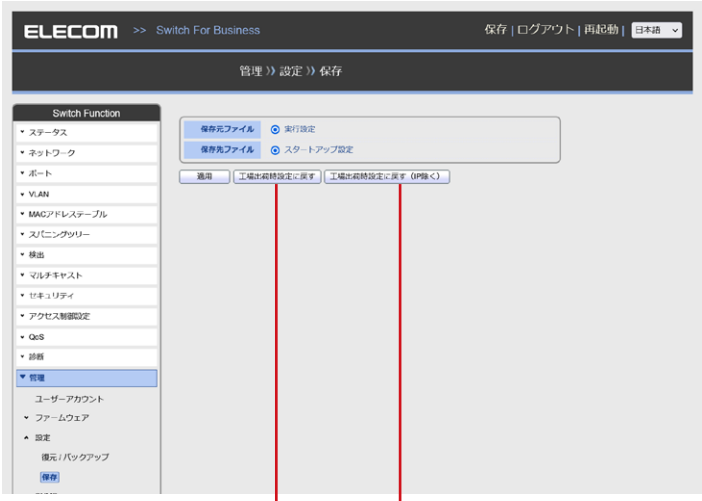
管理用 PC に Config ファイルまたは、log ファイルを保存します。





項目	内容	
アクション	バックアップを選択します。	
更新方法	HTTP を選択します。	
設定	**実行設定**	実行設定ファイルをバックアップします。
	スタートアップ設定	「適用」をクリックすると指定した保存先に config 形式のファイルを保存します。
	バックアップ設定	バックアップ設定ファイルをバックアップします。
	RAM ログ	「適用」をクリックすると指定した保存先に log 形式のファイルを保存します。
	フラッシュログ	「適用」をクリックすると操作している PC に log 形式のファイルを保存します。

【設定】保存



本製品のIPアドレス設定以外を工場出荷時設定に戻して再起動します。

本製品を工場出荷時設定に戻して再起動します。

項目	内容
保存する設定	変更できません。
設定の保存先	

【SNMP】ビュー



選択したビューを削除します。

ビューを追加します。
→P267「ビュー追加」

ビュー追加



項目	内容
表示	ビュー名を入力します。最大 30 文字です
OID サブツリー	SNMP ビューに含めるか、SNMP ビューから除外するサブツリーオブジェクト識別子 (OID) を指定します。
タイプ	選択した MIB をビューに含めるか除外します。

【SNMP】グループ



選択したグループを削除します。

選択したグループを編集します。
「グループ」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P269「グループ追加」

グループを追加します。
→P269「グループ追加」

グループ追加



項目	内容
グループ	SNMP グループ名を指定します。最大 30 文字です。
バージョン	SNMP バージョンを設定します。 SNMPv1 ／ SNMPv2 ／ SNMPv3
セキュリティーレベル	SNMP セキュリティーレベルを設定します。 **セキュリティーなし**：パケット認証が実行されません。 **認証あり**：暗号化なしのパケット認証が実行されません。 **認証あり、暗号化あり**：暗号化を伴うパケット認証が実行されません。
表示	Read：ビュー名を読み取ります。 Write：ビュー名を書き込みます。 Notify：通知対象として選択された SNMP ビューに含まれる内容のトラップのみを通知します

【SNMP】コミュニティー



選択したコミュニティーを削除します。

選択したコミュニティーを編集します。
「グループ」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P270「コミュニティー追加」

コミュニティーを追加します。
→P270「コミュニティー追加」

コミュニティー追加



項目	内容
コミュニティー	SNMP コミュニティー名を入力します。最大 20 文字です。
タイプ	タイプを設定します。 ベーシック：SNMP コミュニティーは表示およびアクセス権を指定します。 アドバンス：SNMP コミュニティーでグループを指定します。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>表示</td><td>SNMP 表示を指定して、コミュニティーで使用できるオブジェクトを定義します。</td></tr>
<tr><td>アクセス</td><td>アクセスモードを設定します。<table><tr><td>リードオンリー</td><td>読み取り専用です。</td></tr><tr><td>リードライト</td><td>読み取りと書き込みです。</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>グループ</td><td>SNMP グループコマンドで設定された SNMP グループを指定して、コミュニティーで使用できるオブジェクトを定義します。</td></tr>
</table>

【SNMP】ユーザー



選択したユーザーを削除します。

選択したユーザーを編集します。
「グループ」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P273「ユーザー追加／編集」

ユーザーを追加します。
ユーザーの追加には、あらかじめSNMPv3のSNMPグループを作成しておく必要があります。
→P273「ユーザー追加／編集」

ユーザー追加／編集



項目	内容
ユーザー	ユーザー名を入力します。(半角英数字のみ 30 文字まで)
グループ	グループを選択します。
セキュリティーレベル	セキュリティーレベルを設定します。 **セキュリティーなし**：パケット認証が実行されません。 **認証あり**：暗号化なしのパケット認証が実行されません。認証あり、暗号化あり 暗号化を伴うパケット認証が実行されません。 **認証あり、暗号化あり**：暗号化を伴うパケット認証が実行されません。

■ 認証あり

項目	内容
方法	認証方法を選択します。
パスワード	認証パスワードを入力します。(半角英数字のみ 32 文字まで)

■ 暗号化

項目	内容
方法	暗号化方法を選択します。
パスワード	パスワードを入力します。(半角英数字のみ 32 文字まで)

【SNMP】エンジンID



選択したリモートエンジンIDを削除します。

選択したリモートエンジンIDを編集します。
「サーバーアドレス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P274「リモートエンジンID追加／編集」

リモートエンジンIDを追加します。
→P274「リモートエンジンID追加／編集」

リモートエンジンID追加／編集



項目	内容
アドレスタイプ	アドレスのタイプを選択します。
サーバーアドレス	サーバーのアドレスを入力します。
エンジン ID	エンジン ID を入力します。 (半角英数字記号のみ 10 ～ 64 文字まで)

【SNMP】トラップ



項目	内容
認証失敗	トラップイベントの認証失敗を有効にします。
リンクアップダウン	トラップイベントのリンクアップダウンを有効にします。
コールドスタート	トラップイベントのコールドスタートを有効にします。
ウォームスタート	トラップイベントのウォームスタートを有効にします。

【SNMP】通知



選択した通知を削除します。

選択した通知を編集します。
「サーバーアドレス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P277「通知追加／編集」

通知を追加します。
→P277「通知追加／編集」

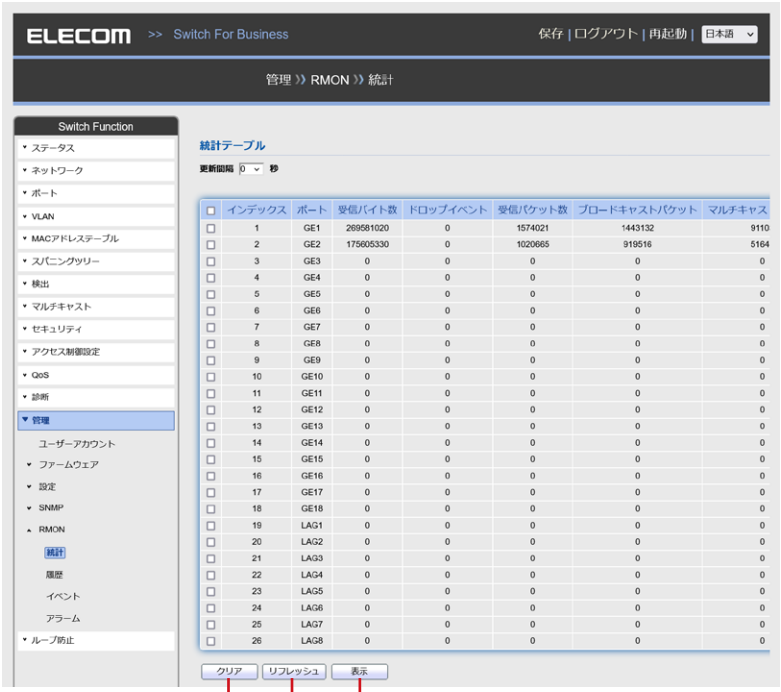
通知追加／編集



項目	内容
アドレスタイプ	アドレスのタイプを選択します。
サーバーアドレス	サーバーのアドレスを入力します。
バージョン	SNMP のバージョンを選択します。
タイプ	通知の種類を設定します。 **トラップ**：SNMP ラップをホストに送信します。 **Inform リクエスト**：SNMP インフォームをホストに送信します。(SNMPv1 には Inform がありません)
コミュニティー / ユーザー	通知用の SNMP コミュニティー／ユーザー名をリストから選択します。SNMPv3 の場合、名前はユーザー名、それ以外の場合はコミュニティー名です。
セキュリティレベル	SNMP 通知パケットのセキュリティー レベルを設定します。セキュリティーレベルはコミュニティ／ユーザー名以下である必要があります。 **セキュリティーなし**：パケット認証が実行されません。 **認証あり**：暗号化なしのパケット認証が実行されません。 **認証あり、暗号化あり**：暗号化を伴うパケット認証が実行されません。

項目	内容
サーバーポート	受信側サーバーの UDP ポート番号を設定します。「デフォルトを使用します」がチェックされている場合、値は 162 です。それ以外の場合はチェックを外し、任意の値を設定します。
タイムアウト	SNMP 通知のタイムアウトを設定します。「デフォルトを使用します」がチェックされた場合、値は 15 です。それ以外の場合はチェックを外し、任意の値を設定します。
リトライ	SNMP 通知のリトライ回数を設定します。「デフォルトを使用します」がチェックされた場合、値は 3 です。それ以外の場合はチェックを外し、任意の値を設定します。

【RMON】統計

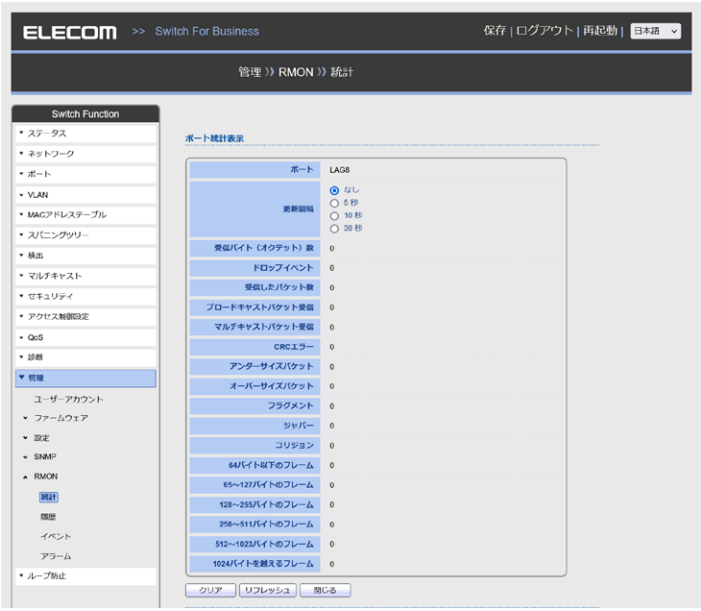


表示
選択したポートの統計を表示します。
→P280「ポート統計表示」

リフレッシュ
表示内容を最新のものに更新します。

クリア
表示をクリアします。

ポート統計表示



項目	内容
ポート	ポート名を表示します。
更新間隔	更新間隔を選択します。
受信バイト（オクテット）数	各項目の統計を表示します。
ドロップイベント	
受信したパケット数	
ブロードキャストパケット受信	
マルチキャストパケット受信	
CRC エラー	
アンダーサイズパケット	
オーバーサイズパケット	
フラグメント	
ジャバー	
コリジョン	

項目	内容
64 バイト以下のフレーム	各項目の統計を表示します。
65 ～ 127 バイトのフレーム	
128 ～ 255 バイトのフレーム	
256 ～ 511 バイトのフレーム	
512 ～ 1023 バイトのフレーム	
1024 バイトを越えるフレーム	

【RMON】履歴



選択した履歴を表示します。

選択した履歴を削除します。

選択した履歴を編集します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P283「履歴追加／編集」

履歴を追加します。
→P283「履歴追加／編集」

履歴追加／編集



項目	内容
インデックス	追加・編集を行うエントリーのインデックスを表示します
ポート	サンプリングの対象となるポートを設定します。
最大件数	サンプルの最大件数を設定します。
インターバル	サンプリングする間隔を設定します。
所有者	このエントリーの所有者を設定します。

【RMON】イベント



選択したイベントを表示します。

選択したイベントを削除します。

選択したイベントを編集します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P285「イベント追加／編集」

イベントを追加します。
→P285「イベント追加／編集」

イベント追加／編集



項目	内容
インデックス	インデックスが表示されます。
通知	通知方法を選択します。
コミュニティー	コミュニティー名が表示されます。
説明	イベントの説明を入力します。 (半角英数字のみ 127 文字以下)
所有者	所有者を入力します。 (半角英数字のみ 31 文字以下)

【RMON】アラーム

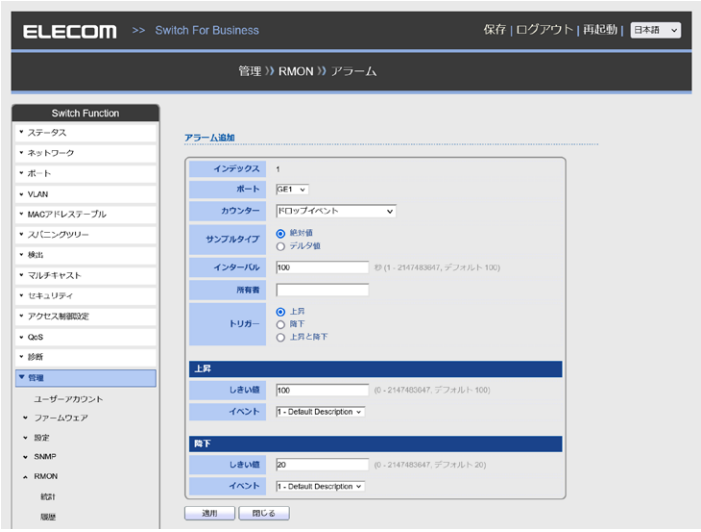


選択したアラームを削除します。

選択したアラームを編集します。
「インデックス」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P287「アラーム追加／編集」

アラームを追加します。
→P287「アラーム追加／編集」

アラーム追加／編集



項目	内容
インデックス	インデックスが表示されます。
ポート	ポートを選択します。
カウンター	カウンターを選択します。
サンプルタイプ	サンプルタイプを選択します。
インターバル	インターバルを入力します。 (範囲：0 ～ 2147483647、初期値：100)
所有者	所有者を入力します。 (半角英数字記号で 31 文字まで)
トリガー	トリガーを選択します。

■ 上昇／降下

項目	内容
しきい値	しきい値を入力します。 (範囲：0 ～ 2147483647、初期値：100)
イベント	イベントを選択します。

タイムスケジュール



選択したタイムスケジュールを削除します。

選択したタイムスケジュールを編集します。
「タイムスケジュール名」横のボックスにチェックを入れると全選択になります。
→P289「タイムスケジュール追加／編集」

タイムスケジュールを追加します。
最大24件まで登録可能です。
→P289「タイムスケジュール追加／編集」

タイムスケジュール追加／編集

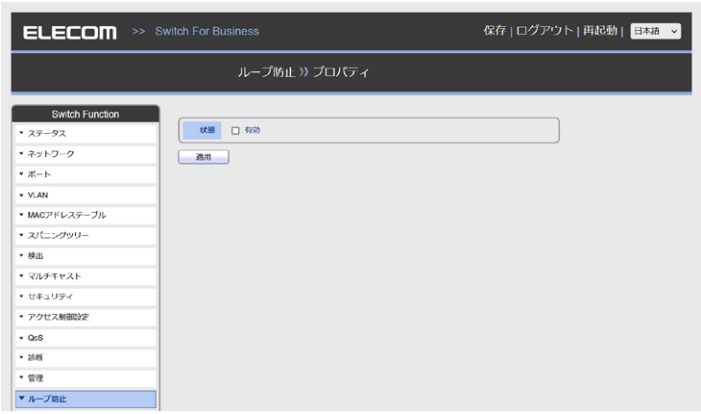


項目	内容
タイムスケジュール名	タイムスケジュール名を入力します。 （半角英数字、記号で 1 ～ 32 文字。？（クエスチョンマーク）"（ダブルクォーテーション）は使用不可）
曜日	アクセスポイントを動作させる曜日と時間を設定します。 **開始**：00:00 ～ 23:30 の範囲で、30 分単位で設定可能です。 **終了**：00:30 ～ 24:00 の範囲で、30 分単位で設定可能です。

ループ防止

プロパティ

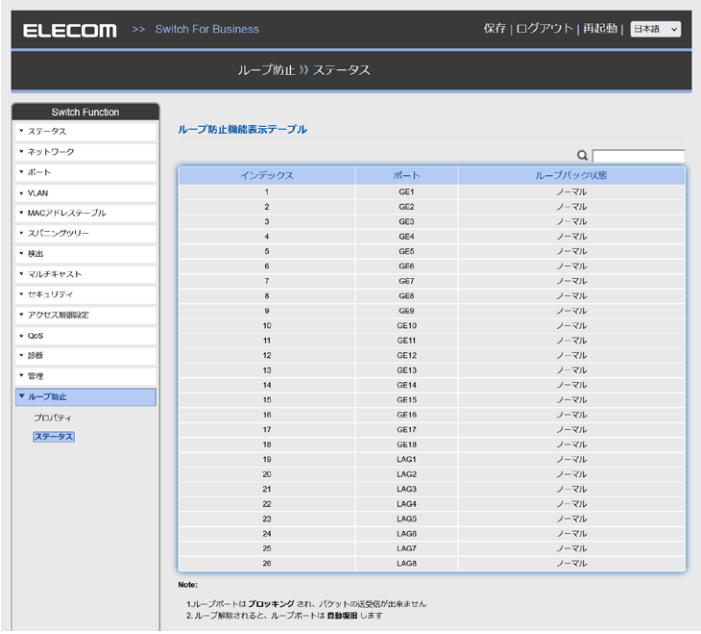
ループ防止機能の有効／無効を切り替えます。



項目	内容
状態	「有効」にするとループ防止機能がオンになります。 （初期値：無効）

ステータス

ループ防止機能の状態を表示します。



ループ防止機能表示テーブル

項目	内容
エントリー	ループ防止機能のエントリー番号を表示します。
ポート	ポート番号を表示します。
ループバック状態	ループバック状態を表示します。ループが発生しているポートは「ループ」と表示されます。

付録編

安全上のご注意 **293**

使用上のご注意 **296**

このマニュアルについて **297**

製品の保証について **298**

製品の保証とサービス 298

サポートサービスについて **299**

安全上のご注意

製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

本製品は、人命にかかわる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係）への組み込みは考慮されていません。これらの機器での使用により、人身事故や財産損害が発生しても、弊社はいかなる責任も負いかねます。

■表示について

この「安全上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ 警告	**この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。**
⚠ 注意	**この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。**

	丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されている場合があります。
	塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中は行なわなければならない行為が絵などで表示されている場合があります。

⚠ 警告



万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



落雷の恐れがあるときや雷発生時は、いったん電源を切って使用を中断してください。

感電、火災、故障の原因となります。



水気の多い場所での使用、濡れた手での取り扱いはおやめください。

感電・火災の原因となります。



付属または弊社が指定する仕様・型番のACアダプター、電源ケーブルや信号ケーブル以外を本製品に使わないでください。

仕様が合わないACアダプター・ケーブル等を接続すると、本製品が故障・発煙・発火する恐れがあります。



装置の上に物を置かないでください。

本製品の上に重いものや、水の入った容器類、または虫ピン、クリップなどの小さな金属類を置かないでください。故障や感電、火災の原因になります。



揮発性液体の近くの使用は避けてください。

マニキュア、ペディキュアや除光液などの揮発性液体は、装置の近くで使わないでください。装置の中に入って引火すると火災の原因になります。



同梱の部品は、本製品でのみご使用ください。

製品に同梱されているACアダプター、あるいは電源コードは、他の電子機器では使用しないでください。仕様の違いにより、火災・故障の原因となります。

⚠ 注意

通風孔はふさがないでください。
過熱による火災、故障の原因となります。

高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。
屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。
故障や、接触不良による発火や火災の原因となります。

ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。

電源が入っている状態で本体に長時間（10秒以上）触れないでください。
低温やけどの原因となるおそれがあります。

地震・振動・落下対策について。
地震などによる振動で装置の落下、移動、転倒あるいは窓からの飛び出しが発生し、重大な事故へと発展するおそれがあります。これを防ぐため、必要に応じて保守会社や専門業者にご相談頂くなど、地震・振動・落下対策を実施してください。

使用上のご注意

- 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。
- 屋外で使用しないでください。
- 周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や震動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用・保管は避けてください。
- ラジオ・テレビ等の近くで使用すると、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があると、ノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。
- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告無しに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバー、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTP サイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

このマニュアルについて

- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社サポート窓口までご連絡ください。
- 本書に掲載されている商品名/ 社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。

製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証とご使用にあたっての注意について記載した文書「安全にお使いいただくために」が付いています。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より3年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については製品情報に記載の保証規定をご確認ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、「安全にお使いいただくために」に記載の保証規定をご確認ください。

●その他のご質問などに関して

次ページ「サポートサービスについて」をお読みください。

サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアルなどをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

詳細は…
サポートポータルサイト「えれさぽ」へ



エレコム法人様サポートセンター

TEL: 0570-070-040

【受付時間】9:00 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 18:00 （月曜日～金曜日）
※祝日、夏期、年末年始特定休業日を除く

ネットワークサポートにお電話される前に

お問い合わせの前に以下の内容をご用意ください。
・ 弊社製品の型番
・ ご質問内容（症状、やりたいこと、お困りのこと）
※ 可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

日本以外でご購入されたお客様は、購入国の販売店舗へお問い合わせください。
エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入・ご使用による問い合わせ・サポート対応は致しかねます。また、日本語以外の言語でのサポートは致しかねます。商品交換は保証規定に沿って対応致しますが、日本以外からの商品交換は対応致しかねます。
This product is designed for use in japan only.
A customer who purchases outside Japan should contact the local retailer in the country of purchase for enquiries. In "ELECOM CO., LTD. (Japan)", no customer support is available for enquiries about purchases or usage in/from any countries other than Japan. Also, no foreign language other than Japanese is available. Replacements will be made under stipulation of the Elecom warranty, but are not available from outside of Japan.

ELECOM

レイヤー 2 Giga対応 Webスマートスイッチ
EHB-SG2C08
EHB-SG2C16
EHB-SG2C24
レイヤー 2 Giga対応 PoE Webスマートスイッチ
EHB-SG2C08-PL
EHB-SG2C16-PL
EHB-SG2C16F-PL
EHB-SG2C24F-PL
EHB-SG2C16F-HPL
EHB-SG2C24F-HPL
ユーザーズマニュアル

発行　エレコム株式会社

©ELECOM CO.,LTD.　2023　All Rights Reserved.

ELECOM

リモート管理サービス



AdminLink

アドミリンク

設定事例集

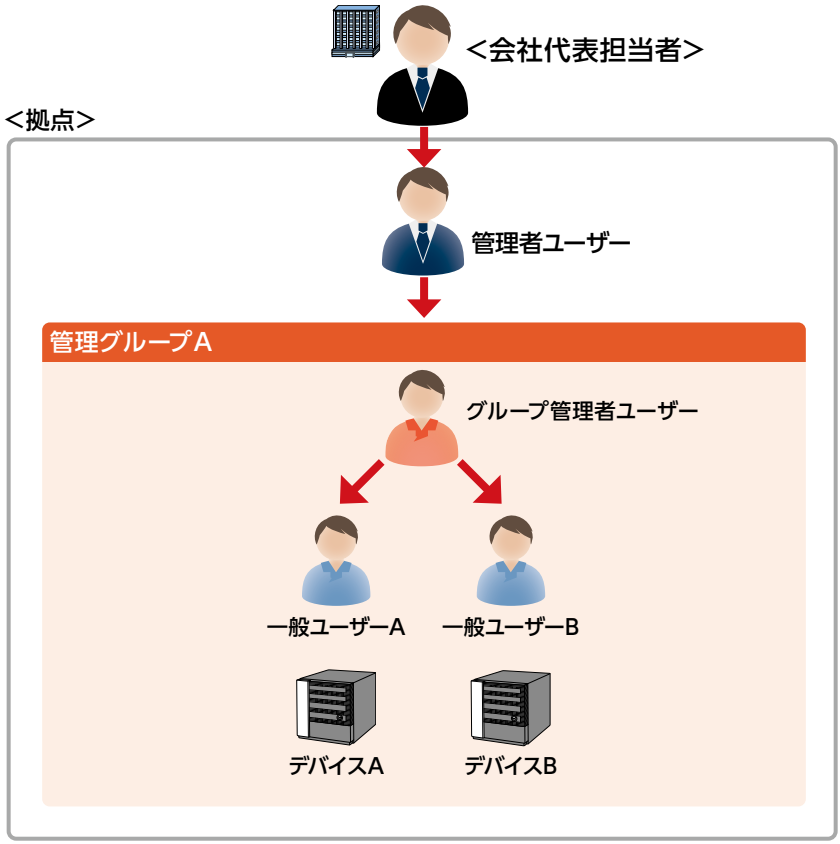
第２版

2024/11/29

もくじ

単一の拠点で運用する場合 3
複数の拠点でそれぞれ管理する場合 4

単一の拠点で運用する場合

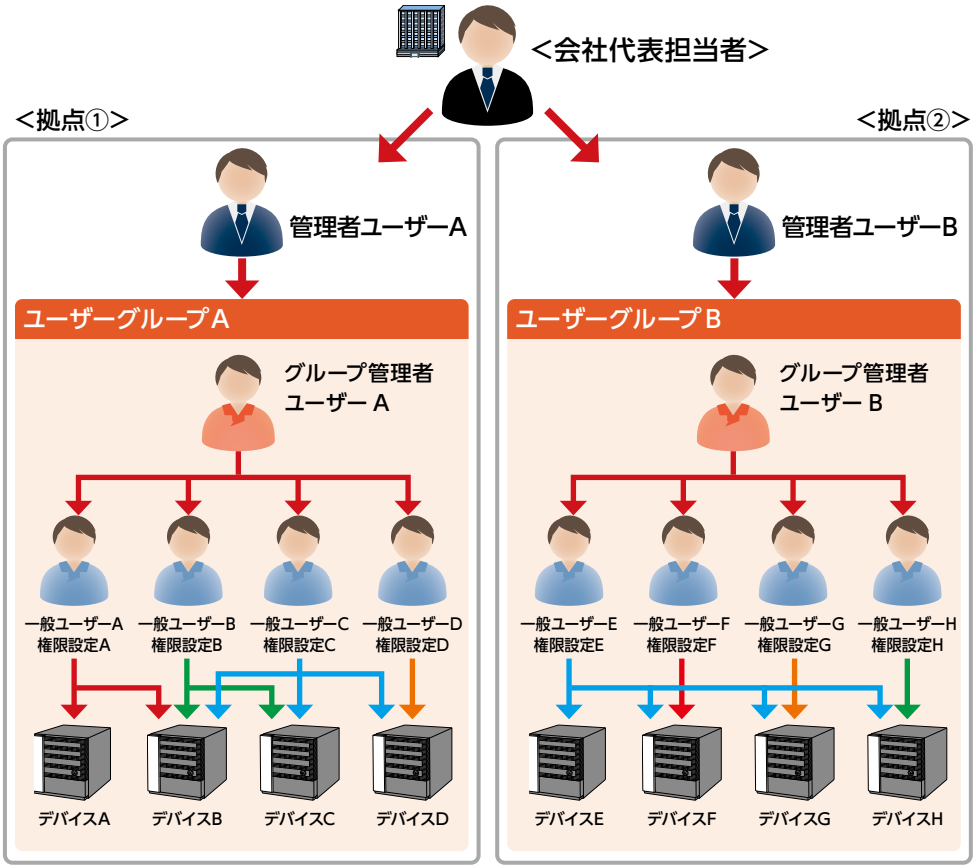


1 **会社代表担当者が以下の設定をします。**
①契約者アカウントを取得する。
②管理者ユーザーを作成する。

2 **管理者ユーザーが以下の設定をします。**
①管理グループを作成する。
②グループ管理者ユーザーを作成する。

3 **グループ管理者ユーザーが以下の設定をします。**
①一般ユーザーを作成する。
②管理グループに一般ユーザーを追加する。
③デバイス登録コードを発行し、デバイスを登録する。

複数の拠点でそれぞれ管理する場合



1 **会社代表担当者が以下の設定をします。**

①契約者アカウントを取得する。
②管理者ユーザーを複数作成する。

2 **それぞれの管理者ユーザーが以下の設定をします。**

①管理グループを作成する。
②グループ管理者ユーザーを作成する。

3 **それぞれのグループ管理者ユーザーが以下の設定をします。**

①一般ユーザーを作成する。
②一般ユーザーごとにデバイス管理の権限設定を行う。
③デバイス登録コードを発行し、デバイスを登録する。

ELECOM

ネットワーク機器リモート管理サービス
アドミリンク 設定事例集

発行　エレコム株式会社

©ELECOM CO.,LTD.　2022　All Rights Reserved.